オホーツク海地域の取組

北海道羅臼高等学校の海洋教育

1　年間計画

科目名	海洋生物（知床学・水産教室）	単位数	2	学年	3	履修形態	選択
使用教科書	知床学（副読本・中高生版）	使用副教材	オホーツクのさかな、教科通信等				

科目の目標	1　羅臼の海洋環境に関心を持ち、海洋生物について総合的に学ぶ。 2　根室海峡に生息する生物の資源としての有用性や持続可能な利用のあり方について理解する。 3　知床半島の魅力と独自性を自分の言葉で語り、発信できるようにする。
学習内容	1　野外活動 ○年間１６回の特設授業として「水産教室」を予定している。これを踏まえて、羅臼町の水産業の現状を体験的に理解する。 ○町の「水産教室」として実施する施設見学、実習、講義などの特設授業と組み合わせ、１年間をとおして海について総合的に学習する。 2　校内での授業 ○根室海峡や北方領土周辺海域の地理的な特徴や生物相全般への理解を深め、この海域の環境保全のあるべき姿について考える。 ○時間割を柔軟に対応させることで、午前中すべてを使った実習、終日にわたる実習、さらに宿泊をともなう実習などを実施する。 3　技術の習得 ○ロープワーク等の実践的技術、スクーバダイビングのライセンス取得をする。 ○潜水士（年４回の国家試験）へ挑戦する。（希望者）
資格等	1　取得できる資格 ○スクーバダイビングのライセンス（Cカード）（全員） ○潜水士（希望者） 年４回（恵庭３、釧路１）の国家試験を受験し合格する必要あり。 2　費用等 ○スクーバダイビングのライセンスは、全額羅臼町より支援される。 ○潜水士は、事前講習と受験料が半額羅臼町より支援され、受験にかかる費用は各自負担とする。
支援等	水産教室で扱う内容等については、高校・漁協・町教委の担当者が協議しながら企画運営をおこなう。
評価の方法	次の４項目を総合的に判断しておこなう。 ①報告書またはレポートの提出状況とその内容、②野外実習での活動状況、③各単元内容の理解、④年２回の期末考査の成績

評価の観点および評価基準のルーブリック	観点	関心・意欲・態度	判断・表現(科学的な)	技能（実習等）	知識・理解
	評価対象	・授業に対する姿勢 ・レポート等の提出 ・結果のまとめ、考察	・年２回の期末考査 ・レポート等の内容 ・結果のまとめ、考察	・実習等の取り組み ・レポートの取り組み ・結果のまとめ、考察	・年２回の期末考査 ・レポート等の内容 ・発表活動での説明
	S	授業から論理的に自然を考えることができ、自ら進んで学びを深めることができる。	科学的な見方や考え方を活用しながら論理的に考察し、人にわかりやすく表現することができる。	正しい理解に基づいた正確な技術を身に付けており、それを多の者へ伝えることができる。	基本的な原理・法則および知識に加え、発展的な概念や法則も正しく理解している。
	A	論理的に自然を考えることに強い関心を持ち、意欲的に授業に参加することができる。	科学的な見方や考え方を身に付け、論理的に考察し、自らの考えを表現できる。	正確な技術を身に付けており、それを確実に実行できる。	基本的な原理・法則および知識などを正しく理解している。
	B	与えられた課題等に取り組む中で論理的な思考に関心を持つことができる。	科学的な見方や考え方を身に付け、論理的に考察することができる。	正しい技術の習得の必要性を理解し、身に付ける努力をしている。	基本的な原理・法則および知識などの概要は理解している。
	C	自然を論理的に思考する重要性が認識できず、課題等の取り組みが甘い。	自らの考えを自然科学的な見方や考え方用いて論理的にまとめることができない。	技術の理解が弱く、正確性に欠けるところがある。	基本的な原理・法則および知識などのを理解していない。

成績不振要注意者の基準	実習等の出席が常でなく、評価点が３０点未満の者

○海洋生物で扱う　●水産教室で扱う

	単元名	主　な　学　習　内　容
前期	オリエンテーション 根室海峡の環境 根室海峡の生物 海洋資源の利用	○海洋生物の学習をはじめるにあたって ○海水の塩分濃度 ○水質についての基礎知識 ●講演「羅臼の漁業」（水産教室開級式） ○海洋生物の分類 ●ロープワークを身につける①②③ ○海洋生物の食物連鎖① ●ダイビング実習（講習）①②③④ ●講義　羅臼の水産加工 ●施設見学「水産課工場」 ○海洋生物の食物連鎖② ●講義「海洋深層水」 ●施設見学「海洋深層水工場」 ●実習「水産加工」 ●施設見学「ウニ種苗センター」 ●ダイビング実習（実技）①②③④⑤ ○鯨類・海獣類 　根室海峡の鯨類と世界の鯨類 ○無脊椎動物の生物学① ○海鳥類 　海鳥類をめぐる食物連鎖 ●講義「根室海峡の海鳥」 ●施設見学「市場・加工場・販売店舗」
後期	 海洋資源の保全 漁業の未来	●実習「ブランド化・マーケッティング」 ●実習「販売」 ○漁業の歴史 ●サケマス増殖事業 ●スクーバダイビング実習（11 月頃まで） ●実習　郷土料理 ○無脊椎動物の生物学② ●実習　海難防止講習 ○コンブについて 　コンブの種類、生産 ○漁業と持続可能な自然資源利用 ○持続可能な自然資源とは ●実習「サケの人工授精」 ○プレゼンテーション学習 ○水産資源の持続可能な利用と知床半島の環境保全 ○羅臼漁業の未来 ○付加価値を付けた水産業 　　深層水、エコツーリズム ●講演「羅臼漁業の将来像」（水産教室閉級式）

科目名	公民・現代社会	単位数	2	学年	2	履修形態	必修
使用教科書	東京書籍『現代社会』	使用副教材	浜島書店『最新図説現社』				
科目の目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						
学習内容	1　現代社会における諸問題として、地球環境・科学技術の発達・情報化の進展について学習していきます。 2　来たるべき１８歳選挙権に備え、政治の分野に深く切れ込んでいきます。 3　現代社会における諸問題について、ディスカッションやレポートにまとめることを通じて、自分なりの解決策を探求していきましょう。						
学習の注意点	ノートの提出や課題を実施しますので、しっかりノートをとる習慣と予習･復習する姿勢を身につけておきましょう。						

評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	・現代社会が抱える課題やものごとに関心を持ち、積極的に考え、関わろうとしているか。
	b	思考・判断・表現	・現代社会で起きているものごとや課題をどのように とらえ、自分の考えを持つか。
	c	技能	・グラフなどの資料やメディアを活用して現代社会の動きを理解し他者に伝えられるか。
	d	知識・理解	・授業を通して現代社会のあり方や動きを知識として理解しているか。
成績不振要注意者の基準			評価点が３０点未満の者

月	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
4 5 6 7 8 9 10	私たちの生きる社会	･地球環境と資源・エネルギー ･科学技術の発達と生命 ･情報化の進展と生活 ･現代社会の特質 ・現代社会における青年 ･自己形成と社会とのつながり ･進路と生きがいの創造 ･哲学と人間・宗教と人間・近代科学の考え方 ･人間の尊厳・人間性の回復を求めて ･日本の伝統思想の考え方 ･外来思想の受容と日本人の自覚	◎	○	△	◎	･現代社会の諸課題に関心を持ち，意欲的に追究し，自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。	以下を総合的に判断して行う。 ①定期考査の成績 ②課題の提出状況とその内容 ③小テストの成績 ④質疑応答の内容、姿勢、態度 ⑤学習状況の観察
11 12	日本国憲法と民主政治	･年中行事と通過儀礼 ･民主政治の成立 ･基本的人権の成立 ･世界の政治体制 ･日本国憲法と３つの原理 ･基本的人権の保障 ･新しい憲法と人権保	◎	○	△	◎	･現代の民主政治に関する関心を高め，それを意欲的に追究し，民主社会における人間としての在り方生き方を考察している。	

1 2 3	国際社会と人類の課題	障の進展 ・平和主義と安全保障 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治と政治参加 ・選挙のしくみと課題 ・国際社会の成り立ち ・国際紛争を避けるしくみ ・国際連合の現状と課題 ・東西対立とその後の世界 ・核兵器と軍縮への取り組み	◎	○	△	◎	・国際社会における政治 や経済などの諸課題に 関する関心を高め，そ れを意欲的に追究し， 国際社会の在り方につ いて考察している。	

科目名	野外観察（知床学）	単位数	2	学年	2	履修形態	選択
使用教科書	知床学（副読本・中高生版）	使用副教材	知床国立公園パークガイド、教科通信等				
科目の目標	1　野外における自然観察の基礎的な方法を習得する。 2　フィールドワークをとおして得られた地学的・生物学的な事象について、観察データから科学的に読み解く力を身に付ける。 3　地元の自然・社会生活の中に課題を見いだし、発展的に解決するための提言や発信することができる人材を育成する。						
学習内容	1　野外実習の技術的要素 フィールドワークのための準備（行動、計画、服装、地図の活用、機材調達等） 2　実験操作的要素 様々な観察・実験のための器具や装置の取り扱い、水質調査の方法、モデルの作成 3　プレゼンテーション的要素 調査結果等を整理し考察した内容の発表（報告書・レポート作成、プレゼン）						
評価の方法	定期考査は実施せず、次の４項目を総合的に判断しておこなう。 ①報告書またはレポートの提出状況とその内容、②野外実習での活動状況、③各単元内容の理解、④実習内容を考察するための議論（質疑応答の内容、姿勢、態度）の様子						

評価の観点および評価基準のルーブリック	観点	関心・意欲・態度	判断・表現(科学的な)	技能（実験・観察等）	知識・理解
	評価対象	・授業に対する姿勢 ・レポート等の提出 ・結果のまとめ、考察	・レポート等の内容 ・結果のまとめ、考察 ・議論での表現等	・実験操作、観察手法 ・レポートの取り組み ・結果のまとめ、考察	・レポート等の内容 ・発表活動での説明
	S	授業から論理的に自然を考えることができ、自ら進んで学びを深めることができる。	科学的な見方や考え方を活用しながら論理的に考察し、人にわかりやすく表現することができる。	正しい理解に基づいた正確な技術を身に付けており、それを多の者へ伝えることができる。	基本的な原理・法則および知識に加え、発展的な概念や法則も正しく理解している。
	A	論理的に自然を考えることに強い関心を持ち、意欲的に授業に参加することができる。	科学的な見方や考え方を身に付け、論理的に考察し、自らの考えを表現できる。	正確な技術を身に付けており、それを確実に実行できる。	基本的な原理・法則および知識などを正しく理解している。
	B	与えられた課題等に取り組む中で論理的な思考に関心を持つことができる。	科学的な見方や考え方を身に付け、論理的に考察することができる。	正しい技術の習得の必要性を理解し、身に付ける努力をしている。	基本的な原理・法則および知識などの概要は理解している。
	C	自然を論理的に思考する重要性が認識できず、課題等の取り組みが甘い。	自らの考えを自然科学的な見方や考え方用いて論理的にまとめることができない。	技術の理解が弱く、正確性に欠けるところがある。	基本的な原理・法則および知識などのを理解していない。

成績不振要注意者の基準	フィールドワークの出席が常でなく、評価点が３０点未満の者

	単元名	主　な　学　習　内　容
前期	オリエンテーション	○野外観察の学習をはじめるにあたって
	自然観察の基礎	○生物の分類Ⅰ ○観察方法（図鑑、フィールドノート・双眼鏡・単眼鏡の使い方） ○生息調査法（標識再捕法、ラインセンサス等）
	自然観察の方法	○ＭｙＴｒｅｅの決定と観察目標の設定 ○早春の林床で晴植物の観察（植物のスケッチ等） ○鳥類の観察（ラインセンサス等） ○海藻類の光合成色素観察 ○コンブに依存する生物の調査
後期		○生物の分類Ⅱ ○生物標本の作製
	課題研究	○地域の自然に関する課題研究をチームで実施
	研究成果の発表	○研究発表

2　学習指導案

オホーツク海域　北海道羅臼高等学校　第３学年　科目「総合的な探究の時間」学習指導案 No. 1

＜単元の指導と評価の計画＞

単元名	中高一貫生態系学習		
単元の目標	・斜里町岩尾別台地を訪問し、知床半島の歴史と自然を総合的に理解することができる。 ・生態系の成り立ちを知り、そのバランスが保たれる仕組みと重要性を理解することが　できる。 ・人間の活動が生態系に与える影響を知り、人類または個人が取り組めることを考え説　明できる。		
評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	環境問題の原因や人間活動の影響を正しく理解する。	生態系を構成する環境と生物の関わりや、生物同士のつながりについて説明できる。	生態系とは何か、その構成要素やその中に見られる関係について科学的に知ろうとする。 生態系に与える人間活動の影響について自ら調べようとする。

次程	学習内容と問い	評価の観点			評価方法
		知	思	主	
第１次 (1時間扱)	・生態系を構成する非生物的環境と生物のかかわりや生物間の関わりや生物間の関係について考え、特に生物どうしのつながりについて説明できる。			○	[主]ワークシート、行動観察
第２次 (6時間扱) **【本時】**	学習内容：斜里町岩尾別台地を訪問し、知床半島の歴史と自然を総合的に理解する。 【問い】斜里町岩尾別台地の生態系にはどのような特徴があるのだろうか。 ・斜里町岩尾別台地の自然の特徴をワークシートにまとめ、生態系の役割について考察する。	○	○	○	[知]自然観察による生物観察 [思]フォールドワークでの発言、意見交換 [主]ワークシートによる考察

＜１単位時間（第２次）の指導と評価の計画＞

1　本時の目標

斜里町岩尾別台地を訪問し、知床半島の歴史と自然を総合的に考察する。

2　本時の展開（７時間予定の２～７時間目）

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	前時の復習	・斜里町岩尾別台地の自然とその特徴について復習する。	・生徒が本時の学習活動に必要な知識を身に付けているか確認する。
展開	説明 【問い】斜里町岩尾別台地の生態系にはどのような特徴があるのだろうか。	・斜里町岩尾別台地の生態系学習自然とその特徴について復習する。	
	斜里町岩尾別台地における自然の役割についてフィールドワーク	・グループに分かれ、斜里町岩尾別台地の自然観察を行う。 ・自分が発見した生物とその役割、級友が発見した生物とその役割について意見を出し合い、生物同士のつながりについて	・自然観察、フィールドワークにおいて、生物を傷つけない、自然環境を乱さないように配慮する。

		考察する。 ・斜里町岩尾別台地の生態系を保全するために大切なことについて考察する。	
まとめ	本時のまとめ	・斜里町岩尾別台地の生態系の特徴についてまとめる。	

幼小中高一貫教育「知床学」生態系学習Ⅲ（野外巡検）ワークシート

斜里町岩尾別台地の生態系学習

北海道羅臼高等学校　３年＿＿＿番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

自分が発見した生物	：生物の役割	級友が発見した生物	：生物の役割

斜里町岩尾別台地の生態系を保全するために大切なこと（人間としての役割、在来種の保護など）

＜単元の指導と評価の計画＞

単元名	中高一貫クマ学習		
単元の目標	・ヒグマと人間とが共存する知床半島の歴史と自然を総合的に理解することができる。 ・ヒグマの生態を知り、ヒグマの特性について理解することができる。 ・環境客によるヒグマへのエサやりがヒグマの生態の変化に与える影響を知り、エサや　りを停止するために取り組めることを考えることができる。		
評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	環境変化の原因や人間活動の影響を正しく理解する。	ヒグマの生態を構成する環境と生態の変化や個体の変化のつながりについて説明できる。	ヒグマ本来の生態とは何か、科学的に知ろうとする。 ヒグマの生態と人間生活の共存について自ら調べようとする。

次程	学習内容と問い	評価の観点			評価方法
		知	思	主	
第１次 (1時間扱)	・インターネットを用いてヒグマによる人的被害について調べ、調べたことをまとめる。 ・ヒグマと人間が共存するために、ヒグマの生態的特徴について、専門家への質問をまとめる。	○		○	[知]インターネット、ワークシート
第２次 (4時間扱) **【本時】**	（知床財団職員より） 学習内容：ヒグマの生態の特徴、ヒグマの生態の変化、ヒグマの個体的特徴について総合的に理解する。 【問い】ヒグマと人間とが共存するために気を付けなくては ならないことは何があるのだろうか。 ・ヒグマの特徴、ヒグマの個体的特徴をワークシートにまとめ、　ヒグマと人間とが共存する社会について考察する。	○	○	○	[知]ヒグマの生態の特性についての考察 [思]質問、回答、発言による意見交換 [主]ワークシートによる考察

＜１単位時間（第２次）の指導と評価の計画＞

1　本時の目標

ヒグマと人間とが共存する知床半島の歴史と自然を総合的に理解することができる。

2　本時の展開（５時間予定の２～５時間目）

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	前時の復習	・ヒグマと人間との共存の問題点について復　習する。	・生徒が本時の学習活動に必要な知識を身に付けているか確認する
展開	説明 【問い】ヒグマと人間とが共存するために気をつけなくては ならないことは何があるのだろうか。	（知床財団職員より） ・グループに分かれて協議する。 ・グループで協議した内容を発表する。 ・ヒグマの生態の特徴、ヒグマの生態の変化、　ヒグマの個体の特徴について総合的に理解　する。	・グループワークにおいて、　ヒグマと人間とが共存す　る社会、自然環境ための　方法について考察し発表　する。
まとめ	本時のまとめ	・ヒグマと人間とが共存する社会について、各グループワークから発表された内容を踏ま　え、自分の考えをまとめる。	

幼小中高一貫教育「知床学」クマ学習ワークシート

北海道羅臼高等学校　２年＿＿＿番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

インターネットで調べた、ヒグマによる人的被害にはどのようなものがあるのか

知床財団の方へ、ヒグマの生態や個体の特色についての質問事項をまとめる。

ヒグマと人間とが共存するために必要なこと、環境保全のための取り組みとは何か

＜単元の指導と評価の計画＞

単元名	巡視船乗船		
単元の目標	・地域の基幹産業である漁業と海上保安業務の関係を理解することができる。 ・海上保安署職員からの説明を通して、職業ついての理解を深めることができる。 ・海上におけるルールについて理解することができる。		
評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	海上保安の業務や漁業との関係について正しく理解する。	水産業を安全に行うために、海上保安とのつながりにを説明できる。	海上保安の業務と水産業との関係について知ろうとする。 海上でのルールと船舶の関係について疑問を抱き、解決しようとする。

次程	学習内容と問い	評価の観点			評価方法
		知	思	主	
第１次 (1時間扱)	・海上保安署職員の説明を聞いて、海上におけるルールを理解する。 ・水産業の安全が保たれるためには、海上保安署の役割が必要であることを理解する。	○	○		[知]ワークシート
第２次 (3時間扱) **【本時】**	（海上保安署職員より） 学習内容：海上保安巡視船に乗船し、海上保安業務について広く理解する。 【問い】海上保安を保つためにはどのようなルールがあるのだろうか。 ・海上保安業務についてワークシートにまとめ、海上保安巡視船と漁船との関係について考察する。	○	○	○	[知]海上巡視船についての考察 [思]質問、回答、発言による意見交換 [主]ワークシートによる考察

＜１単位時間（第２次）の指導と評価の計画＞

1　本時の目標

地域の基幹産業である漁業と密接に関係する海上保安業務について理解できる。

2　本時の展開（４時間予定の１～４時間目）

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	前時の復習	・海上保安書職場の説明を通して海上保安所　の業務と役割について理解する。	・生徒が本時の学習活動に必要な知識を身に付けているか確認する
展開	説明 【問い】海上保安所巡視船にはどのような役割があるのだろ うか。	（海上保安署職員より）	・乗船体験において、海上保安所職員との意見交換が積極的に行われるように配慮する。
	海上保安所巡視船への乗船体験	・海上保安所巡視船に乗船し、海上保安船の装備についてまとめる。 ・漁業と海上保安との関係性について理解したことをまとめる。	
まとめ	本時のまとめ	・海上保安業務は、海上における漁船の往来や、水産業の安全が保たれるために必要な業務であることについて理解する。	

海上保安所体験　巡視船乗船　ワークシート

北海道羅臼高等学校　１年＿＿＿番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

海上保安所の役割、業務にはどのようなものがあるのか

海上保安船の装備についてまとめる。

漁業と海上保安との関係性について理解したことをまとめる

「 知床学（海洋教育）」　＜令和２年度＞　　羅臼町立羅臼小学校

学　年	幼稚園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
ＥＳＤ	ユネスコスクールに認定され、ＥＳＤ（Education for Sustainable Development)を推進しています　【ＥＳＤの意味：持続可能な発展のための教育】												
学びの主体性	→ → → 知識伝達や体験から → → → → → → 自ら考え行動する学習活動へ → → →												
学びのスパイラルイメージ	In Nature【知床】（自然【知床】の中で体験、感じる）							About Nature【知床】（自然について多くを知る）			For Nature【知床】（自然のために行動する態度を身につけた人間になる）		
	In 知床			About 知床		For 知床		In 知床	About 知床	For 知床	In 知床	About 知床	For 知床
学年別実践課題	・身近な動植物に関心を持つ ・身近な自然のすばらしさを感じる ・春を探そう　感じよう ・春から夏遊び ・夏秋を探そう ・秋から冬に向かって ・冬遊び、知床の冬	・地域のよさや自然のすばらしさに気づき、愛着を持つ ・地域の良さや尊さに気づく ・まとめや発信を通して将来の夢や希望を持つ		・羅臼の自然、生活、文化などに関心をもつ。 ・地域の良さや尊さに気づく ・まとめや発信を通して将来の夢や希望を持つ		・郷土芸能の体験などを通して、地域に誇りと愛着をもち、地域の文化を守るとともに、新しい生活や文化を創造していく。 ・地域の良さや尊さに気づく ・まとめや発信を通して将来の夢や希望を持つ		自然やふるさとに興味･関心を持つ	関心を高め、知識を習得する	気候や風土を理解する	自然や産業の知識を整理し、更に深める	世界における知床の位置づけを知り、自然と人間とのあり方について考える	自然に関する知識を実体験で活用する 自然や産業のあり方を考察し、提言する
	○春の生き物探し ○生き物をかってみよう ○町たんけんにでかけよう ○知西別川に上るサケ観察 ○山ブドウコクワを探そう ○水を凍らせよう ○動物の足跡さがし	・自然を大切にしたり、安全で適切な行動ができる態度の育成 ・テーマ設定主体的追求課題解決力の育成		・地域に誇りと愛着をもち進んで環境に関わろうとする態度の育成 ・テーマ設定主体的追求課題解決力の育成		・問題点を探り、環境保全や改善の方法、より良い町づくりのために出来る事を考え実践しようとする態度の育成 ・テーマ設定主体的追求課題解決力の育成		安全管理･基本的自己管理意識の育成	取材や資料の収集、分析能力の育成	情報処理能力の育成（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ・ﾚﾎﾟｰﾄ等）	課題を設定する能力の育成	行動力、危機管理能力の育成	企画力･創造力･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の育成
総合的な学習の時間 共通項目	クマ学習・外来種学習を通した環境教育　【 知識伝達・体験 → 安全管理 → 調査方法・実習 → 共存環境の優越性 】												
	・クマ学習			・外来種についての学習 セイヨウオオマルハナバチ 環境省協力 ・クマ学習				・クマ学習Ⅰクマ	・生態系学習Ⅰ水	・クマ学習Ⅱクマ	・生態系学習Ⅱワ	・クマ学習Ⅲクマ	・生態系学習Ⅲ知
								・水産業に関する講演会（基礎） 自然 ⇒ 産業 ⇒ 観光のサイクルで実施			・水産業に関する講演会（発展）		
学習内容	・身近な動植物に関心を持つ ・身近な自然のすばらしさを感じる	・身近な自然や動物を知る ・地域の自然を知る		・知床に棲息する動物など自然環境を知る ・自然郷土学習① ⇒生き物 ・地域学習 ・羅臼湖登山	・羅臼町の漁業の理解を深める ・自然郷土学習② ⇒自然環境 歴史	・伝統芸能しれとこいぶき樽を体験し、理解を深める ・こんぶ・サケ漁業の理解を深める　・地域学習	・知床（羅臼）について深く知る ・未来の知床（羅臼）について考える	※野生動物 森、川、海 について体験	※野生植物 森、川、海 について理解を深める	※地質、気象 遺跡、産業史 についてまとめたり、発信したりする	※野生動植物 地質、気象 について知る	※野生動植物研究 野外視察 アウトドア体験を通して理解を深める	※自然保護 観光ガイド 野外活動ガイドを通して発信能力を高める
実施内容	・食べられる野草探し（よもぎ、ここみ、ふき） ・野菜の栽培（にんじん、いも、たまねぎ） ・園庭あそび ・散歩・遠足 ・育てた野菜でカレー作り ・ビジターセンター見学 ・市場見学 ・郷土資料館・植樹 ・神社、境内	・探検ごっこ ・ネイチャーセンター ・間欠泉見学	・探検ごっこ ・ネイチャーセンター ・間欠泉見学	・羅臼の自然などの調べ学習 ・紹介ポスター・パンフレット ・ビジターセンター見学（全校遠足と兼ねる）	・羅臼の漁業について調べ学習・まとめ（歴史）発表	・羅臼町史の調べ学習 ・しれとこいぶき樽に挑戦 ・漁組によるサケフレークづくり ・こんぶ場見学まとめ	・知床（羅臼）と他町村との類似点や相違点をまとめる ・修学旅行	・知床羅臼の観光名所調査 ・海岸清掃 ・漂着物観察 ・外来種駆除 ・自然クルーズ ・植物観察調査	・知床羅臼の自然調査 ・自然クルーズ ・外来種駆除 ・施設見学等 ・宿泊研修	・知床羅臼の味覚調査 ・知床羅臼PR活動 ・知床羅臼のしおり ・北方領土洋上視察 ・施設見学等	・知床羅臼の自然 ・産業の調査・研究観察 ・ワシ類海獣類	・知床羅臼の観光あり方の考察と提言 ・自然環境観察	・観光ガイド体験 ・羅臼町認定観光ガイド資格取得 ・巡視船体験航海
海洋教育		生活科 ・きせつとともだち（はる・なつ・あき・ふゆ） 38H	生活科 ・まちが大すきたんけん隊（漁協・市場・海鮮工房） 14H ・めざせ生きものはかせ　１１H ・サケ稚魚放流 2H	総合 ・羅臼の生き物を伝えよう（海以外の生き物・海の生き物・ワシ）５ 2H	総合 ・羅臼の漁業について調べよう（サケ・ホッケ・イカ）３１H	総合 ・羅臼の産業を探ろう（羅臼昆布学習・漁協学習・宿泊研修）39H	総合 ・自分の将来を考えよう（羅臼に合う仕事を知ろう・羅臼に合う仕事を考えよう）49H						
理科 自然環境科目群	・身近な動植物に関心を持つ ・ふるさとの自然のすばらしさを知る。 ・知床の冬の動物観察・雪と氷で遊ぼう ・動物の名前を知ろう ・サケの物語（解体等）	生活科 はるとともだち なつとともだち あきとともだち ふゆとともだち	生活科 ・まちはたからばこ生きもの大すき ・北方領土学習	社会 ・もっと知りたいみんなの町 理科 ・チョウを育てよう ・北方領土学習		・社会 私たちの国と国土・環境を守る人々 ・北方領土学習	・社会　近代国家の歩み・日本と世界のつながり ・北方領土学習 ・理科　人と環境	・生物（植物） （知床に住む野植物の調査・研 ）	・生物（動物） （知床に住む野生動物の調査・研究）	・地学 （知床半島の地形の調査・研究ー火山と温泉など）	「知床概論Ⅰ」 （道東の気候、生物相と風土）	「知床概論Ⅱ」 （知床の気候風土、生物相） 「野外観察」 （植物・昆虫の観察）	「海洋生物」 「野外活動実習」 「観光基礎」 「知床概論Ⅲ」 「自然保護」
その他	ユネスコスクールの活動							ユネスコスクール研究発表の活動					
	・漬け物作り ・ホッケバーガーを食べよう ・落ち葉やドングリ遊び	調べ学習してまとめたものについて、適宜発表会を行う。						＊アウトドア体験（希望者、土日か長期休業を利用） ・道教育大釧路校学生との合同アウトドア体験、観光ガイド体験 ・町教委主催行事、知床キッズと合同アウトドア体験（岬探検、雪中キャンプ、海岸線サバイバル）					

3年生　海洋教育の概要

☆　羅臼の生き物を探ろう

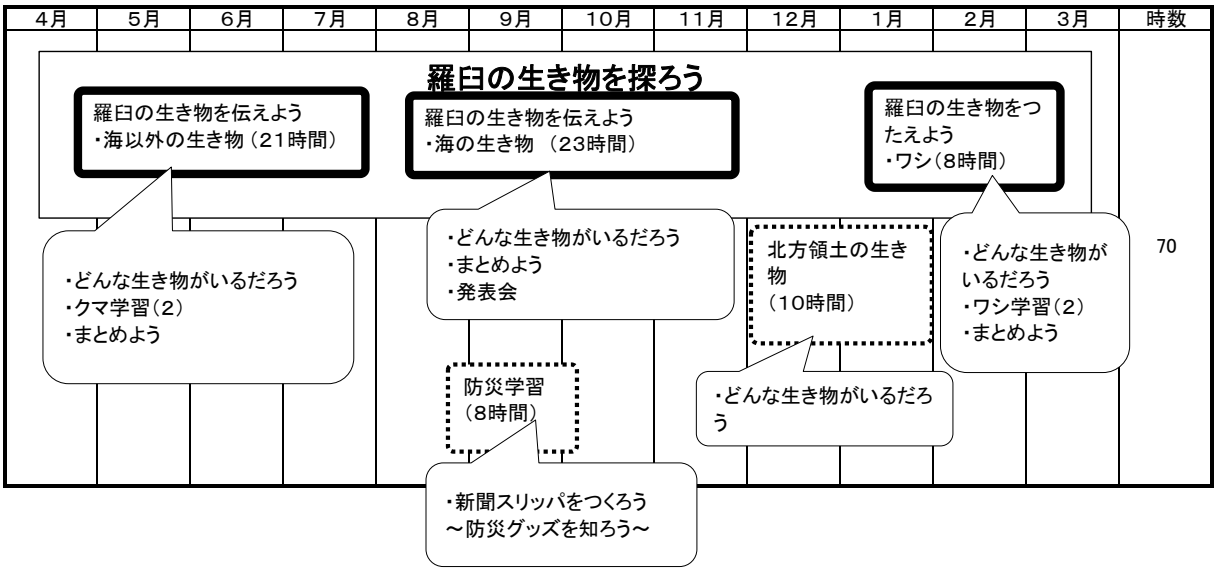
目標

羅臼の自然や動物のことについて調べる活動・探究的活動を通して，地域の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，羅臼の魅力を発信したりしようとする気持ちを育む。

〇羅臼の魅力を調べる中で，知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性にすいて理解することができる。【知識・技能】
〇世界自然遺産知床の海や山について体験的・探究的活動を通し，画集したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。【思考・判断・表現】
〇羅臼で働く人々の仕事の様子や世界遺産知床の自然を知り，自分たちにできることを考え，広めようとする。【主体的に取り組む態度】

R3年度

3年　総合的な学習の時間　／　海洋教育



☆海洋教育　52時間　＋　総合　18時間　＝　70時間

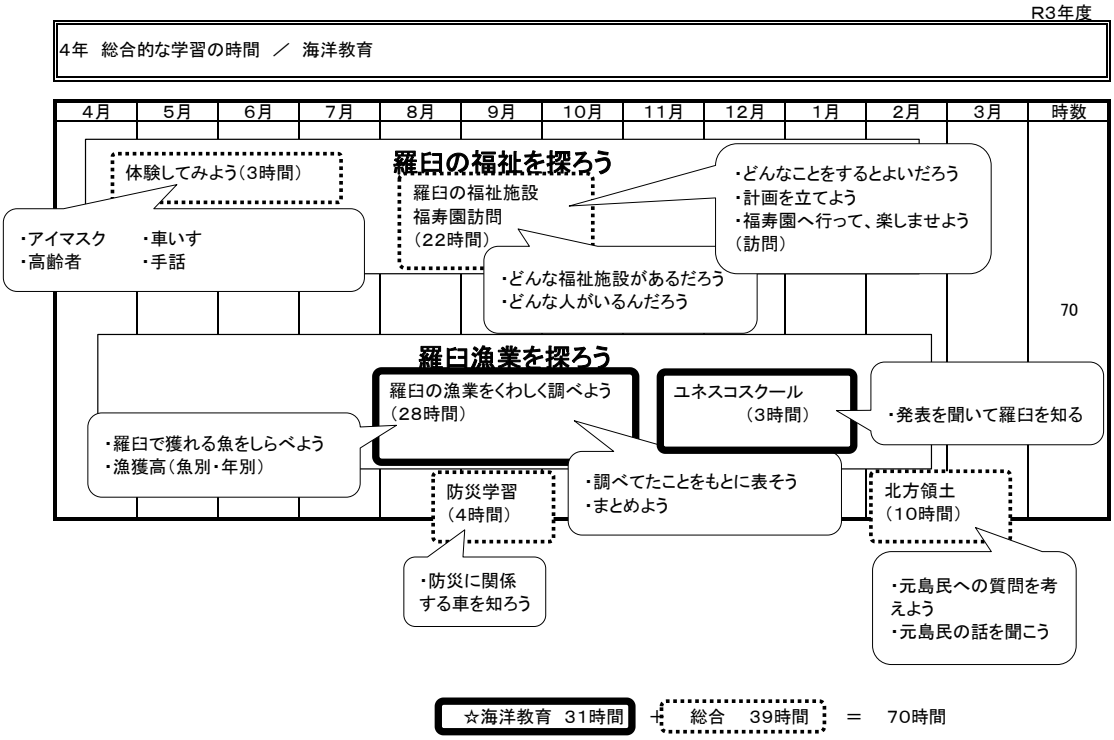
4年生　海洋教育の概要

☆　羅臼の漁業を探ろう

目標

羅臼の自然や動物のことについて調べる活動・探究的活動を通して，地域の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，羅臼の魅力を発信したりしようとする気持ちを育む。

〇羅臼の魅力を調べる中で，知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性にすいて理解することができる。【知識・技能】
〇世界自然遺産知床の海や山について体験的・探究的活動を通し，画集したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。【思考・判断・表現】
〇羅臼で働く人々の仕事の様子や世界遺産知床の自然を知り，自分たちにできることを考え，広めようとする。【主体的に取り組む態度】



5年生　海洋教育の概要

☆　羅臼の産業を探ろう

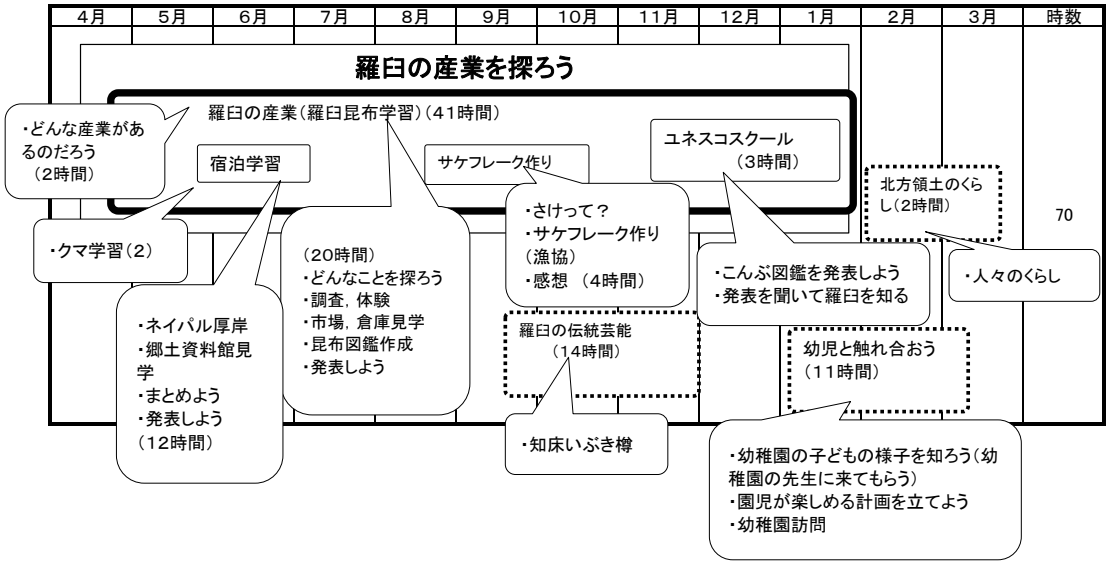
目標

羅臼の産業について調べる活動・探究的活動を通して，地域の産業を学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，羅臼の魅力を発信したりしようとする気持ちを育む。

〇自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。【知識・技能】
〇調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。【思考・判断・表現】
〇自分が羅臼町の発展にどのように関わっていきていくのかについて考え，実践することができる。【主体的に取り組む態度】

R3年度

5年　総合的な学習の時間　／　海洋教育



☆海洋教育　43時間　＋　総合　27時間　＝　70時間

6年生　海洋教育の概要

☆　羅臼の将来・自分の将来

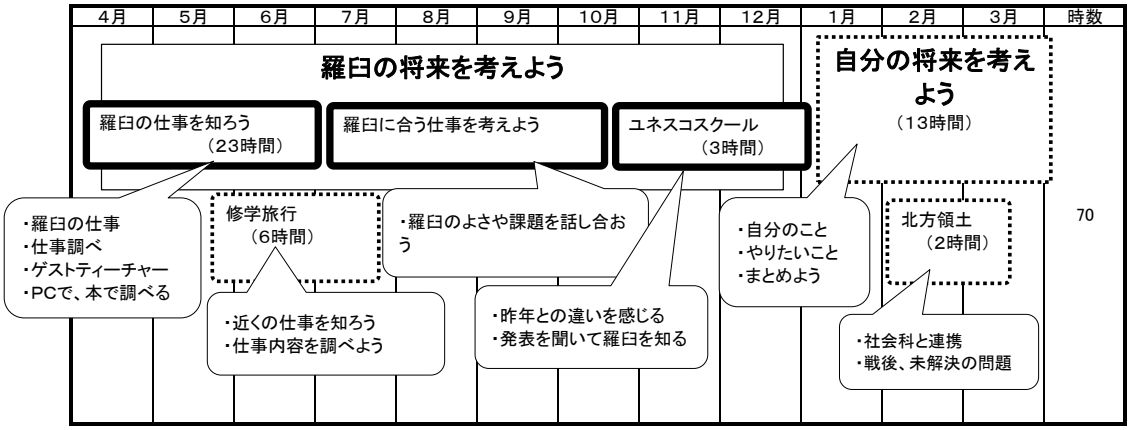
目標

羅臼の将来について調べる活動・探究的活動を通して，羅臼のよさや課題を学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，羅臼の魅力を発信したりしようとする気持ちを育む。

〇自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。【知識・技能】
〇調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。【思考・判断・表現】
〇自分が羅臼町の発展にどのように関わっていきていくのかについて考え，実践することができる。【主体的に取り組む態度】

R3年度

6年　総合的な学習の時間　・　海洋教育



☆海洋教育　49時間　＋　総合　21時間　＝　70時間

羅臼小学校　3年生

（　総合的な学習の時間　・　海洋教育　）プログラムシート

第3学年		単元名　羅臼の生き物をつたえよう〈海以外の生き物〉	指導時間　21時間
単元の目標		羅臼にいる生き物について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。	
評価	知識・理解	○羅臼にいる生き物について，さまざまな方法で調べることができる。	
	思考・判断・表現	○羅臼にいる生き物についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	○羅臼にいる動物たちを守るために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	

小単元名	主な活動	※指導上の留意点 ☆外部連携
◎羅臼にどんな生き物がいるか考えよう	・羅臼に生息している生き物を思い出す。 ・なぜ羅臼には，珍しい生き物が多いのか。 【知・理】羅臼にいる動物と生き物がいる理由について知ることができる。	
◎羅臼にどんな生き物がいるか調べよう	・興味をもった動物の詳しい生態について，調べる。 【思・判・表】自分に必要な情報を考え，とらえている。	※本，インターネットを使い，調べる。 ☆ビジターセンターに協力をお願いする。
◎調べたことをまとめよう	・調べたことをまとめる。 【思・判・表】羅臼の生き物について調べたことや自分が感じたことについてまとめている。	
◎調べたことを伝えよう	・調べたことをわかりやすく伝える。 【学・人】まとめたことをわかりやすく伝えるように取り組んでいる。	

他教科とのつながり	・
留意事項	・全21時間中にハチ（2時間）・クマ（2時間）学習を含む。

羅臼小学校　3年生

（　総合的な学習の時間　・　海洋教育　）プログラムシート

第3学年	単元名　羅臼の生き物をつたえよう〈海の生き物〉		指導時数　23時間
分　野	■ふるさと　□ボランティア　□防災		
評価	知識・理解	羅臼にいる生き物について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼にいる生き物についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼にいる動物たちを守るために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼にいる生き物について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	主な活動
学習内容・学習の進め方	◎羅臼にどんな生き物がいるか考えよう	・羅臼に生息している生き物を思い出す。
	◎羅臼にどんな生き物がいるか調べよう	・興味をもった動物の詳しい生態について，グループに分かれ調べる。
	◎調べたことをまとめよう	・調べたことをポスターにまとめる。
	◎調べたことを伝えよう	・絵や写真を使いながら，調べたことを友達にわかりやすく伝える。

事前の準備	
留意事項	
協力機関等	○ビジターセンター，図書室

羅臼小学校　3年生

（　総合的な学習の時間・海洋教育）プログラムシート

第3学年	単元名　羅臼の生き物をつたえよう〈ワシ学習〉		指導時数　8時間
分　野	■ふるさと　□ボランティア　□防災		
評価	知識・理解	羅臼にいる生き物（ワシ）について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼にいる生き物（ワシ）についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼にいる動物たち（ワシ）を守るために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼にいる生き物（ワシ）について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	◎羅臼にどんな生き物がいるか考えよう	・羅臼に生息している生き物を思い出す。
	◎羅臼にどんな生き物がいるか調べよう	・興味をもった動物の詳しい生態について，グループに分かれ調べる。
	◎調べたことをまとめよう	・調べたことをポスターにまとめる。
	◎調べたことを伝えよう	・絵や写真を使いながら，調べたことを友達にわかりやすく伝える。

事前の準備	
留意事項	○実際に目にすることのできるオオワシやオジロワシを取り上げる。
協力機関等	○ビジターセンター，図書室

羅臼小学校　4年生

（　総合的な学習の時間　・　海洋教育　）プログラムシート

第4学年	単元名　　羅臼の漁業をくわしく調べよう		指導時数　31時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア　　□防災		
評価	知識・理解	羅臼の漁業について，さまざまな方法で調べることができる	
	考・判断・表現	羅臼の漁業についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	学習に取り組む態度	羅臼の水産業を守るために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼の漁業について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	◎羅臼の漁業について知っていることを話し合おう	・羅臼の漁業について知っていることを話し合う。
	◎羅臼の漁業について調べよう	・羅臼の漁業について調べる。 ・漁師の方や，漁協の方の話を聞く。
	◎調べたことをまとめよう	・調べたことをグループに分かれ，まとめる。
	◎調べたことを伝えよう	・絵や写真を使いながら，調べたことを友達にわかりやすく伝える。

事前の準備	
留意事項	・羅臼の漁業を詳しく調べよう（31時間）には，ユネスコスクールの発表会参加（3時間）を含む
協力機関等	○郷土資料館，ルサフィールド，観光協会，漁師，羅臼漁業協同組合

羅臼小学校　5年生

（　総合的な学習の時間　・海洋教育　）プログラムシート

第5学年	単元名 「産業を知ろう①」〈宿泊学習〉		指導時数 14時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア		
評価	知識・理解	羅臼の産業について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼の産業についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼の産業をこれからも続けていくために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼の産業について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動	評価の観点			
			解決する力	学び方考え方	態度	自己の生き方
学習内容・学習の進め方	・オリエンテーション③ ・宿泊学習の事前学習③	・羅臼の産業について知る。 ・宿泊学習の全体像を理解する。 ・活動内容に合った係を決定する。				
	・宿泊学習当日（メグミルク工場・サーモンパーク見学）⑤　（行事5，総合5）	・係やグループ，班単位での活動や話し合いをする。 ・活動を進めるための準備，作業手順などの連絡調整を自分たちで進める。				
	・宿泊学習の事後学習・まとめ③	・各係やグループ，班で自分たちの取り組みについて振り返り，まとめる。				

事前の準備	○施設との連絡調整，下見，施設・設備の把握 ○バスの手配
留意事項	○バス酔いする子の把握・対応（酔い止め等）
協力機関等	○厚岸少年自然の家，厚岸海事記念館

羅臼小学校　5年生

（　総合的な学習の時間　・海洋教育　）プログラムシート

第5学年	単元名 「産業を知ろう②」〈サケフレーク作り〉		指導時数　4時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア		
評価	知識・理解	羅臼の産業について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼の産業についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼の産業をこれからも続けていくために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼の産業について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	・サケについて知る①	・漁師の方から，羅臼町の定置網漁などのことについて学ぶ。 ・サケフレーク作りを体験する。
	・サケフレーク作り（漁協青年部）②	・漁師の方から，羅臼町の定置網漁などのことについて学ぶ。 ・サケフレーク作りを体験する。
	・まとめよう①	・学んだことをまとめる。 ・お世話になった方々にお礼の手紙を書く。

事前の準備	○漁協青年部との連絡調整
留意事項	○各自バンダナ，エプロンを準備する。
協力機関等	○漁協青年部

羅臼小学校　5年生

（　総合的な学習の時間　海洋教育　）プログラムシート

第5学年	単元名 「産業を知ろう③」〈羅臼昆布学習〉		指導時数　23時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア		
評価	知識・理解	羅臼の産業について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼の産業についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼の産業をこれからも続けていくために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	羅臼昆布を切り口として，羅臼の産業について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	・羅臼昆布事前学習①	・羅臼昆布学習の全体像を理解する。
	・漁師の話を聞く②	・漁師の方から羅臼昆布について話を聞いたり，実際に羅臼昆布を食べさせてもらったりする。
	・まとめ⑩	・漁師の方から教えてもらったことや，自分で調べて分かったことを分かりやすくまとめる。
	・ユネスコスクールで発表③	・自分たちでまとめたものをユネスコスクールで発表する。

事前の準備	○漁師との連絡調整 ○漁協との連絡調整
留意事項	・昆布学習（21時間）には，ユネスコスクールの発表（3時間）を含む。 ○ユネスコスクールでの発表
協力機関等	○漁師　井田さん ○羅臼漁業協同組合

羅臼小学校　5年生

（　総合的な学習の時間　・　海洋教育　）プログラムシート

第3学年	羅臼の生き物をつたえよう〈ヒグマ学習〉		指導時数　2時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア		
評価	知識・理解	羅臼にいる生き物（ヒグマ）について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	羅臼にいる生き物（ヒグマ）についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	羅臼にいる動物たち（ヒグマ）を守るために，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	ヒグマを切り口として，羅臼の自然について，体験的・探究的活動を通して，地域の海や山の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動				
学習内容・学習の進め方	・知床財団によるヒグマ学習②	・羅臼町に生息するヒグマの生態と問題点について学んだり，もし出会ってしまったらどうすればいいのかなどを学んだりする。				

事前の準備	○知床財団との連絡調整
留意事項	○ユネスコスクールで発表の場合もある。 ・羅臼の生き物を伝えよう（海以外の生き物）の中に時数を含める。（全21時間）
協力機関等	○知床財団

羅臼小学校　6年生

（　総合的な学習の時間　海洋教育　）プログラムシート

第6学年	単元名　羅臼での仕事を知ろう□		指導時数23時間
分　野	■ふるさと　□ボランティア		
評価	知識・理解	職業について，さまざまな方法で調べることができる	
	思考・判断・表現	職業についての体験的・探究的な活動を通じて，学習したことや発見したことを自分の思いを入れながら，表現することができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	将来に向けて，自分ができることを考え，実行したり，広めることができる。	
単元の目標	様々な職業について，体験的・探究的活動を通して，仕事や地域の実情を学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，将来にむけて自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	羅臼での仕事を考えよう①	羅臼にどのような仕事があるかを考える。単元の見通しをもつ。
	詳しく知りたい仕事を考える②	羅臼の仕事の中で，詳しく調べてみたい仕事を選ぶ。
	色々な仕事についてお話を聞こう⑨	スポーツかかわる仕事、子どもにかかわる仕事、人を助ける仕事、観光にかかわる仕事について話を聞く。
	まとめ⑨	これまでの学習や講師から聞いた話をまとめる。
	発表②	発表の練習をする。 発表会をする。（参観日）

事前の準備	○講師依頼（依頼文と礼状）
留意事項	○意図的に保護者が働いている場所等を選んだ。
協力機関等	○スポーツクラブ「らいず」　○羅臼消防署　○羅臼幼稚園　○らうすリンクル

羅臼小学校　6年生

（　総合的な学習の時間　海洋教育　）プログラムシート

第6学年	単元名　夢に向かって様々な職業を調べよう。		指導時数26時間
分　野	■ふるさと　　□ボランティア		
ねらい	問題を解決する力	お話や体験を通して，自己の課題を深め，解決する。	
	学び方・考え方	課題解決のために必要な情報を集める。	
	自己の生き方	自分の生活を振り返り，将来の夢や希望をもつ。	
単元の目標	羅臼で見られる職業について，体験的・探究的活動を通して，地域の豊かさについて学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを持ったり，自分たちにできることを考え実践しようとする気持ちを育む。		

	学習内容	児童の活動
学習内容・学習の進め方	オリエンテーション②	世の中にどのような職業があるのかを考える。 自分が将来つきたい職業を選択する。
	調べ学習⑩	自分が将来つきたい職業について調べる。
	まとめ⑪	調べたことをまとめる。 まとめたものを総合的な学習ファイルにまとめる。

事前の準備	○インターネットページの検索　○本などを図書室から探す
留意事項	○インターネット検索の場合は基本的には全員同じHPを利用することとする。 ・ユネスコスクールの発表会（3時間）を含む。
協力機関等	

Ｒ２年　資料　　１年生　知床学(海洋教育)の概要

１．１年生の目標

〇春から夏へと季節が移り変わっていることや，自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，
　生活上必要な技能や習慣を身に付けている。(知・技)。
〇春や秋の特徴や違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。(思・判・表)
〇生きものに興味をもって探したり，諸感覚を使って遊びを創り出し，遊びや生活を楽しくしようとしている。(学びに向かう力・人間性等)

２．構成と教科との関連

きせつといきものとなかよし　１２ｈ
～はる・なつのいきものとなかよくなろう！

【５月ごろ　生活　きせつと　なかよし　はる　なつ　】８ｈ
【７・８月ごろ　生活　なかよくなろうね　小さな　ともだち】２ｈ
【８月ごろ　国語　しらせたいこと書こう】２ｈ
・春の校庭や公園へ出かけ、野原や公園で遊ぶ。
・夏の校庭や公園へ出かけ、野原や公園で遊ぶ。
→春と夏の様子の違いなどに気づく。小さな生き物や植物の違いなど
・生き物を見つけ、飼育する活動を通して、飼育方法や生き物について調べる活動。
〇グラウンド・裏山・運動公園などで行くと良い。
〇R 元年度は行っていないが、郷土資料館。

【８月ごろ　国語　しらせたいこと書こう】２ｈ
・はる・なつの生き物や遊んだ遊びを「知らせたいこと」として文章を書く活動。
※書く学習は基本的に国語科で指導する。この２時間は、自然の中で遊んだり、交流したりする時間にするとよい。
・友だちに伝えるや前期のふりかえりとして、両親に伝える作文にするなど学習の見通しをもたせるとよい。

国語:「知らせたいこと」

きせつといきものとなかよし　１６ｈ
～あき・ふゆのいきものとなかよくなろう！

【１０・１１月ごろ　生活科　きせつとなかよし　あき　ふゆ】１１ｈ
・秋の校庭や公園へ出かけ、野原や公園で遊ぶ。
・冬の校庭や公園へ出かけ、野原や公園で遊ぶ。
→秋と冬の様子の違いなどに気づく。小さな生き物や植物の違いなど
・秋の生き物や植物、秋の実りを感じ関心をもつ
〇グラウンド・裏山・運動公園などで行くと良い。
〇R 元年度は行っていないが、郷土資料館。
〇グラウンド・裏山・運動公園などで行くと良い。
〇R 元年度は行っていないが、郷土資料館。
〇ビジターセンターなど

【１０月ごろ　国語　見つけたよ　いきもののひみつ　から３ｈ移動】３ｈ
【１０月ごろ　図工　かざって　なにいれよう】２ｈ
※秋の実りを図工の材料として活用する。
※学校の周りの生き物のひみつを探り、国語の学習でまとめる。

国語:見つけたよ　いきもののひみつ
図工:かざって　なにいれよう
など

大単元１　　きせつといきものとなかよし１～はる・なつのいきものとなかよくなろう！　１２時間

大単元「きせつといきものとなかよし１～はる・なつのいきものとなかよくなろう！」では、生活科を軸に学習を進めていく。羅臼の自然豊かな環境に触れ、その特徴を生かした遊びから学習が始まるように幼稚園での経験などを踏まえるなどして指導していく。

また、学習のゴールは国語科「しらせたいことをかこう」の学習につなげ、自分たちが感じたこと学んだことを知らせる文章を書く活動につなげていく。

単元 （学習指導要領との関連）	目標
きせつと なかよし はる なつ （主たる内容５，内容４，６，８，９） 指導時期：５～７　指導時数：12 時間 教科書　：上巻ｐ.46～61	春や夏の自然を諸感覚を使って観察したり，自然物を使って遊んだりすることを通して，春や夏の特徴や違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりすることができ，自然や生活の様子の変化や，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付け，季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。

単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春から夏へと季節が移り変わっていることや，自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けている。	春や秋の特徴や違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。	生きものに興味をもって探したり，諸感覚を使って遊びを創り出し，遊びや生活を楽しくしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動
1	46～47	きせつと なかよし はる なつ （とびら）	野原や公園で遊んだことを思い出し，春や夏の季節の特徴を生かして楽しめる遊びに関心をもつことができるようにする。	○春から夏の遊びのイメージを膨らませる。 ○野原や公園の様子を思い出して，どのように変わったか予想し，生活の中で変化したことなどを考える。 ○みんなでしてみたい季節の特徴を生かした遊びを話し合い，活動への見通しを立てる。

2	48～49	のはらで あそぼう	交通安全に気をつけて野原や公園に行き，諸感覚を使って春を感じながら生きものを探したり，それらと関わって友達と仲よく遊んだりすることができるようにする。	○野原や公園までの安全な行き方や，きまりについて話し合う。 ○友達と一緒に生きものや樹木，草花などとふれ合って遊んだり，出会った人たちと関わったりしながら楽しく遊ぶ。 ○諸感覚を使って自然物にはたらきかけながら春を感じたり，自然の様子に気付いたりする。 ○見つけたことや楽しかったことを友達に伝える。 ○管理事務所や避難場所，防火水槽など人々を災害などから守る施設もあることに気付く。
4	54～55	なつを かんじよう	雨の日と晴れの日の違いに気付き，土や砂，水を使って遊びを工夫して，友達と一緒に楽しむことができるようにする。	○どんな遊びをしたいか，話し合い，遊びのイメージを膨らませ，必要な道具などを準備する。 ○雨の日の生きものや花の様子を観察したり，諸感覚をはたらかせながら雨の中を散歩して気付いたことを表現する。 ○晴れた日に水遊びや砂遊びをして楽しむ。 ○遊んで楽しかったことや，発見したことなどを絵や文などで表現したり，発表したりする。
	56～57	なにを かんじたかな	身近な自然でくり返し遊んだ活動を振り返って，季節によって生きものや植物などの様子が違うことや，その面白さや不思議さに気付いたり，友達と一緒に遊びを創り出す楽しさに気付くことができるようにする。	○見つけたことやわかったことを，エアや文などで表現して，友達と伝え合う。 ○友達との伝え合いを通して，季節の特徴について考えたり話し合ったりする。 ■「わたしのみつけたなつ」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★家の人と一緒に野原に行き，活動したことや見つけた生きものを伝える。

単元 （学習指導要領との関連）	目標
なかよく なろうね 小さな ともだち （主なる内容７　内容８） 指導時期：９月 指導時数：10 時間 教科書　：上巻ｐ.62～71	動物や虫などの生きものを育てる活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心を持って飼育する生きものの世話やすみかを考えたり調べたりすることができ，生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けて，親しみをもってそれらの生命を大切にすることができるようにする。
単元の観点別評価規準	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けている。	飼育する生きものの世話やすみかを考えたり調べたりして，世話をしようとしている。	生きものに関わることを通して，飼育している生きものに親しみをもち，大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動
1	62～63	なかよく なろうね **生活科で指導** 小さな ともだち （とびら）	学校で見つけた生きものたちを思い出し，飼育への関心をもつことができるようにする。	○学校で見つけた生きものたちを思い出す。 ○学校の生きものの様子や飼ったことがある生きものについて話，生きものに興味をもつ。 ○生きものに会える場所を話し合う。
2	64～65	生きものを さがそう	校庭などの生きものを探し，ふれ合いを通して，飼育への意欲をもつことができるようにする。	○校庭などの生きものを探しす。 ○生きものと遊ぶときに，気をつけることについて話し合う。 ○生きものの命を感じ取り優しく接する。 ○学校にいた生きものについて話し，触れ合いを振り返る。
4	66～67	じぶんたちで そだてよう **生活科で指導**	よりよい世話について考えながら生きものの世話をするとともに，生きものたちが自分と同じように生命をもっていることに気付き，大切にすることができるようにする。	○生きものを飼育することについて話し合い自分たちで育てる覚悟をもつ。 ○飼育している生きもののすみかや餌などについて調べ用意する。 ○生きものと触れ合って感じたことなどをさまざまな方法で表現する。 ○可能ならば，獣医師の指導を受ける。
3	68～69	なにを かんじたかな **生活科で指導**	生きものに触れ合ったり，世話をしたりしたことを振り返り，世話で工夫したこと，感じたこと，気付いたことなどを伝え合うことができるようにする。	○世話を通して自分が感じてきたことを振り返り話し合う。 ○生きものとの関わりや，生きものの様子を自分の考えた方法で表す。 ○伝える相手や伝え方を考え，練習をする。 ○自分が感じたことを，世話を任せてくれた人に報告をする。 ■「わたしのそだてた生きもの」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★家の人に，自分が学校で飼育した生きものを紹介する。

資料	70	生きものの そだてかた ずかん	すみかや餌などを，適宜，参考にする。
もしも	71	生きものの ことばが わかる マイクが あったら。	飼育をした経験をもとに，生きものに心を寄せて，生きものの意気持ちを想像する。

※ 国語「しらせたいことをかこう」２ｈ

・文章の書き方は国語の学習で行う。２時間は海洋学で気づいたことや学校で出会ったいきもののことを思い出したり、出会ったりする時間とする。

・評価基準や学習計画については、国語科指導計画を参照。

大単元２　　きせつといきのもとなかよし２～あき・ふゆのいきものとなかよくなろう！　　１９時間

生活科「きせつとなかよし　あき・ふゆ」の学習活動から学習を進める。あきの学習のゴールとして、自然物を使った造形活動「かざって　なに　いれよう」と関連付けて指導していく。また、その後も秋の自然物を使ったおもちゃ作りなど幼稚園で学んだことを取り入れて学習が進められるとよい。

単元 （学習指導要領との関連）	目標
きせつと なかよし **あき** **（主たる内容５，６ 内容４，８）** **指導時期：10～11 月** **指導時数：14 時間** **教科書　：上巻ｐ.72～91**	秋の自然を諸感覚を使って観察したり，自然物を使って遊んだり，遊びの楽しさを身近な人と伝え合ったりすることを通して，秋の特徴や，春や夏との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりすることができ，秋の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付け，遊びや生活を楽しく創りだすことができるようにする。

単元の観点別評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春や夏の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けている。	秋の特徴や，春や夏との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。	自然物を使って遊ぶものを作ったり，友達と遊んだり，その楽しさを伝え合ったりして，遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動
1	72～73	きせつと なかよし あき （とびら）	秋の野原や公園の変化に関心をもち，秋にできる遊びについて期待をもつことができるようにする。	○生活の中で見つけた秋を発表する。 ○秋の野原や公園は，夏と比べて，どのように変わったか予想をする。 ○みんなでしてみたい秋の活動を話し合い，活動への見通しを立てる。
2	74～75	あきを 見つけに　いこう	野原や公園で秋の自然を観察したり，木の実や落ち葉を集めたり，自然を利用して遊んだりすることを通して，夏の頃と様子が変わっていることや秋の自然の様子に気付くことができるようにする。	○秋の野原や公園に行く計画を立てる。 ○野原や公園に出かけ，春や夏に虫を見つけた場所で虫や虫のすみかを探す。 ○秋の草花や樹木などを観察し，季節の変化に気付く。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。
2	40～41	かざって なに いれよう **図工の単元から移行**	箱や袋の形や色，箱や袋に入れたいものからつくりたい箱や袋を考え，いろいろな形や色などを捉えながら，飾り方を考え，楽しみながら表し方を工夫して表す。	○何を入れたいか，どのような飾りを付けるとよいか考えながら，楽しい入れ物を思い浮かべる。 ○思いに合う形や色，材料を考えながら，飾り方を工夫して表す。 ○友人と作品を見合い，面白さや楽しさを感じ取る。
1	76～79	草の み 木の み どんぐり おちば	秋を探したり，遊んだりしたことなどを振り返り，採取した木の実や落ち葉などを友達と見せ合ったり，拾ったときの思いや気付いたことを絵や文などで表現することができるようにする。	○秋の公園や野原でしてきた体験や集めた木の実や木の葉などについて伝え合う。 ○活動したことの楽しさや，見つけた秋のことなどを，カードに絵や文などで表現する。 ○次の時間はどのような活動をしたらよいか見通しをもつ。
1	80～81	なにを かんじたかな	秋と自分たちの生活との関わりを振り返り，見つけた木の実や木の葉，楽しかった活動などについて友達と紹介し合ったり伝え合ったりするとともに，更に秋を楽しむためにこれからの活動について考えることができるようにする。	○前時にカードに描いた内容について，友達に紹介したり伝え合ったりする。 ○友達と伝え合いをして気付いたことや感想を発表する。 ○これからどんなの活動をしていきたいのかを考える。 ○これからどんなことをしていきたいかを発表し，クラス全体で話し合う。話し合ったことをもとに，今後何をしていくかをクラス全体で決める。 ■「わたしのもっと○○したいな」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。

1	82～ 83	たからもので あそぼう	集めた木の実や葉の形や色などの特徴を生かしてどんな遊びができるか考えたり，簡単な遊びをみんなで楽しんだりすることができるようにする。	○集めた木の実や葉について，友達と伝え合う。 ○集めた木の実や葉で，どんなことをしてみたいかを考える。 ○集めた木の実や葉の特性を生かして，簡単な遊びを楽しむ。 ○素材遊びをした感想や気付いたことを伝え合う。
3	84～ 85	おもちゃを つくって あそぼう	木の実や葉を利用し，身近なものを使って遊びや遊びに使うものを工夫して作り，そのおもしろさや自然の不思議さに気付き，みんなで楽しむことができるようにする。	○作りたいものを考え，活動への見通しをもつ。 ○自分が作りたいおもちゃを工夫しながら作ったり改良したりしながら遊ぶ。 ○作ったもので友達と一緒に遊んだり，遊び方を工夫して楽しんだりする。 ○活動を振り返り，楽しかったことや気付いたことを絵や文などで表現する。
資料	86	つくりかた	秋の自然物を使ったおもちゃの作り方を，適宜，参考にする。	
2	87	たのしさを つたえよう	木の葉や木の実を使って遊んだ楽しさを身近な人々に伝えたいという意欲を高め，すすんで交流することができる。	○「あきのたからものランド」の計画を立てる。 ○「あきのたからものランド」に招待するために必要なものを作ったり準備したりする。 ○遊び方やルールをグループで話し合ったり，試しに遊んでみたりして工夫する。 ○ポスターや招待状を作って渡す。 ■「ようこそたからものランドへ」を書き，自分の考えを整理する。
2	88～ 89	みんなで たのしもう	園児などを「あきのたからものランド」に招待して，一緒に楽しむ工夫ができるようにする。	○園児を出迎え，挨拶をしたり，「あきのたからものランド」コーナーやルールなどについて説明をしたりする。 ○「あきのたからものランド」を園児と一緒に楽しむ。 ○園児を見送り，片づけをする。 ○活動を振り返り，楽しかったことや嬉しかったことを，絵や文などで表現する。 ■「どんなあそびをしたかかこう」を書き，活動を振り返る。
1	90～ 91	なにを かんじたかな	単元全体を振り返り，秋を楽しむことができた充足感を味わうとともに，おもちゃ作りで工夫をしたことや園児との交流でできたことを伝え合うことを通して，自分の成長に気付くことができるようにする。	○これまで記入したカードや，ノート，写真などを見て活動を振り返る。 ○これまでの活動を振り返って，感じたことや考えたことをカードなどに記入する。 ○これまでの活動について，感じたことや考えたことを友達と伝え合う。 ○友達と伝え合いをして感じたことや，気付いたことを発表する。 ■「わたしの見つけたあき」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★家の人に，おもちゃの工夫や楽しかったことを伝え，一緒に遊ぶ。

単元 （学習指導要領との関連）	目標
きせつと なかよし ふゆ （主たる内容５，６ 内容４，８） 指導時期：１～２月 指導時数：12 時間 教科書　：上巻ｐ.104～117	冬の自然を諸感覚を使って観察したり，自然現象を使って遊んだりすることを通して，冬の特徴や春や夏，秋との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりすることができ，冬の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さ，季節の変化などについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付け，遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。

単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
冬の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さ，季節の変化などについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けている。	冬の自然を生かした遊びを考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。	冬の自然を生かした遊びをしたり，遊ぶものをつくったりして，遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動
1	104 ～ 105	ふゆと ともだちに　なろう （とびら）	冬の野原や公園の様子がどのように変わったのか関心をもち，冬にできる遊びについて期待をもつことができるようにする。	○身近な地域の様子や自分たちの生活の中で，季節の変化を感じることを発表する。 ○冬の野原や公園の様子の変化を予想する。 ○冬の野原や公園でどのようなものを見つけたり遊んだりしたいか，見通しをもつ。
2	106 ～ 107	ふゆを 見つけに　いこう	冬の野原や公園で，冬の生きものを探したり，冬の自然現象を生かして楽しく遊んだりすることができるようにする。	○冬の野原や公園に行く計画を立てる。 ○冬の野原や公園に出かけ，楽しく遊んだり，出会った人と関わったりする。 ○諸感覚を使い，秋の様子と比較しながら植物や生きものの様子を調べたり，氷や風などに触れたりして楽しむ。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。
2	108 ～ 109	ふゆの 生きもの	生きものの様子を観察したり調べたりして，生きものの冬の過ごし方に関心をもてるようにする。	○植物の様子を観察する。 ○生きものの様子を観察する。

4	110 ～ 111	きたかぜと　あそぼう	風を使った遊びを工夫したり，昔から伝わる遊びをしたり，遊びに使うものを作ったりして，みんなで冬の遊びを楽しむことができるようにする。	○風を捕まえたり，風を使ったおもちゃを作ったりして，風と遊ぶ。 ○自分なりに工夫しておもちゃを作り，楽しく遊ぶ。
2	112 ～ 113	ゆきや　こおりで あそぼう	雪や氷を使った遊びを工夫して，みんなで楽しみ，その面白さや自然の不思議さに気付きくことができるようにする。	○寒い日に雪や氷を使った遊びを工夫して遊んだり，自分で氷を作ったりして楽しむ。 ○雪や氷を使った遊びのおもしろさや自然の不思議さについて友達に伝え合う。 ●氷ができる場所について考えたり，日なたと日陰の違いを比べたりする。
1	114 ～ 115	なにを　かんじたかな	冬の特徴を生かした遊びを通して気付いたことを，カードなどにまとめ，友達と伝え合うことを通して，冬の特徴をつかみ，自然の面白さや不思議さに気付き，自分たちの遊びや生活をより楽しくすることができるようにする。	○気付いたことを絵や文にしてカードなどに書く。 ○わかったことや感じたことを伝え合う。 ■「わたしの見つけたふゆ」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★冬の野原でしたことを，家の人に伝える。
資料	116 ～ 117	のはらの　カレンダー	生きものの１年間の様子を参考にする。	

※国語「見つけたよ　いきもののひみつ」全９時間の単元　から３時間を海洋学に移行

※時数は海洋学で公園やグラウンドに出向く時間にあて、見たことや感じたことを国語の時間にまとめるなどする。または、この３時間で、調べ学習にするなど児童の実態に合わせ活用する。

Ｒ２年　資料　　２年生　知床学(海洋教育)の概要

１．２年生の目標

生きものを育てる活動を通して，これまで飼育した経験を生かして，生きものを大切に育てるために必要なことを考えたり，飼い方や育て方などの情報を本や図鑑などで調べたりすることができ，生きものも自分と同じように成長し，生命をもっていることに気付き，生活上必要な習慣や技能を身に付け，生きものへの親しみをもち，それらの生命を大切に感じながら育てることができるようにする。

２．構成と教科との関連

めざせ　らうす生きものはかせ　２０ｈ

【５月ごろ　生活科　なにをかんじたかな】２ｈ
【５月ごろ　生活科　めざせ生きものはかせ】１ｈ
【５月ごろ　生活科　生きものをつかまえよう】２ｈ
【５月ごろ　生活科　生きものをかってみよう】３ｈ

・春の校庭や公園へ出かけ，身の回りで見つけた生き物をつかまえたり，観察したりする活動。
・生き物を見つけ、飼育する活動を通して、飼育方法や生き物について調べる活動。
・身の回りの生き物について調べたことを，「生き物クイズ」にして，友達としょうかいしあう。

国語:「生きものクイズを作ろう」６ｈ

【８月ごろ　生活科　生き物のことをつたえあおう】３ｈ
　　生活科　生きものをかってみよう】３ｈ

・川や海，郷土資料館などの見学
（R 元年度は，郷土資料館でコケ作りの体験。）

さけが大きくなるまで　１８ｈ

【５月ごろ　国語科　「かんさつ発見カードを書こう】７ｈ
・稚魚放流式に参加し，元気に育ってほしい思いをつたえる。

【９月ころ　国語科　町の「すてき」をつたえます】３ｈ
【９・１０月ごろ　国語科　さけが大きくなるまで】３ｈ

・秋の川へ出かけ、さけの様子を観察する。
・５月にさけの稚魚放流を振り返る。
→放流したさけと秋に川へのぼってくるさけの違いなどに気づく。

【１１月ころ　国語科　さけが大きくなるまで】５ｈ
・サーモン科学館の見学。（標津町サーモン科学館）

大単元１　めざせ　らうす生きものはかせ」　８時間

大単元「めざせ　らうす生きものはかせ」では、生活科を軸に学習を進めていく。羅臼の自然豊かな環境に触れ、身の回りの生きものに目を向け学習が始まるように指導していく。

また、学習のゴールは国語科「生きものクイズをつくろう」の学習につなげ、自分たちが身の回りの生き物について調べたことを，「生き物クイズ」にして，友達としょうかいしあう活動につなげていく。

単元 （学習指導要領との関連）	目標
めざせ　生きものはかせ （主たる７　内容８） 指導月　：６～７月 配当時数：10 時間 教科書　：下巻 p.46～57	生きものを育てる活動を通して，これまで飼育した経験を生かして，生きものを大切に育てるために必要なことを考えたり，飼い方や育て方などの情報を本や図鑑などで調べたりすることができ，生きものも自分と同じように成長し，生命をもっていることに気付き，生活上必要な習慣や技能を身に付け，生きものへの親しみをもち，それらの生命を大切に感じながら育てることができるようにする。

単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生きものたちも自分たちと同じように成長し，生命をもっていることに気付き，生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	生きものたちがすんでいた環境から，飼育環境や世話の仕方を考え，生きものの生態や形態を自分なりの表現方法で表現している。	飼育している生きものの生息環境や生態・成長の様子などに関心をもって関わり，大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動
1	46～47	めざせ 生きものはかせ （とびら）	自然の中にいる生きものについて自分の経験を話し合い，生きものを飼うことに対する興味をもつことができるようにする。	○家で飼っている生きものを発表する。 ○これまでに自然の中で見つけた生きものや，飼ったことのある生きものについて話し合う。 ○学校の近くの自然の中にどんな生きものを見つけたことがあるかを発表する。 ○どんなところでどんな生きものを見つけたいか，どんな生きものを飼いたいかを話し合う。

2	48～ 49	生きものを つかまえよう	生きものを探しに行き，生きものに関心をもつとともに，自分の飼いたい生きものを見つけることができるようにする。	○生きもの探しに行く場所や準備について話し合う。 ○安全に気をつけて生きもの探しに出かける。 ○友達と情報交換しながら生きものを探したり，捕まえたりする。 ○捕まえた生きものを持ち帰る。
3	50～ 51	生きものを かって みよう	生きもののすみかを作り世話をしていくことで，その生きものの形態や生態に関心をもつとともに，生きていることに気付き，生きものの命を大切にできるようにする。	○生きもののすみかやえさについて話し合う。 ○飼い方について，生きものに詳しい人に聞いたり，図鑑や本を見たり，インターネットで調べたりする。 ○生きものに合ったすみかや餌を準備する。 ○すみかを整えて育てる。 ○不思議に思ったことや驚いたことをカードに記録する。 ●生きものからだのつくりを比較する。
3	52～ 53	生きものの ことを つたえ合おう	自分の飼っている生きものをさまざまな方法で紹介したり，友達の発表も関心をもって聞いたりできるようにする。	○自分の飼っている生きものを紹介し合うことについて話し合う。 ○発表の準備をする。 ○クイズや発表・新聞・身体表現などさまざまな方法で発表する。 ○活動を振り返り，発表会の感想を伝えたり，生活科ノートに記録したりする。
1	54～ 55	何を かんじたかな	生き物の成長の様子や生き物への親しみや愛着，世話をしてきた自分のよさについて考えたことを表現することができるようにする。	○生き物を育てて思ったことや感じたこと，自分自身の成長などについて話し合う。 ○飼った後は生きものをどうするのかを話し合う。 ■「わたしのそだてた生きもの」を書き，「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★発表のために作った作品をもとに，生きものの秘密について家族に教える。

資料	56～57	生きものの そだて方図かん	生きものの飼育環境や餌を，適宜，参考にする。
資料	58～59	夏を 楽しむ くふうは どこ	春のまちの様子と比較して，自分たちが住む地域の自然や生活の様子に，どのような変化があったか考えたり，自分たちのまちの夏の行事を思い起こしたりする。

※ 国語「生きものクイズをつくろう」６ｈ

・文章の書き方は国語の学習で行う。

・評価基準や学習計画については、国語科指導計画を参照。

大単元２　　「さけが大きくなるまで」　１８時間

国語科「町のすてきを　つたえます」「さけが大きくなるまで」の学習活動から進める。5月ごろに行う「さけ稚魚放流式」を導入とし，「サーモン科学館」の見学を学習のゴールとして、関連付けて指導していく。また、その後もふるさと給食などにつなげられるとよい。

※国語「町のすてきをつたえます」全１１時間の単元から３時間，「さけが大きくなるまで」全１２時間の単元から４時間を海洋学に移行

・評価基準や学習計画については、国語科指導計画を参照。

Ｒ２年　資料　　３年生　知床学(海洋教育)の概要

１．３年生の目標

○羅臼の魅力を改めて調べる中で、知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性について理解することができる。（知・技）。
○世界遺産知床の海や山について体験的・探究的活動を通し，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。（思・判・表）
○羅臼で働く人々の仕事の様子や世界遺産知床の自然を知り，自分たちにできることを考え、広めようする。（学びに向かう力・人間性等）

２．構成と教科との関連

７月**【発見！羅臼の良いとこすごいこと1】**
【こんぶフェスタ】５ｈ
事前学習：４年生と合同で出前授業
こんぶフェスタのポスター作り　など
実際にこんぶフェスタに参加し、コンブ漁体験や、様々な体験活動を通し、こんぶ漁について学ぶ。
外部講師：ケミカル代表　芦﨑さん
その他の打ち合わせも芦﨑さん

１２月**【発見！羅臼の良いとこすごいこと　2】**６ｈ
『ユネスコスクール（海洋教育報告会）』
報告会を通し、羅臼の魅力について改めて気づいたり、来年度の見通しをもったりできるようにする。

社会:わたしたちのまちと市
わたしたちの市のあゆみ

８～９月**【発見！羅臼の良いとこすごいこと　2】**８ｈ
『発見！羅臼のくらし』
羅臼の基幹産業である漁業に着目し、自分たちのくらしとのかかわりを考える。
・ふるさと給食の食材から羅臼の漁業に目を向ける
・水産加工場を見学し、インタビューを行う
・見学カードをもとに、報告文を書く

国語:取材して知らせよう
社会:工場ではたらく人と仕事
など

5～7月　**【発見！羅臼の良いとこすごいこと　1】**
【発見！羅臼の自然】６ｈ
羅臼（知床）の自然について調べ、ポスターにまとめる。
・ビジターセンター等を見学する（知床財団との連携）
・クマ学習を行う
・ポスターを用いたまとめ方を知る
・幼稚園との交流学習
例：絵本の読み聞かせ
クマの食べ物クイズ
「あさはゆき」の確認

９月**【発見！羅臼の良いとこすごいこと　2】**６ｈ
社会「工場ではたらく人と仕事　から移行８ｈ
３年生の社会科では「働く人と私たちの暮らし」を学習する。社会科とリンクさせ、いくつかの社会科見学をこの単元の時数で見学へ行く。
・食品を扱う仕事を調べよう
・魚介類を採ったり育てたりする仕事をしらべよう
・加工場の仕事を調べよう（マルナカ冷蔵）
・調べたことを伝えよう

国語:取材して伝えよう
社会:工場ではたらく人と仕事
など

３.「発見！羅臼の自然」（５～７月）　学習活動と評価【６ｈ】

（１）　単元について

・羅臼町（知床）の自然に関心をもち，知床に棲息する動植物など，自然環境について知る。

・理科で習得した観察技法や国語科で学んだ文章やイラストの伝え方などの方法を取り入れながら進め，相手意識をもちながら発信することができたり，詳しく記録したりすることができる。

（２）　単元の目標

・羅臼町（知床）の自然について知り，体験的・探究的な活動を通して，ポスターなどにまとめ，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，自分たちにできることを実践したりする気持ちを育む。

（３）　評価基準

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○クマも動物たちも人も同じ環境に暮らし，クマと出会ったときの対処法を知ろうとしている。	○体験的・探究的な活動を通して，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れながら，表現しようとする。	○羅臼（知床）の自然に携わっている人々の思い，それらを取り巻く環境等について知り，自分たちにできることを考え，広めようとする。

（４）　活動計画

次	主な学習内容	備考
１	クマについて知ろう！ ・クマのえさや「あさはゆき」の合言葉など，対処法を知る。	・知床財団の方との連携を図り，ヒグマに会った時に絶対してはいけないことを教えてもらう。 【知識・技能】】クマのえさや対処法について，自分の生活と結びつけて知ろうとする。
２～３	ビジターセンター等を見学しよう ・様々な動植物（クマ・外来種など）について知る。	・ビジターセンター等の見学を通して，「なぜ」「どうして」「そうなんだ」「これからは」という考えを大切にし，これからの生活につなげられるようにする。 【知識・技能】発見したことや自分が感じたことを見学カードに記録している。
４～５	ポスターを作ろう ・見学を通して学んだことなどをポスターにまとめる。	・発見したことや感じたことなどを，文章やイラストなどを使って，表現できるようにする。 【思考・判断・表現】羅臼（知床）の動植物について，日常生活と結びつけながら考え，表現している。

6	ポスターセッションをしよう ・お互いの発表を聞きあう。	【学びに向かう力・人間性】 ・羅臼（知床）の動植物との関りについて，自分たちにできることを考え，伝えたり広めたりしようとする。

4．「こんぶフェスタ」学習活動と評価【６ｈ】

（1）単元について

・羅臼町の水産資源として，こんぶに関心をもち，海の豊かさについて感じる。

・町の行事「こんぶフェスタ」に参加し，こんぶ漁体験などを通してこんぶ漁の仕事について知り，羅臼の海のすばらしさを実感する。

（2） 単元の目標

・羅臼町のこんぶについて，体験的・探究的な活動を通して，地域の海の豊かさを学ぶとともに，環境等の問題も知ることで，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり，自分たちにできることを実践したりする気持ちを育む。

（3） 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○こんぶ漁の仕事に関わっている人々の話や，体験を通して，海とのつながりが自分たちの生活を豊かにしていることを理解することができる。	○こんぶ漁の体験的･探究的な活動を通して，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れながら，表現することができる。	○川や海の環境を守るために、自分ができることから行動し，広めようとする。

（4） 活動計画

次	主な学習内容	備考
1	こんぶフェスタについて知ろう！ ・外部講師芦﨑さんに来校して頂き、こんぶフェスタの事前学習を行う。	・外部講師の話を聞き，こんぶフェスタ参加に向けて見通しや期待をもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性】 ・漁師の方や実行委員の方の思いなど，学んだことをまとめたり，伝えたり広めたりしようとする。
2	ポスターを作ろう！ ・こんぶフェスタを紹介するためのポスターを作る。	・こんぶフェスタについて，文章やイラストを通して伝えることができるようにする。 【知識・技能】こんぶフェスタの内容や自分が感じたことについてポスターに書いている。

３～５	こんぶフェスタに参加しよう！ ・実際にこんぶフェスタに参加し，こんぶ漁体験やポスター配布など，様々な体験活動を行う。	・体験しながら，「なぜ」「どうして」「そうなんだ」「これからは」という考えを大切にし，これからの生活につなげられるようにする。 【知識・技能】体験活動を通して，こんぶ漁の仕事方法を理解し，こんぶの生産に向けて工夫していることに気付いている。
６	新聞を作ろう！ ・こんぶフェスタに参加して感じたことや体験したことを新聞に書いてまとめる。	・学習したことを簡潔にまとめられるように，また自分の考えなども入れながら書けるようにする。 【思考・判断・表現】こんぶフェスタの体験活動を通して，発見したことや感じたことなどを，文章やイラストなどを使って，表現している。

５.「発見　羅臼の良いとこすごいこと２　発見！羅臼のくらし①」【６ｈ】学習活動と評価

社会の単元から移行

大単元２	**はたらく人とわたしたちのくらし**	**配当時間　20 時間**		**教科書　３** **P42～89**

目　　標

●地域の消費生活と産業の様子について，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●地域の消費生活と産業の様子の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●地域の消費生活と産業の様子について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

大単元名：２　はたらく人とわたしたちのくらし　【配当１時間】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解している。 ・生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめている。	・消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現している。 ・仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現している。	・地域に見られる販売や生産の仕事について，主体的に問題解決しようとしている。

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表，（行）=行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）=テスト

小単元２	〈せんたく〉工場ではたらく人と仕事	配当時間　８時間	教科書　３ P64～77

標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などについて見学・調査したり地図などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことをノートにまとめ，生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などに着目して，問いを見いだし，生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などと地いきのくらしを比較・関連付けたり，わかったことを総合するなどして地域の人々の生活との関連を考えたり，学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして，適切に表現している。	・地域に見られる生産の仕事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

６.「発見　羅臼の良いとこすごいこと２」【８ｈ】学習活動と評価

3 年生の社会科では「働く人と私たちの暮らし」を学習する。教科書では横浜市での学習をモデルに展開されるが、学び方ひと通り学習すると実際に羅臼の町に出て学習するには時数的な制約がある。そこで総合的な学習の時間にこれを設定し、教科で学習した経験を生かしながら、地域社会に関する様々な事象に対して主体的かかわり、課題を解決する力を養うことをねらいとする。

学習の流れの例

次	主な学習内容	備考
1	ふるさと給食の食材から羅臼の漁業に目を向けよう	・「工場で働く人と仕事」で学習したことを生かして，ふるさと給食の食材は，どこから提供されているのか，どんな魚が提供されているのか調べる活動。
2	加工場の仕事を調べよう	・教科書の「農業の仕事」をモデルに羅臼町基幹産業である漁業の様子を調べる活動 ・種苗栽培の施設を見学し、育てる仕事がある事を理解する。 ・国語「インタビューしよう」との関連
３～５	水産加工場を見学し，インタビューしよう	・販売先に着目し、羅臼と他地域とを関連させながら調べる。
6	調べたことを伝えよう	・新聞を作って伝えよう ・国語「町の行事について調べよう」との関連

(1)「ふるさと給食」の食材から生産に関わる仕事を調べる活動を展開する。教科書の調べ方をもとに「魚や貝などを採ったり育てたりする仕事」を調べ、地元の漁業の漁業に携わる人々の様子や思いを知り、自分たちの住む地域への理解を深める。

(2) 校区にたくさんある加工場に着目し、給食センターや教科書のシウマイ工場の様子と比較しながら調べ、流通から羅臼と他地域のつながりにも着目して調べる。

(3～5)加工場の見学に行き，羅臼町でとれた魚がどのようにして売られていくのか理解を深める。

（6）学習してきた中で、印象に残った事柄をまとめ発表する。

「加工場の仕事を調べよう」

活動の評価規準

※「工場で働く人と仕事」をもとに加工場を調べる。ふるさと給食を入り口としていることや、種苗センターの見学もあるのでそれらとの関連を持たせる。

（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
ふるさと給食のあの食材 P70～71 **【配時 1】**	ふるさと給食の食材や製品から気づいたことをもとに，加工品づくりについて調べたいことや調べ方を話し合い，工場見学の計画を立てることができるようにする。	○自分たちの町でつくられている加工品に興味をもち，加工場の仕事について調べるために調べ方や調べる内容について話し合い，工場見学の計画を立てる。 ◆自分たちの町でつくられているものにはどんなものがあるかを知り，それがどのようにつくられているか調べる方法として工場見学に行くこと。	①自分たちの町で生産されているものを観察して，気づいたことや感じたことを話し合う。 ②工場見学に向けて，調べてくることや調べ方を考える。 ③給食センターと比較しながら考え、工場見学の計画を立て，学習問題をつくる。	【関】羅臼ででつくられているものに興味・関心をもち，それについて意欲的に調べようとしている。（行） 【思】工場の仕事には，どのような工夫があるのかという学習問題を考え，表現している。（発）（ノ）
加工場をたずね P72～73 **【配時 3】**	加工場を見学して，中の様子や加工品作りの工程，働く人の役割についてとらえることができるようにする。	○生産工程の様子を，観察したり聞き取ったりする。 ◆加工場ではでは，いろいろな機械を使ったり，働く人が工夫をしたりしながら１日にたくさんのしゅうまいをつくっていること。	①前時に決めた「調べてくること」をもとに，工場では加工品をどのようにつくっているか，見学して調べる。 ②観察してもわからなかったことを，工場で働く人にインタビューして調べる。 ③加工品づくりの作業工程を確かめる。	【技】自分たちで話し合った観点にもとづいて見学したり，話を聞き取ったりしている。（行）（ノ）
工場見学からもどって P74～75 **【配時 1】**	工場を見学した時にメモした内容をノートにまとめ，わかったこと，さらに調べたいことを確かめることができるようにする。	○工場を見学してわかったことを整理し，そこでわかったことをもとにもっと調べたいことを話し合う。 ◆実際に見学してわかったことを整理するとともに，そこから出された新たな疑問や，実際には見学できなかった部分についての疑問をもてること。	①見学して気づいたことやわかったことを，見学メモをもとにカードを作成する。 ②カードに書いたことを黒板にまとめながら，わかったことや気づいたことを話し合う。 ③話し合ったことをもとに，まだわからないことや，さらに調べてみたいことをノートに書く。	【技】見学でわかったことを観点に沿って出し合い，それらを分類したり，比較したり、関連づけたりしながらまとめている。（行）（ノ）
原料はどこから，製品はどこへ P80～81 **【配時 2】**	加工品の原料が運ばれてくる地域や，製品の配送先や配送方法を調べて，自分たちの市と国内外の他地域とのつながりや工場の立地の工夫に気づくことができるようにする。	○加工品の原料が運ばれてくる地域や製品の配送先，輸送のための工夫について調べ，気づいたことをまとめる。 ◆加工品の原料が国内外のさまざまな地域から運ばれてきたり，早く届ける工夫をしながら製品が国内の各地に配送されていったりすること。	①加工品の原料は，どこから運ばれてくるのか調べ，地図に表す。 ②製品はどこへ，どのようにして運ばれているのか，工場の人の話や地図などの資料をもとに調べる。 ③加工品づくりと他地域とのつながりや，出荷の際の工夫について考える。	【技】加工品の原料が運ばれてくる地域や配送先，工場の立地条件について地図や資料から読み取ったり，地図に表したりしている。（発）（ノ）

地いきとともに歩むものづくり P82～83 【配時 1】	工場での環境への配慮や，加工品づくりの歴史を調べることで，ものづくりの工夫や地域とのつながりについて気づくことができるようにする。	○加工品づくりは，どのようにして続けられてきたのか工場の人の話から調べ，工場と地域のつながりについて話し合い，加工品づくりについてまとめる。 ◆工場の人たちは，環境への配慮やまちの歴史を大切にして，地域とのつながりの中で仕事をしていること。	①工場における環境や資源への配慮について調べる。 ②加工品づくりの歴史について調べ，地域とのつながりについて考える。 ③「まとめる」を参考に，調べてきて考えたことや感じたことをノートに書く。	【思】加工品づくりについて学習したことを，キーワードをもとにまとめている。（ノ）（テ）
〈深める〉 ちらしをつくって，仕事のくふうを伝えよう P84～85 【配時 1】	販売と生産の仕事を調べてきてわかったことや，考えたことなどをもとに，仕事の工夫を伝えるちらしにまとめることができるようにする。	○販売と生産の仕事について調べてわかったことを振り返りながら，それらを総合させたちらしにまとめる。 ◆販売と生産の仕事の工夫を他者に対して伝えるために，見出しやキャッチフレーズを話し合いながら考え，ちらしを作成すること。	①商店や工場（農家）の仕事の学習を振り返り，それらを宣伝するちらしをつくるには，どんなことに気をつければよいかを話し合う。 ②それぞれの仕事の工夫や，他地域とのつながり，自分の生活とのかかわりについて表現する。 ③まとめたちらしをもとに発表し，感想を話し合う。	【思】店や工場，農家の仕事は自分たちとかかわりがあり，自分たちの暮らしを支えていることを考え，ちらしやノートに表現している。（ノ）

単元名：２　工場ではたらく人と仕事　【配当８時間】

※「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表，（行）=行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）=テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
まちで人気のしゅうまい p.64～65 【配時 1】	地元でつくられているしゅうまいに関心を抱き，しゅうまいの製造や消費について疑問をもてるようにする。	○自分たちの市でつくられているしゅうまいに関心（興味）をもち，販売店の店員にインタビューしたり，疑問点を質問したりする。 ◆自分たちの市の名物と呼ばれるものが工場でつくられたり，多くの人に消費されたりしていること。	①スーパーマーケットの弁当としゅうまい販売店の弁当を比べる。 ②しゅうまい販売店の店員にインタビューし，わかったことをカードに書く。 ③自分たちの市でしゅうまいがどれくらい消費されているか調べ，気づいたことを発表する。	**【知技】**市の名物とよばれるものを製造する工場とはどのような所かを考え，疑問に思ったことを質問している。（行）（発）

学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう p.66～67 【配時 1】	市内の工場分布に着目し，しゅうまい工場の位置や店員の話をもとに学習問題をつくり，学習の見通しを立てることができるようにする。	○市内の主な工場の分布を調べ，学習問題をつくり，工場の仕事を調べる学習の見通しを立てる。 ◆市内の主な工場分布をもとに学習問題をつくり，それについて予想しながら学習計画を考えること。	①市内の主な工場の分布について調べる。 ②工場の位置や店員の話をもとに，学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し，学習の見通しを立てる。	**【思判表】**市内の主な工場の分布を読み取り，しゅうまい工場に関わる疑問から学習問題をつくり，表現している。（発）（ノ） **【態】**工場を調べる学習問題について予想し，学習の見通しを立てている。（発）（ノ）
工場をたずねて p.68～69 【配時 2】	しゅうまい工場を見学して，しゅうまいづくりの工程や働く人の仕事について，捉える。	○工場を見学して，しゅうまいの製造工程を調べ，わかったことを整理する。 ◆工場では機械による流れ作業によって，多くのしゅうまいを製造していること。	①工場を見学し，しゅうまいの製造工程を観察する。 ②工場の人の説明を聞き，メモを取る。 ③しゅうまいの製造工程や作業についてたしかめる。	**【知技】**しゅうまいの製造工程や，そこで働く人の仕事を理解している。（行）（ノ）
はたらく人が気をつけていること p.70～71 【配時 1】	工場の設備や働く人たちの服装に着目し，衛生や安全の大切さを捉える。	○工場の設備や働く人たちの服装などを調べ，工場で働く人たちは，どんなことに気をつけながらしゅうまいをつくっているか話し合う。 ◆工場で働く人たちは，特に衛生と安全に気をつけてしゅうまいづくりに取り組んでいること。	①工場の施設や働く人の服装について，気づいたことを発表し合う。 ②工場で働く人が気をつけていることを調べる。 ③調べてわかったことや，考えたことをまとめる。	**【知技】**工場内の設備や働く人の服装をもとに，安全や衛生の大切さについて理解している。（ノ）
工場ではたらく人たち p.72～73 【配時 1】	工場の製造以外の部門で働く人に着目し，互いに協力していることを捉える。	○しゅうまい製造以外の仕事や，仕事別の労働時間などについて調べ，工場内における分業と協力について話し合う。 ◆工場ではしゅうまい製造以外にも関係するさまざまな仕事があり，仕事によって働く時間をずらすなどの工夫をしていること。	①工場には，製造の他にどのような仕事があるのか調べる。 ②工場で働く人の協力の仕方について考える。 ③工場と地域との関わりについて考え，話し合う。	**【知技】**工場には，しゅうまい製造の他にさまざまな仕事をする人がおり，互いに協力して仕事をしていることを理解している。（ノ）
製品はどこへ，原料はどこから p.74～75 【配時 1】	製品とその原料に着目し，製品の配送先や原料の産地の広がりを捉え，国内外の他地域とのつながりを捉える。	○しゅうまいの配送先や原料の産地，輸送のための工夫について調べ，話し合う。 ◆工場で生産された製品は高速道路などを利用して配送されたり，しゅうまいの原料が国内外のさまざな地域から運ばれてきたりすること。	①工場でつくられた製品は，どこへ運ばるのか調べ，発表する。 ②製品の原料は，どこから運ばれてくるのか調べ，発表する。 ③調べたことをもとに，他地域との関わりについて話し合う。	**【知技】**しゅうまいの配送先や原料の産地について調べ，分布図や資料などをもとに読み取っている。（発）（ノ）

学習問題　工場の仕事にはどのようなくふうがあり，わたしたちのくらしとどのようなつながりがあるのだろう。

〈まとめる〉 地いきとともに歩むものづくり p.76～77 【配時 1】	学習内容と学び方をふり返り，工場の仕事と地域の関わりについて整理･分析し，ノートに表現することができるようにする。	○工場のごみを少なくする工夫や，しゅうまいづくりが始まった経緯を調べ，工場と地域のつながりについて話し合い，学習についてまとめる。 ◆工場の人たちは，環境への配慮やまちの歴史を大切にして，地域とのつながりの中で仕事をしていること。	①工場のごみを少なくする工夫や，しゅうまいづくりが始まった経緯を調べ，わかったことを発表する。 ②工場と地域との関わりについて考え，発表する。 ③これまでの学習を振り返り，工場と地域との関わりについてノートにまとめる。	**【思判表】**工場の仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考え，ノートに表現している。（ノ） **【態】**学習問題にもとづいて生産の仕事をまとめるとともに，これまでの学び方をふり返っている。（発）（ノ）

●地域の産業の様子を，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳などの資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
●地域の産業の特色や意味，人々の生活との関連を考える力や，考えたことを表現する力を養う。
●学習問題を追究・解決するために，地域の産業の様子について意欲的に調べ，特色や相互の関連，意味について粘り強く考えたり，調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。

7.「発見　羅臼の良いとこすごいこと２　ユネスコスクール」【３ｈ】学習活動と評価

（１）単元について

・ユネスコスクール報告会に参加し，羅臼町の魅力について改めて気づく。

・来年度，ユネスコスクールの場で自分たちが羅臼の魅力について発表するための見通しをもつ機会とする。

（２） 単元の目標

・羅臼町についての現状を知り，地域の自然の豊かさや課題を探究したり，自分たちができることを考えたりして，羅臼町の環境を守るために自分ができることを実践しようとする気持ちを育む。

（３） 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○羅臼町の自然や環境及び海とのつながりについて学習することを通して，それらの環境が人間生活を豊かにしていることを理解し，次年度，その探究の技能を身につける。	○羅臼町の自然や環境と日常生活との関連性を探究したり，守るために自分たちができることを考えたりしながら表現する。	○羅臼町の自然や環境を守るために、自分ができることから行動し，広めようとする。

（４） 活動計画

次	主な学習内容	備考
１～３	ユネスコスクール発表会に行こう！ ・羅臼町の自然や環境と日常生活との関連性を探究したり，守るために自分たちができることを考えたりし，来年度の見通しをもつ。	・羅臼町の自然や環境を守るために、自分ができることから行動しようとする。 【知識・技能】 ユネスコスクールの発表を通して，自分たちの住む町には，豊かな自然やのよさがあることに気づいている。

３．「発見　羅臼の良いとこすごいこと２　２年生に伝えよう」【４ｈ】学習活動と評価

（１）単元について

・一年間の総合的な学習の学びから、２年生に伝えたいことを決定し，発信する。

（２） 単元の目標

・一年間で学習したことをまとめ，自分の考えを取り入れながら，広めようとしている。

（３） 評価基準

次	主な学習内容	備考
１～２	伝えたいことを決めよう！ ・学習したことから、２年生に伝えたいことを決定し，わかりやすく伝えられる内容を考えたり見直したりする。 ・招待状を作る。	・「魚」「仕事」「人々の思い」など，様々な視点に気づけるようにする。 【思考・判断・表現】 身近な海や海に関わって働く人々，生活する人々について考え，表現している。
３～４	発表会をしよう！ ・２年生に伝えよう！	【主体的に取り組む態度】 一年間を通して学び深めたことをまとめ，自分たちにできることを考え，広めようとする。

R２資料　　４年生　知床学（海洋教育）の概要

１．４年生の目標　総括

羅臼の海産物や知床の自然の魅力について体験的・探究的活動を通して，地域の自然の豊かさを学ぶとともに，地域を大切にしようとする気持ちを抱いたり、羅臼の魅力を発信したりしようとする気持ちを育む。

○羅臼の魅力を改めて調べる中で、知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性について理解することができる。（知・技）。
○世界遺産知床の海や山について体験的・探究的活動を通し，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。（思・判・表）
○羅臼で働く人々の仕事の様子や世界遺産知床の自然を知り，自分たちにできることを考え、広めようとする。（学びに向かう力・人間性等）

２．構成と教科との関連

【３月　エバーグリーン見学　】３ｈ
海の上から見る羅臼の魅力を体験する。
出前授業や外部講師については、（下記参照）

【１２月ユネスコスクール発表会（海洋教育成果発表会）】３ｈ
総合の学習で学んだプレゼンテーションを使い、発表会する。
関連教科　総合
・パソコンの基本的な操作・ローマ字の読み書きとキーボード入力・パワーポイントの使い方
・ネット使用・写真撮影時の注意（HP「ネット社会の歩き方」）

【２月海上保安庁巡視船見学　】３ｈ
羅臼の海で,私たちの命を守るために働く海上保安の仕事について学ぶ。
社会「自然災害にそなえるくらし」
社会３年「地いきの安全を守る」

【１０月　こんぶ学習　】２ｈ
羅臼の名産である昆布について、ゲストティーチャーを招き、羅臼昆布の魅力について学ぶ。

【８月　浄水場・ゴミ処理場見学】４ｈ
羅臼の自然を守るために、ごみや汚水をどのようにしてきれいにしているのか学ぶ。

社会「健康なくらしとまちづくり」から

【１１月ビジターセンター訪問　】３ｈ
羅臼の自然を守るための取り組み、羅臼の魅力について取材する。

【７月　こんぶフェスタ参加　】３ｈ
羅臼の名産である昆布の魅力や漁の仕方について学ぶ。

【５～１２月 羅臼のいいとこ再発見！】２２h
自分たちの経験や，羅臼の魅力を発信しようと努力している人々との出会いを通して，自ら課題を設定し，深めて調べたいテーマを決める。課題設定後は，調査，分析，解決，発表の流れで，学習のまとめをおこなう。自分たちの住むふるさとのよさをきちんと知り，地域の一員としての気づきを促したい。

・外部講師による出前授業
【H28 実績：知床ネイチャークルーズ長谷川さん，ケミクル代表芦崎さん，イラストレーター後藤さん，英嶺山登山道開拓に携わった宮腰さん，らうす凪代表遠嶋さん】
【H29 実績：知床ネイチャークルーズ長谷川さん，ケミクル代表芦崎さん，英嶺山登山道開拓に携わった宮腰さん，らうすリンクル代表後藤さん，酪農家稗田さん】
・「しれとこ羅臼こんぶフェスタ」事業への参加
・観光船乗船（３月）
（１時間程度，冬の海や流氷，冬の動物などを観察する）
・ユネスコスクール発表会での発表（１２月）
・デジタルカメラやプレゼンテーションソフトの活用

国語：「メモの取り方をくふうし聞こう」　を意識して取材する。
国語：「写真をもとに話そう」　を意識してプレゼンをつくる。
社会：「健康なくらしとまちづくり」　など

大単元「羅臼のいいとこ再発見！」（２２ｈ）

(1) 単元について

・羅臼の名産である昆布の魅力や漁の仕方について学ぶ。
・羅臼の自然を守るために，ごみや汚水をどのようにしてきれいにしているのか学ぶ。
・羅臼の名産である昆布について，ゲストティーチャーを招き，羅臼昆布の魅力について学ぶ。
・羅臼の自然を守るための取り組み，羅臼の魅力について取材する。
・羅臼の海で，私たちの命を守るために働く海上保安の仕事について学ぶ。
・海の上から見る羅臼の魅力を体験する。

↓ これらを通して

・自分たちの経験や，羅臼の魅力を発信しようと努力している人々との出会いを通して，自ら課題を設定し，深めて調べたいテーマを決める。
・課題設定後，調査，分析，解決，発表の流れで，学習のまとめができるようにする。
・自分たちの住むふるさとのよさをきちんと知り，地域の一員としての気づきを促す。

(2)活動の目標

・資料から羅臼町の観光などに関する課題を見つけ，自ら設定し，深めて調べたいテーマを決める。
・「調査」「まとめ」「報告」の仕方を学び，その能力を養う。
・分かりやすくまとめ，パワーポイントを使ってユネスコスクールで発表する。
・羅臼ついての理解を深め，その良さに気づくことで，郷土を大切にしようとする心情を育て，地域の一員として，地域活性に関わろうとする。

(3)活動の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現力	学びに向かう力・人間性等
・羅臼の魅力を改めて調べる中で，知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性について理解することができる。	・世界遺産知床の海や山について体験的・探究的活動を通し，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。	・羅臼で働く人々の仕事の様子や世界遺産知床の自然を知り，自分たちにできることを考え、広めようとする。

活動計画

	児童の活動	活動内容
１次 課題設定 ⑨	羅臼の良さを調べよう③ ・活動の計画を立て活動の見通しを持つ。 ・観光客の入り込み数のグラフから誰に何を聞きたいかを考える	・町民の考える羅数の良さや観光客が見る羅臼の魅力をアンケートにとり，分析し，くわしく調べたことを発表する流れを確認する。 ・観光客の入り込み数(年推移と月推移)のグラフの用意 【思・判・表】観光客入り込み数のグラフから観光客の実情をとらえ，アンケートの内容を考えている。
	アンケートを考えよう③ ・アンケートの内容を摺り合わせ，どこで実施するかを決める。 ・実施の仕方と約束を確認し，聞き取りの計画と練習をする。	・グループ分けしてアンケートしにいく。 【知・技】アンケートの目的や協力して聞き取りを進めることを理解し，インタビューの仕方を練習している。
	アンケートをとりに行こう③ ・礼儀やマナーを守る。 ・はきはきとインタビューする。	・観光客の集まるところでインタビューする。 【知・技】場面や相手に応じてふさわしい言葉遣いや話し方ができる。
２次 課題分析 ④	アンケートから課題を見つけよう④ ・観光客の求める情報をくわしく調べ伝えたい。 ・町民の見てもらいたいものをくわしく調べて観光客に伝えたい ・環境を守るために気をつけていきたいことを提案したい。　…など	・アンケートの集計は担任が行ってもいい。 【学・人】情報の分析の仕方が分かり，アンケートの結果から伝えたい羅臼の魅力について調べるテーマを考えている。
３次 課題解決 ⑨	ユネスコスクール発表に向けて準備しよう⑨ ・デジカメ，パワポ ・グループ分け，調べ方，まとめ方 ・発表の仕方 ・個人の目標も持って本番へ	・国語 学習指導要領の「話す聞く」に則して話し合いや発表ができるようにする。 ・国語「ポスターを使って発表しよう」「分担して図鑑を作ろう」「より良い話し合いの仕方」等を生かす。 【学・人】課題把握のために積極的にアンケートをとり，集めた情報を話し合って分析し，決めたテーマに沿って友達と協力して調べている。 【学・人】友達と協力して羅臼のよさをまとめ発信する準備をしている。 【知・技】場面や相手に応じてふさわしい言葉遣いや話し方ができる。

こんぶフェスタに参加しよう③ ・昆布の魅力や漁の仕方について学ぶ。	・昆布フェスタに参加し，学んだことをメモする。 【知・技】昆布の魅力や漁の仕方について知ることができる。
こんぶのことを学ぼう② ・ゲストティーチャーから昆布のことについて学ぶ。	・ゲストティーチャーの話から羅臼昆布の魅力を知る。 【知・技】昆布の魅力について知ることができる。
ビジターセンターに行こう③ ・ビジターセンターで羅臼の自然のことについて取材する。	・羅臼の自然を守るためにどのようなことに取り組んでいるのかを取材する。 【知・技】場面や相手に応じてふさわしい言葉遣いや話し方ができる。
エバーグリーンを見学しよう③ ・エバーグリーンに乗船して冬の海や流氷，冬の動物などを観察する。	・エバーグリーンに乗船して冬の海や流氷，冬の動物などを観察する。 【知・技】羅臼の冬の良さに気づくことができる。

社会科の単元から移行

大単元名：5　健康なくらしとまちづくり

小単元 2	水はどこから	配当時間　11 時間 （４時間）	教科書　3・4 下 P60～73

目　　標

●水を供給する仕組みについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●水を安定的に供給するための仕組みや人々の取り組みについて，それらが果たす役割を考え，水をどのように使っていけばよいかについて選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

●水の供給や使い方について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・水道を供給する事業は，安全で安定的に供給できるよう進められていることや，地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・水道を供給する事業について，関連施設や事業所を見学したり，地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして，県の白地図や図表などにまとめている。	・水道の供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，飲料水の供給のための事業の様子を捉え，それらの事業が果たす役割を考え，表現している。	・学習したことをもとに，水を大切な資源として捉え，節水などに向けて，自分たちが協力できることなどを考えたり選択・判断したりするなど，資源の有効利用に関心を高めようとしている。 ・水道を供給する仕組みについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

小単元名：2　水はどこから　【配当　４時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現
（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
浄水場を見学して調べよう P64～65 【配時 4】	浄水場を見学して，その仕組みやそこで働く人の仕事を調べ，浄水場の役割を理解することができるようにする。	○浄水場の様子や仕組みについて，浄水場で働く人から話を聞いたり，図解を見たりして調べる。 ◆浄水場のはたらきによって，安心して飲める水道水が安定的に供給されていること。	①浄水場の様子や仕組みを調べる。 ②浄水場で働く人の仕事を調べる。 ③浄水場の役割をまとめる。	【知技】浄水場の仕組みやそこで働く人の仕事の工夫を捉え，浄水場の役割を理解している。（発）（ノ）

(1)小単元名：「海上保安庁の仕事を調べよう」（配当時間：３ｈ）

(2)単元について

・社会科で学習する警察や消防の仕事を調べる活動を生かして調べ，国語の学習に生かす活動。

・漁業の町，世界自然遺産の町羅臼町ならではの海上保安庁の仕事を調べたり，入山者を遭難から守る仕事を調べたりする活動を通して，地域への理解を深める取組。

・国語「課題に沿って報告文を書こう」につなげる。

(3)単元の目標

・観光客などの入山者を遭難から守る仕組みや，海上での事件や事故に備える組織としての海上保安庁の仕事の様子が分かり，羅臼の漁業や観光と関連づけて考えることができる。

課題設定能力	情報収集･分析能力	思考・判断・表現	知識・理解
・海上保安庁の仕事に関心を持ち，意欲的に調べ，羅臼町の漁業を関連づけながら調べる計画を立てている。 ・入山者の遭難から守る仕組みに関心を持ち，意欲的に調べ，観光産業と関連づけながら調べようとしている。	・資料から海上や山でも事件や事故があることを知り，その実情を的確に捉えている。	・海や山での事件や事故への備えや対応を羅臼町の漁業や観光産業とを関連づけて考えることができる。	各機関や組織，施設や設備の意味や役割がわかり，海や山での事件や事故へ備えるのに関係機関が協力・連携しながら海や山での安全を守っていることを理解している。

単元名「安全な海や山での活動を守る」

関連	児童の活動	教師の関わり
１次 社会 ①②	「安全な暮らしと町づくり」警察や消防の仕事について調べる活動 ・事件・事故のない町をめざして ・災害から町を守るために	
２次 総合 ③	海や山での事件，事故は誰が守っているのだろう。① ・どんな事件や事故があるか新聞記事などから調べ，それらに対応する機関や仕組みのへ関心を高める。 ・海での事件や事故の件数などの資料に着目し実情をとらえる。 ・事故や事故が起きたときの対応と未然に防ぐための取組について調べる計画を立てる	・新聞記事などの用意。知っていることの交流などを通して学習への関心を高める。 ・海での事件や事故の件数などの資料。 【思・判・表】警察や消防以外でも安全を守る機関や組織があることを知り，羅臼町の漁業や観光産業と関連づけて調べる計画を立てている。
	事件や事故のない海をめざして② ・羅臼での海の事件や事故のあらましを聞き，どのように対応している	・海上保安庁への取材 ・消防，環境省，ネイチャーセンターのうち，中心になる機関を取材

	かを調べる。 ・未然に防ぐための取組について調べる。	・ワークシート ・できるだけ１日で回れるように計画する。 【知・技】各機関や組織，施設や設備の意味や役割がわかり，海や山での事件や事故へ備えるのに関係機関が協力・連携しながら海や山での安全を守っていることを理解している。
	事件や事故のない山をめざして② ・山での事件や事故のあらましを聞き，どのように対応しているかを調べる。 ・未然に防ぐための取組について調べる。	
	学習課題を解決しよう① ・社会科での学習を生かしてノートを整理する。 ・分かったことや考えたことを話し合う。 ・友達や他の人の話を聞く。	・漁業や観光産業との関連を持たせながらノートをまとめる。 ・国語「課題沿って報告文を書こう」につなげる工夫。 メモを読み合い。 【思・判・表】海や山での事件や事故への備えや対応を羅臼町の漁業や観光産業と関連づけて考えている。
３次 国語 ④	報告文を書こう ・調べたことを書き表す活動	

７．「ユネスコスクール発表会（海洋教育成果発表会）」学習活動と評価

(1)単元について

・ユネスコスクールで発表する。

・これまでの活動を振り返るとともに，次の学年に紹介することで，自身の成長を自覚したり，次の学年が見通しを持ったりできるようにする。

・国語「筋道を立てて紹介しよう」「調べたことを報告しよう」「話し合ってみんなの考えをまとめよう」との関連を持たせる。

(2)単元の目標

・分かりやすくまとめ，パワーポイントを使ってユネスコスクールで発表する。

・学習してきたことの発表の仕方が分かり，今後の学習に生かす。

(3)評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・次の学年に引き継ぐための発表をすることを理解し，みんなで協力して発表会を開くことができる。 ・学習を振り返り自分自身の成長に気づき，次の学年への展望を持つことができる。	・計画にもとづいて準備を進め，よりより発表にするために友達同士で工夫したり，アドバイスしあったりすることができる。	・聞きやすい，分かりやすい発表にするための技能を身につける。 ・質問に対する受け答えができる。

(4)活動計画

発表・展望③	発表しよう③ ・プレゼンテーションを使い，発表をする。	・国語 学習指導要領の「話す聞く」に則して指導する 【学・人】羅臼のよさに気づき，地域の一員として，地域活性に関わろうとしている。

R２資料　　５年生　知床学（海洋教育）の概要

１．５年生の目標（身につけさせたい資質や能力）

○自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。【知・技】
○調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。【思・判・表】
○自分が羅臼町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考え，実践することができる。【学びに向かう力・人間性等】

２．構成と教科との関連

羅臼をよいよくするために～意見文　１３ｈ

【７月 国語「町じまん」をすいせんしよう】
１ｈ
国語より１ｈ　移行
　羅臼町の自慢できることを４年生で学んだことを思い出し考え、話し合う。
・羅臼の自慢を話し合う。

【８月 ふるさと探検隊】１０ｈ
　羅臼の自慢できること調べ、調べたことを「町じまん」のポスターにする。ポスターに書く活動は国語の学習で行う。
・インターネットや町役場へ電話し聞くなどして調べる。

【8月 国語：白神山地からの提言】２ｈ
国語より２ｈ移行
　白神山地の提言を読み、白神山地と同じ世界遺産である知床の自然をどう守っていくか自分の意見をまとめた文章を書く。
・調べたこと、考えたことを意見文にまとめる。

羅臼の水産業を学ぼう！　１１ｈ

【９月 社会　水産業のさかんな地域】
５ｈ
社会より５ｈ移行
ふるさと探検隊より２ｈ移行
日本の水産業について学び、羅臼の水産が雍と比べながら調べる。
・羅臼のせり見学
・ホタテ・昆布の養殖業の見学　など

【１０月　さけ学習 】４ｈ
さけフレークづくりやサケ漁の様子などを学び、羅臼の漁業について理解を深める。
・サケのさばき方を実際に見たり、さけフレークづくりを体験してりする。
・ロープワーク体験
※羅臼漁協との連携

羅臼の自然はどのように守られているのか　６ｈ

【１２月　社会　森林とともに生きる】４ｈ
【　１月　社会　環境とともに生きる】２ｈ

　羅臼の豊かな水産資源は知床の山々が生み出していることを知り、山の自然と海の自然の繋がりについて理解を深め、環境問題について考える。
・社会の学習を通し山と海との繋がりについて理解する。
・北九州市の取り組みを知り、羅臼の自然を守るために必要なことを考える。

道徳：自然愛護

大単元：羅臼の水産業を学ぼう！

【社会】水産業のさかんな地域　【配当５時間】　【総合より６時間】

※「水産業のさかんな地域」か，P102～107の各内容のいずれかを選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などについて，地図帳や統計などで調べて，必要な情報を集め，読み取り，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ・調べたことを文や表などにまとめ，水産業は自然条件を生かして営まれていることや，水産業に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解している。	・水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などに着目して，問いを見いだし，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ・水産業に関わる人々の様々な工夫や努力を総合して，それらの人々の働きを考えたり，学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えたりして，適切に表現している。	・我が国の水産業について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えようとしている。

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
鹿児島県・長島のぶり養殖 P90～91 【配時１】	鹿児島県長島町の，自然条件を生かしたぶり養殖の様子に着目して，品質や安全性の高い魚を安定して出荷するための工夫や努力を捉える。	○鹿児島県長島町のぶり養殖について複数の資料から調べ，養殖業の特色や働く人たちの工夫・努力について考える。 ◆長島町では，ぶりが育ちやすい温暖な海，いけすの設置に適した入り江などの自然条件を生かした養殖業がさかんであること。養殖業は，計画的に魚を育てて出荷で	①地図や写真などから，鹿児島県長島町の位置や漁港の様子，ぶりの養殖と自然条件との関係を読み取り，ノートなどに整理する。 ②ぶりの養殖の作業の流れや，作業の中で気をつけていることについて資料から読み取り，それぞれの作業や工夫の意味	【知技】ぶりを育てるうえで必要な環境や設備，作業について資料から的確に読み取り，養殖業の特色や仕事上の工夫や努力について捉えている。（発）（ノ）

		きること。	について考え，ノートなどに整理する。 ③調べたことをもとに，ぶりの養殖とさんま漁とで似ている点，違う点を考え，話し合う。	
水産業の変化と課題 P92～93 【配時1】	水産業を取り巻く変化に着目して，安定した漁をすることの難しさ，水産物生産量の減少や外国との関係による漁の制限といった日本の水産業の課題について捉える。	○漁業生産量の変化，北方領土と根室の水産業の関係など，水産業の現状について複数の資料から調べ，日本の水産業が抱える課題について考える。 ◆日本の水産業が抱える課題として，漁獲量の変動や全体の生産量の減少，外国との関係による漁の制限などがあること。	①養殖ぶりと天然さんまの生産量の変化を比べて，気づいたことを発表し合う。 ②さんまの漁獲に関する資料や新聞記事を読み取り，さんまの漁獲量が不安定な理由について考える。 ③日本の漁業生産量と水産物輸入量の変化のグラフを読み取り，変化の理由を予想する。 ④日本の水産業が抱えている課題について，これまで調べたことや，北方領土と根室の水産業に関する資料を根拠にして考え，話し合う。	【知技】複数の資料を比べたり関連づけたりして読み取り，日本の水産業の現状をおおまかに把握し，安定的に水産業を営むうえでいくつかの課題があることを捉えている。（発）（ノ）
世界の国々との関わりの中で P94～95 【配時1】	水産業における世界の国々とのつながりに着目して，安定した水産業を続けるためには，世界全体で水産資源の管理に取り組むこと，世界の消費者も相手にしながら生産・出荷を進めることなどが大切であることを捉える。	○世界の水産業の現状を複数の資料から調べ，安定した水産業を続けるために大切なことを考える。 ◆水産資源の減少を防ぐために，世界の国々の間で，漁獲量の制限などについて話し合ったり，200 海里水域の漁場制限を設けたりしていること。一方で，より多くの消費者に水産物を届けるため，輸出も進めていること。	①前時に考えた水産業の課題を振り返り，日本と世界の国々が安定した水産業を続けるために取り組んでいることを資料から読み取り，ノートなどに整理する。 ②世界の水産物消費量の増加に伴って，水産業に関わる人たちが取り組んでいること，気をつけるべきことを資料から読み取り，ノートなどに整理する。 ③整理したことをもとに，安定した水産業を続けるために大切なことを考えて話し合う。	【知技】資料を的確に読み取り，安定した水産業を続けるためには世界の国々への働きかけが大切になってきていることを捉えている。（発）（ノ）

持続可能な水産業をめざして P96～97 【配時１】	水産業の課題を解決するための新しい技術や人々の取り組みに着目して，人々が持続可能な水産業に取り組む意味について捉える。	○国内の水産業の新たな取り組み，計画的な資源管理の取り組みを複数の資料から調べ，安定した水産業を続けるために大切なことを考える。 ◆安定した水産業を続けるために，水産業に関わる人たちは海の環境や水産資源を守りながら，様々な新しい取り組みをしていること。	①日本各地の育てる漁業，新たな漁業技術の研究・導入について資料から調べ，それぞれの取り組みの意味を考えてノートなどに整理する。 ②水産資源を計画的に守る取り組みについて資料から調べ，その取り組みの意味を考えてノートなどに整理する。 ③国内の水産物の消費を増やす取り組みについて資料から調べ，その取り組みの意味を考えてノートなどに整理する。 ④整理したことをもとに，安定した水産業を続けるために大切なことを考えて話し合う。	【知技】水産業に関わる人たちは，安定した生産を続けていけるよう，水産資源の管理や水産物の販売促進において様々な取り組みを進めていることを捉えている。（発）（ノ）
知床学５時間	せり見学やホタテの養殖業の様子を見学する中で、羅臼の水産業について理解を深める。	○せり見学やホタテの養殖業の様子を見学し、羅臼のこれからの漁業について、自分の考えをもつ。	① セリの見学をすることで、自分たちの暮らしに密接に関わる水産業について関心を深める。 ② ホタテの養殖業の様子を見学することにより、羅臼の持続可能な水産業について理解を深める。	【知技】羅臼の水産業に関わる人たちは，安定した生産を続けていけるよう，水産資源の管理や水産物の販売促進において様々な取り組みを進めていることを捉えている。（発）
＜まとめる＞ P98～99 【配時２】	これまでの学習を整理して，水産業に関わる人々の働き，変化や課題に対応する人々の工夫や努力について理解し，これからの水産業について考える。	○水産業に関わる人々の工夫や努力についてカードに整理・分類して，これからの水産業に関する各自の考えを発表し合う。 ◆水産業に関わる人たちは，安全で質の高い水産物をより多くの消費者に届けるために，様々な工夫や努力を重ねてきたこと。水産資源の管理にも配慮して，安定した生産を続けたいと願っていること。	①水産業に関わる人々が進める工夫や努力について，各自で印象に残ったことをカードに書く。 ②カードを整理・分類し，共通点を探しながら，そこに込められた人々の思い（大切にしていること）を考えて話し合う。 ③安全で質の高い水産物をこれからも生産し続けるために，大切だと思うことを話し合い，自分の考えをノートに整理する。	【思判表】水産業に関わる様々な人々の工夫や努力について整理したことを総合して，品質や安全性に配慮していること，様々な変化や課題に対応しようとしていることなどを考え，適切に表現している。（ノ）（テ） 【態】今まで学習したことを生かし，安全で質の高い水産物をこれからも生産し続けるために大切なことについて，自分の考えをまとめようとしている。（発）（ノ）

大単元：羅臼の自然はどのように守られているのか？　社会：森林とともに生きるより４時間移行

環境とともに生きるより２時間移行

●森林は，その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力によって守られ，国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解するとともに，地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
●森林資源が果たす役割を多角的に考える力，森林保全に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。
●国土の森林資源と国民生活との関連について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的に思考や理解を通して，我が国の国土に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・森林資源の分布や働きなどについて，地図帳や統計などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国土の環境を理解している。 ・調べたことを文や図表などにまとめ，森林は，その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力によって守られ，国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。	・森林資源の分布や働きなどに着目して，問いを見いだし，国土の環境について考え表現している。 ・森林の育成や活用に関する取り組みを関連付けたり総合したりして森林資源が果たす役割を考えたり，学習したことをもとに，国土の森林保全のために自分たちに協力できそうなことを選択・判断したりして，適切に表現している。	・国土の森林資源と国民生活との関連について，予想や学習計画を立て，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことをもとに，国土の森林保全のために自分たちに協力できそうなことを考えようとしている。

小単元名：２　森林とともに生きる　【配当６時間】うち２時間移行

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現
（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
森林を守るためにできることは P226～227 【配時１】	森林の育成・活用につながる様々な取り組みや，森林と生活との結びつきに着目して，森林を保全することの意味について捉える。	○森林保全の取り組みの具体例を各種資料から読み取り，考えたことを話し合う。最後に，森林と自分たちの生活とのつながりについて，イラストをもとに考える。 ◆植林活動や国産木材の活用を広げる製品の開発など，森林の育成・活用につながる活動が，日本各地に広がっていること。森林の保全は，国土や地球の環境保全，生活や産業の安定にもつながっていること。	①様々な立場の人々による，森林を守るための取り組みを教科書や資料集などから見つけ，ノートなどに整理する。 ②整理したことをもとに，それぞれの取り組みの意味や，関わる人たちの思いを考え，話し合う。 ③「森林と人々のくらしとのつながり」のイラストに当てはめながら，森林のはたらきが自分たちの生活に及ぼす影響について考え，話し合う。	【知技】森林の育成・活用につながる取り組みに様々な立場の人々が関わっていること，生活や産業の様々な場面で森林とのつながりが見られることを捉えている。（発）（ノ）
＜まとめる＞ ＜つなげる＞ P228～229 【配時１】	調べたことを整理して，森林には様々なはたらきがあり，人々の生活と深く結びついていることを理解し，森林を守るために自分たちが協力できそうなことを選択・判断する。	○森林のはたらきや森林を守る人々の取り組みを図などに整理し，森林と自分たちの生活との関わりや，自分たちに協力できそうなことを考える。 ◆森林には，人々の生活に大きな恩恵をもたらす様々なはたらきがあること。森林資源を未来に残していけるよう，国土に暮らす一人ひとりが協力して取り組むことが大切であること。	①これまでの学習を振り返り，森林のはたらきを発表し合い，ノートなどに整理する。 ②森林が人々の生活にもたらす事柄と，人々が森林を守るために取り組んでいることを振り返り，関係図に整理する。 ③関係図を見ながら，森林と自分たちの生活にはどのような関わりがあるか考え，話し合う。 ④森林を守っていくために，これから自分たちが協力できそうなことを複数見つけ，各自で優先したいものを選び，理由とともに意見交流する。	【思判表】調べたことを整理して森林と人々の生活との密接なつながりを捉え，森林保全につながる取り組みの中で自分にも協力できそうなことを選択・判断し，意見を適切に伝え合っている。（発）（ノ） 【態】これまでの学習を生かして，森林保全につながる取り組みの中で自分にも協力できそうなことを選択・判断しようとしている。（発）（ノ）

社会：環境と共に生きる　２時間以降

●関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや，公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解するとともに，写真や年表などの各種の基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
●公害防止の取り組みの働きを多角的に考える力，環境保全に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。
●国土の環境と国民生活との関連について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，我が国の国土に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚を養う

小単元名：３　環境をともに守る　【配当５時間】
【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現
（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などについて，写真や年表などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，公害防止の取り組みを理解している。 ・調べたことを文や図表などにまとめ，関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに，公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。	・公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などに着目して，問いを見いだし，公害防止の取り組みについて考え表現している。 ・公害に対する様々な立場での取り組みを関連付けたり総合したりして公害防止の取り組みの働きを考えたり，学習したことをもとに，環境保全に取り組むうえで大切なことを選択・判断したりして，適切に表現している。	・国土の環境と国民生活との関連について，予想や学習計画を立て，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ・学習したことをもとに，環境保全に取り組むうえで大切なことを考えようとしている。

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
＜まとめる＞ ＜つなげる＞ P238～239 【配時１】	調べたことを整理して，公害防止や環境保全の取り組みの重要性を理解し，環境保全に向けてより多くの人が行動するために大切だと思うことを選択・判断する。	○公害防止や環境改善の取り組みを関連図などに整理し，そこに見られる共通点などを話し合いながら，環境保全のために大切なことを考える。 ◆公害を発生させず，健康に過ごせる環境を未来に残していくには，様々な立場の人々が自分たちにできる取り組みを続けていくことが大切であること。	①北九州市の市民・市・工場それぞれの公害をなくすための取り組みを関連図に整理し，互いの関連や共通する目的について，考えたことを話し合う。 ②公害克服後の北九州市の取り組みも同様に整理して，公害をなくすための取り組みとの共通点を考える。 ③整理したことをもとに，環境を守るために自分たちが取り組めることはあるか話し合う。 ④環境を守る取り組みにより多くの人が関わるために大切だと思うことを複数見つけ，各自で優先したいものを選び，理由とともに意見交流する。 ⑤p.4~5 を参考に，これまでの学習の進め方を振り返り，より確かな問題解決のための学習の進め方について話し合う。	【思判表】調べたことを整理して公害防止や環境改善の取り組みの重要性を捉え，環境を守るために自分たちができることを考えたり，環境保全により多くの人が関わるために大切だと思うことを選択・判断したりして，意見を適切に伝え合っている。（発）（ノ） 【態】これまでの学習を生かして，環境を守るために自分たちができることを考え，環境保全により多くの人が関わるために大切だと思うことを選択・判断しようとしている。（発）（ノ）
知床学４時間	北九州市と羅臼の共通点との違いから羅臼町はどのように自然を守っているのか考える。	○羅臼でも今後起こる可能性のある公害被害を食い止めるために、どうしていけば良いのか考える。	○羅臼でも今後起こる可能性のある公害被害を食い止めるために、どうしていけば良いのか考える。 ○森林と共に生きるや今年度学んだことをもとに、羅臼町の自然守り方を改めてまとめる。	【思判表】学んだことを整理し、羅臼で公害被害を起こさせないためにどうすればよいか考える。 （発）（ノート）

R２資料　　６年生　知床学（海洋教育）の概要

１．　６年生の目標（身につけさせたい資質や能力）

○自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。【知・技】
○調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。【思・判・表】
○自分が羅臼町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考え，実践することができる。【学びに向かう力・人間性等】

２．　構成と教科との関連

【地球の問題・羅臼の問題】2h　4月
人と環境との関わりを調べる活動を通して，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
・人は地球からどのような恵みを受けているか，地球の変化によってどのような影響を受けるか，また，人の暮らしが地球にどのような影響を与えるかについて考える。
・人の暮らしが環境とどのように関わり合っているか考え，これからの学びに見通しを持つ。
・植物の体の働きを調べるために，ホウセンカの種子やジャガイモのたねいもを植える。

理科：地球と私たちのくらし　（移行２h）

【地球の問題・羅臼の問題】１h　7月
地球環境をめぐるさまざまな問題を調べ，その解決に向けての国際協力の必要性や，持続可能な社会を目ざすことの重要性を捉える。
・世界で起きている環境問題について調べる。
・さまざまな環境問題を解決するための取り組みについて調べる。
・地球環境を守ることの大切さや，自分たちの暮らしとのかかわりについて話し合う。

社会：地球の環境とともに生きる　（移行１h）

【津波学習】６h　9月
東日本大震災による被害や被災した人々の願いに着目して，政治の働きについて学習問題をつくり，学習の見通しを立てる。
・東日本大震災について知っていることを話し合う。
・写真や文章資料から被害の状況を調べる。
・被災した人々の願いを想像し，願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくり，学習計画を立てる。
・教育大釧路校の学生による津波学習（９月頃）

【地球の問題・羅臼の問題】3h　5月
生物と水，空気及び食べ物との関わりを調べる活動を通して，生物と環境との関わりについての理解を図り，観察，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
・絵や写真を見て，生物は他の生物や周りの環境とどのように関わっているか考え，生物と環境との関わりについて問題を見いだす。
・人の食べ物の元は何かを調べ，まとめる。（調査①）
・ダンゴムシが落ち葉を食べる様子や水中の小さな生物を観察するなどして，自然の中での動物の食べ物を調べる。（観察①）
・観察結果を基に，生物の食べ物を通した関わりについて考え，まとめる。

理科：生き物のくらしと環境（移行３h）

【地球の問題・羅臼の問題】　8月
人の生活と環境との関わりを調べる活動を通して，人と環境との関わりについての理解を図り，調査などに関する技能を身に付けるとともに，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
・資料写真を見て，人と環境との関わりについて考える。
・人は空気や水などの環境とどのように関わり，その結果，どのような影響を及ぼしているかを調べ，まとめる。**（活動①）　　など**

理科：地球とともに生きる　（移行８h）

【よりよい町づくり～わたしたちにできること】　　８～２月
地球環境をめぐる様々な問題や羅臼の現状を調べ、その解決に向けて、羅臼町を持続可能な町にしていくために今、自分たちができることを考え、環境や自分たちの暮らしについて主体的に取り組む態度を育成する。
・羅臼の現状について考える・調べる。
・自然のため，羅臼の未来のために自分たちができることを考える。
・考えたことを、羅臼町に提案する。
例：観光を盛り上げるために、パンフレットをつくる。または、スイーツをつくる。
　　自然を守るために
（郷土資料館・ビジターセンター・羅臼漁協・羅臼ダイビング企画・羅臼町役場観光課と連携）

３．「地球の問題・羅臼の問題」関係の活動と評価

理科の単元から移行

単元名	● 地球と私たちのくらし			教科書のページ	p.6～11
配当時数	2(2)時間	学習時期	4 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)(2)(4), B(3)ア(ウ)イ, B(4)ア(ウ)

単元の目標		人と環境との関わりを調べる活動を通して，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
単元の観点別評価規準	思考･判断･表現	・人と環境について考察する中で，人と環境との関わりについて，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。
	主体的に学習に取り組む態度	・人と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)地球と私たちのくらし			
・地球と私たちの暮らしとの関わりに興味をもち，人が地球から受ける恵みや地球の変化による人の暮らしへの影響，人の暮らしが地球環境に与える影響について話し合い，考えることができる。 p.6～10	1	・人は地球からどのような恵みを受けているか，地球の変化によってどのような影響を受けるか，また，人の暮らしが地球にどのような影響を与えるかについて考える。	[思判表]発言･記録
・人の暮らしが環境とどのように関わり合っているかを，空気，水，大地の観点で考え，これからの学びに見通しを持つことができる。 p.11	1	・人の暮らしが環境とどのように関わり合っているか考え，これからの学びに見通しを持つ。 ・植物の体の働きを調べるために，ホウセンカの種子やジャガイモのたねいもを植える。	[態度]発言･行動観察

理科の単元から移行

単元名	4 生き物のくらしと環境			教科書のページ	p.70～85
配当時数	5(6)時間	学習時期	6 月下旬 ～7 月中旬	学習指導要領の内容	B(3)ア(ア)(イ)イ

単元の目標		生物と水，空気及び食べ物との関わりを調べる活動を通して，生物と環境との関わりについての理解を図り，観察，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
単元の観点別評価規準	知識・技能	・生物は，水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 ・生物の間には，食う食われるという関係があることを理解している。 ・生物と環境について，観察，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
	思考・判断・表現	・生物と環境について見いだした問題について，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 ・生物と環境について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察する中で，生物と環境との関わりについて，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。
	主体的に学習に取り組む態度	・生物と環境についての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)食べ物をとおした生き物のかかわり		★他教科との関連：家庭	
・絵や写真を見て，生物は，他の生物や周りの環境とどのように関わっているかに問題を見いだし，食べ物を通した生物の関わりについて，進んで人の食べ物の元をたどって調べることができる。 p.70～73	1	・絵や写真を見て，生物は他の生物や周りの環境とどのように関わっているか考え，生物と環境との関わりについて問題を見いだす。 ・人の食べ物の元は何かを調べ，まとめる。(調査①)	[態度]発言・行動観察
・自然の中での生物どうしの食べ物を通した関わりについて調べ，生物どうしは，「食べる」「食べられる」	2	・ダンゴムシが落ち葉を食べる様子や水中の小さな生物を観察するなどして，自然の中での動物の食べ物	[知技]行動観察・記録 [思判表]発言・記録

という関係でつながっていると考えることができる。 p.74～77		を調べる。（観察①） ・観察結果を基に，生物の食べ物を通した関わりについて考え，まとめる。	[知技]発言・記録
(2)生き物と空気とのかかわり			
・空気中に酸素を出している物は何かに問題を見いだし，植物が酸素を出しているかを調べることができる。 p.78～80	1(2)	・空気中に酸素を出している物は何かに問題を見いだし，植物が酸素を出しているかを調べ，まとめる。（実験①）	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)生き物と水とのかかわり			
・生物と水との関わりについて考え，まとめることができる。 ・生物と食べ物，空気，水との関わりについて，学んだことをまとめることができる。 p.81～85	1	・生物と水との関わりについて考え，まとめる。 ・地球をめぐる水と生物との関わりについて考える。 ・生物と食べ物，空気，水との関わりについて，学んだことをまとめる。	[知技]発言・記録

社会の単元【地球規模の課題と国際協力】から１部以降　１ｈ

地球の環境とともに生きる P264～265 【配時 1】	地球環境をめぐるさまざまな問題を調べ，その解決に向けての国際協力の必要性や，持続可能な社会を目ざすことの重要性を捉える。	○地球環境を守りながら，持続可能な社会を目ざしていくために，世界の人々が協力して取り組んでいる事例について調べる。 ◆地球環境を守るためには，世界各国が協力して取り組まなければならないことや，持続可能な社会を目ざしていくことが必要であること。	①世界で起きている環境問題について調べる。 ②さまざまな環境問題を解決するための取り組みについて調べる。 ③地球環境を守ることの大切さや，自分たちの暮らしとのかかわりについて話し合う。	【知技】環境問題を解決することの大切さや世界の人々が協力することが必要であることを捉えている。（発）（ノ）

社会の選択単元から移行

災害からわたしたちを守る政治　【配当−時間】

※「わたしたちの暮らしを支える政治」か「災害からわたしたちを守る政治」または「雪とともに生きる暮らしを支える政治」を選択

【態】＝主体的に学習に取り組む態度，【知技】＝知識・技能，【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表，（行）＝行動観察，（ノ）＝ノート・作品，（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
突然の大地震と津波 P48〜49 【配時ー】	東日本大震災による被害や被災した人々の願いに着目して，政治の働きについて学習問題をつくり，学習の見通しを立てる。	○東日本大震災による被害を調べ，被災者の願いを想像し，願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくり，学習計画を立てる。 ◆東日本大震災が起こり，東北地方を中心とした地域の人々が大きな被害を受けたこと。	①東日本大震災について知っていることを話し合う。 ②写真や文章資料から被害の状況を調べる。 ③被災した人々の願いを想像し，願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくり，学習計画を立てる。	**【思判表】**東日本大震災の被害から，疑問を持ち，被災した人々の願いをかなえる政治の働きについて考え，表現している。（発）（ノ） **【態】**災害発生時の政治の働きついて，学習問題をつくり，予想や学習計画を立て主体的に追究しようとしている。（行）（発）
緊急の支援 P50〜51 【配時ー】	被災地に対する支援を調べ，災害で被害を受けた国民の生活を守る政治の働きを捉える。	○被災した人々に対して，どのような緊急の支援が行われたのか，それはどのようなしくみによって実現したのかを調べる。 ◆被災した人々の命と安全を守るために，釜石市は国や県，他の市町村に支援を要請し，さまざまな機関が協力しながら支援活動を行ったこと。	①釜石市が受けた被害を調べる。 ②被災した人々のために市や県，国などが行った緊急支援を調べる。 ③被災地に対する支援のしくみを調べる。 ④人々の願いと政治の働きのつながりについて話し合う。	**【知技】**被災地に対する支援を調べ，災害で被害を受けた国民の生活を守るための政治の働きを捉えている。（発）（ノ）

学習問題　災害によって大きな被害を受けた人々の願いを実現するために，
政治はどのようなはたらきをしているのだろう。

復興に向けて動き出す P52～53 **【配時ー】**	市役所や市議会の働きを調べ，復興を進めるための政治の働きを捉える。	○釜石市で行われてきた復興への取り組みや計画づくりについて調べ，復興を進めていく上で大切なことを考える。 ◆釜石市では住民の意見を生かしながら復興まちづくり計画がつくられ，復興に向けた取り組みが行われていること。取り組みは，法律や条例に基づいて行われ，税金が使われていること。	①港の改修，仮設校舎の建設など，復興への取り組みを調べる。 ②復興まちづくり基本計画が作られるまでの過程を調べる。 ③復興を進めるために国が整えた制度を調べる。 ④復興を進めていく上で大切なことを考える。	**【知技】**市役所や市議会の働きを調べ，住民の願いをもとに復興を進めていくための政治のしくみや働きを捉えている。（ノ）
命を守るまちづくり P54～55 **【配時ー】**	釜石市の災害に強いまちづくりを調べ，国や県，市による政治は，復興を進める上で大切な働きをしていることを捉える。	○復興に向けて行われた事業や継続して行われている取り組みを調べ，災害に強いまちづくりを行うために大切なことを考え，話し合う。 ◆災害に強いまちづくりを行うためには，国・県・市による取り組み（公助）とともに，地域の助け合い（共助）や自分や家族を守る取り組み（自助）も大切であること。	①復興に向けての防波堤再建や高台移転などの事業について調べる。 ②災害から自分たちの命や暮らしを守るためには何が必要かを考え，話し合う。 ③災害に強いまちづくりを行うために大切なことを考える。	**【知技】**災害に強いまちづくりを行うための取り組みを調べ，復興を進める上での国や県，市による政治の働きを捉えている。（発）（ノ）

理科の単元から移行

単元名	11 地球に生きる			教科書のページ	p.188～200
配当時数	8(9)時間	学習時期	2月下旬 ～3月中旬	学習指導要領の内容	B(3)ア(ウ)イ

単元の目標		人の生活と環境との関わりを調べる活動を通して，人と環境との関わりについての理解を図り，調査などに関する技能を身に付けるとともに，主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
単元の観点別評価規準	知識・技能	・人は，環境と関わり，工夫して生活していることを理解している。 ・人の生活と環境との関わりについて，調査などの目的に応じて，資料などを選択して調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
	思考・判断・表現	・人の生活と環境との関わりについて見いだした問題について，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 ・人の生活と環境について，調査などを行い，得られた結果を基に考察する中で，人の生活と環境との関わりについて，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。
	主体的に学習に取り組む態度	・人の生活と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人の生活と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)人と環境とのかかわり			
・地球や生物の写真を見たり，既習の内容を振り返ったりしながら，進んで地球と私たちの暮らしとの関わりについて考え，問題を見いだすことができる。 p.188～189	1	・資料写真を見て，人と環境との関わりについて考える。	[態度]発言・行動観察
・人は，空気や水，他の生物とどのように関わり，その結果，どのような影響を及ぼしているかを調べ，まとめることができる。	2	・人は空気や水などの環境とどのように関わり，その結果，どのような影響を及ぼしているかを調べ，まとめる。(活動①)	[知技]行動観察・記録

p.190～192			
(2)環境を守る		★他教科との関連:社会	
・人や他の生物が地球で暮らし続けるための環境保全に対する取り組みについて調べ，まとめることができる。 p.193～194	2	・環境を守るための工夫や努力について調べ，まとめる。(活動②)	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)環境の変化に対応する		★他教科との関連:社会	
・火山の噴火や地震，台風や洪水などによって受ける影響を小さくするための取り組みについて調べ，考えることができる。 p.195～197	2	・火山の噴火や地震，台風や洪水などによって受ける影響を小さくするための取り組みについて調べたり考えたりする。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・記録
・人が地球で暮らし続けるために，自分たちにできることを考え，これからの暮らしのなかで，進んで実行していこうと考えることができる。 p.198～200	1(2)	・人が地球で暮らし続けるために，自分たちでできることを考え，発表し合う。 ・資料を読んで，SDGs について知り，持続可能な開発目標の中で，その目標を達成するために自分でできることを考える。 ・人と環境との関わりについてまとめる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

４．「よりよい町づくり～わたしたちにできくること」学習活動と評価

(1)単元について

・これまでの活動を振り返るとともに、羅臼のことや地球の未来を考え，町のため，地球環境のためによりよい町づくりを提案していく。

・国語「図に表して考えよう（思考ツール）」「地域の防災について話し合おう（パネルディスカッション）」「自分の考えを発信しよう（意見文）」との関連を持たせる。

(2)単元の目標

・羅臼町のよさや問題点など現状を知り，その解決策や未来の町づくりについて海とのつながりを意識しながら考え提案する。（総括目標）

(3)評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。	○調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。	○自分が羅臼町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考え，実践することができる。

(4)活動計画

次	主な学習内容	備考
１	６年間学んできた知床学（海洋教育）を振り返ろう① ・１年生では・・・ ・自分たちと今年度各学年で取り組んだこと、取り組む予定のことを尋ねに行く計画を立てる。	・活動ごとのねらいも振り返るようにして、自身の成長を自覚できるようにし、誇りを持って発表までの活動ができるようにする。 ・どんな学習をするのか、今年度取り組んだことをプレゼンテーションすることを知らせる。（全道発表会） ・今までの自分たちの写真などをあらかじめ用意する。 【知・技】自分たちが学んできた海洋学について振り返り、今後の学習の見通しをもつことができる。
１～３	説明会の準備をしよう① ・【国語　図に表して考えよう】などの学習を生かし、思考ツールを使用しながら、プレゼンテーションの内容を考える。 ・パソコンを使って，まとめる。 ・発表原稿をつくる。	・パソコンやカメラ，写真データの用意。 ・パワーポイントの使い方について確認する。 【思・判・表】調べたとことや考えたこと相手に分かりやすく伝えられるようにプレゼンを工夫することができる。
４	発表会リハーサルをしよう！ ・５年生に、発表する。	・パソコン・移動 TV など 【思・判・表】調べたとことや考えたこと相手に分かりやすく伝えられるように工夫

		することができる。
5	より良い町にするために自分たちができることを考える。 ・羅臼の現状を交流する。 ・現状から自分たちが解決できそうなこと絞る。 ・グループを作り、調べ、まとめる計画をする。	【知・技】自分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。
６～１１	提案する準備をしよう。 ・取材の準備（取材場所など） ・図や表など必要な資料の収集 ・プレゼンテーションの内容を決める。 ・取材・作業 **取材場所** **郷土資料館・ビジターセンター・羅臼漁協・羅臼ダイビング企画** **羅臼町役場観光課　　など**	・グループは２～３グループに分かれ、それぞれのグループが自分たちにできることを考え、情報を集めたり、実際に活動したりできるようにする。 ・思考ツールや敬語の学習と関連付け指導するとともに、子どもたちに取材のアポイントメントをとらせるなどの活動をいれるとよい。 【思・判・表】調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えようとしている。 【学びに向かう力・人間性等】 自分が羅臼町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考えている。
１２	よりよい町づくりに向けた自分たちの意見を提案しよう！ ・PowerPoint を使用した資料やパンフレットなどの資料を使い、自分たちが考えた意見を提案する。 ・学習のふりかえりをする。	・取材させていただいた、方や役場職員などに声をかけ、提案を聞いてもらう。 ・参観日と合わせて保護者の方にも聞いてもらえるとよいかもしれない。 【知・技】分たちの地域と自然のつながりを理解し，未来の羅臼町の町づくりについて提案するための課題を見出すことができる。 【思・判・表】調べたことや考えたことを発表物にまとめ，相手に分かりやすく発表したり聞いたりすることを通して町づくりについて考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 自分が羅臼町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考えている。

１　単元名　　「きせつといきものとなかよし２～あき・ふゆのいきものとなかよくなろう」　（１６時間）

２　単元のねらい（目標）

秋の自然を諸感覚を使って観察したり，自然物を使って遊んだり，遊びの楽しさを身近な人と伝え合ったりすることを通して，秋の特徴や，春や夏との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりすることができ，秋の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付け，遊びや生活を楽しく創りだすことができるようにする。

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 秋の自然遊びの楽しさや，自然の面白さや不思議さなどについて気付き，生活上必要な技能や習慣を身に付けている。	① 秋の特徴や，春や夏との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。	① 自然物を使って遊ぶものを作ったり，友達と遊んだり，その楽しさを伝え合ったりして，遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。

４　指導と評価の計画

小単元名（時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
あきを見つけにいこう（３時間）	○野原や公園で秋の自然を観察したり、木の実や落ち葉を集めたり、自然を利用して遊んだりする。 ・夏に見かけた虫はどうなっているかな。 ・落ち葉があったよ。	①	①	①	☆幼稚園と連携して、幼稚園時代にどのような活動をしたのか連携をとる。
かざってなにいれよう（２時間）	○秋を見つける活動で集めた宝物（木の実や落ち葉など）をいれ箱を作ったり、作品を見あったりする。 ・拾ったどんぐりを入れたいな。 ・どんな飾りをつけようかな	①	①	①	図工の学習と関連付ける。

たからものであそぼう（６時間）	○集めた木の実や落ち葉の特性を生かして、簡単な遊びを楽しむ。 ・どんぐりごまをつくってみたいな。 ・まつぼっくりでけん玉を作ろうかな。	①	①	①	生活科の教科書や本を見て、おもちゃの作り方を参考にする。
みんなでたのしもう（５時間）	○木の実や落ち葉を使って遊んだ楽しさを身近な人につたえる活動をする。 ・おうちの人に、けん玉をやってもらいたいな。 ・しょうたいじょうをつくってみたいな。	①	①	①	☆保護者や園児に協力してもらう。 絵や文などで、単元を振りかえる。

５　本時の目標

○箱の模様やつくった飾り、入れるものから感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。

○楽しく箱を飾って入れ物をつくる学習活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などにかかわり楽しい生活を創造しようとする。

（４・５／１６時間）

６　評価規準

・秋の特徴や，春や夏との違いを見付け，それらを使って遊ぶ方法を考えたり，遊びを楽しく工夫したりしている。（思①）

・自然物を使って遊ぶものを作ったり，友達と遊んだり，その楽しさを伝え合ったりして，遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。（主体的①）

７　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
１０分	○何を入れたいか考えながら、楽しい入れ物を思い浮かべる。 ・拾ったどんぐりや落ち葉を入れたいな。 ・木の実をたくさん入れられるように、箱の中に部屋をたくさん作りたいな。	☆
	○入れるものに合う形や色を考えながら、飾り方を工夫してつくる。	※材料にあった接着剤を使うように

６　０ 分	○紙や身近材で試行錯誤しながら飾る。 ・運べるように、ひもをつけよう。 ・リボンをつけたいな。 ・落ち葉が入る大きさにしよう。	指示をする。
２０ 分	○自分や友だちの作品を見て、面白さや楽しさを感じ取る。 ・いろいろな色の飾りをつけたんだね。 ・お花を入れるから、お花の飾りをつけたんだね。 ・飾る場所によって、材料を変えたんだね。	※出来上がった作品を見せ合いながら交流させる。

８　他教科等との関連

○　国語「　見つけたよ、いきもののひみつ　」

○　図工「　ちょきちょきかざり　」

１　単元名　　「目指せ　羅臼生き物はかせ」　（１５時間）

２　単元のねらい（目標）

生き物を育てる活動を通して，生き物を大切に育てるために必要なことを考えたり，飼い方や育て方などの情報を本や図鑑などで調べたりすることができ，生き物も自分と同じように成長し，生命をもっていることに気付き，生き物への親しみをもって，それらの生命を大切に感じながら育てることができるようにする。

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①生き物も自分たちと同じように成長し，生命をもっていることに気付き，生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	①生き物たちが住んでいた環境から，飼育環境や世話の仕方について考え，生き物の生態や形態を自分なりの表現方法で表現している。	①飼育している生き物の生息環境や生態・成長の様子などに関心をもって関わり，大切にしようとしている。

４　指導と評価の計画

小単元名（時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
生き物を観察しに行こう（２時間）	○校庭や公園へ出かけ，身の回りで見つけた生き物をつかまえたり，観察したりする。 ・オタマジャクシがいるよ。 ・メダカが泳いでいるね。 ○生き物の生態や，すみか・エサなどについて気付いたことを話し合う。	①	①		
生き物をかってみよう（計画・準備：２時間） ↓ その後も継続して飼育	○生き物に合ったすみかやエサを調べ，準備し，飼育する。 ・水槽の水は，毎日取り換えよう。 ・エサは，少なめが良いかな。 ○『見つけた不思議』を，カードに記録する。		①	①	

もっと知りたいな （３時間）	○図書館の本や図鑑で調べたり，インタビューをしたりして，『見つけた不思議』について考える。 ・メダカはメスとオスを同じ水槽に入れないと，たまごが生まれないのだな。 ・オタマジャクシは，成長するにつれて，足が生えてくるんだね。		①		※他教科（国語・理科等）との兼ね合いから，インタビューは３年生と６年生に依頼する。
生き物のことをつたえ合おう （６時間）	○生き物について調べたことを，「生き物クイズ」にして，友達と紹介し合う。 ・メダカについて，知らなかったことを知ることができた。 ・オタマジャクシとカエルは，すみかが違うんだね。	①	①	①	※国語の学習と関連付ける。
何を感じたかな （２時間）	○生き物を育ててみて，思ったことや感じたこと，自分自身の成長などについてふりかえる。 ・生き物も自分と同じように大切な生命をもっている。 ・他の生き物についても調べてみようかな。 ○生き物をその後どうするのか話し合う。 ・このまま育ててみようかな。 ・自然にかえしてあげたほうが良いのではないかな。	①	①	①	※道徳の学習と関連付ける。

５　本時の目標

生き物の形態や生態に関心をもち，生き物たちが住んでいた環境から，飼育環境や世話の仕方について考える。**（３／１５時間）**

６　評価規準

・生き物たちが住んでいた環境から，飼育環境や世話の仕方について考えている。（思・判・表①）

・飼育している生き物の生息環境や生態・成長の様子などに関心をもって関わり，大切にしようとしている。（主体的①）

7　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
10分	○生き物のすみかやエサについて話し合う。 ・どんなおうちが良いかな？ ・何を食べて育つのかな？ ・３年生が去年育てていたから，聞いてみたいな。	※どんなところに住んでいたかを想起させる。 ※成長のために，「すみか」と「エサ」が必要になることを気付かせる。
30分	○飼い方について，図鑑や本を見たり，インタビューをしたりして調べる。 ・水は，毎日とりかえる必要があるね。 ・水の温度は，冷たすぎないほうがよいね。 ・専用のエサを買わなくてはいけないね。 ・水槽に，草を入れると良いんだね。 ○調べた結果を共有する。	☆司書の先生に，図鑑や図書の選定を事前に依頼しておく。
５分	○学習を振り返り，次時への見通しをもつ。 ・水槽と草をじゅんびしよう。 ・エサを先生に買っておいてもらおう。 ・ポスターを作って，みんなでお世話ができるようにしよう。 ・エサやりの担当を決めよう。	※調べたことをもとに，自分たちで計画を立てていけるようにする。

8　他教科等との関連

○　国語「生き物クイズを作ろう」
○　国語「図書館で本を探そう」
○　生活「生き物はかせ」
○　生活「稚魚放流式　（町の方と連絡調整が必要）」

１　単元名　　「発見！羅臼の良いとこすごいこと」　（１４時間）

２　単元のねらい（目標）

●地域の産業の様子を，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳などの資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

●地域の産業の特色や意味，人々の生活との関連を考える力や，考えたことを表現する力を養う。

●学習問題を追究・解決するために，地域の産業の様子について意欲的に調べ，特色や相互の関連，意味について粘り強く考えたり，調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	②・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などについて見学・調査したり地図などで調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ③・調べたことをノートにまとめ，生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 ④・販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解している。	②・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などに着目して，問いを見いだし，生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ③・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などと地いきのくらしを比較・関連付けたり，わかったことを総合するなどして地域の人々の生活との関連を考えたり，学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして，適切に表現している。 ④・消費者の願い，販売の仕方，他地域や外	②・羅臼でつくられているものに興味・関心をもち，それについて意欲的に調べようとしている。 ③・地域に見られる生産の仕事について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ④・地域に見られる販売や生産の仕事について，主体的に問題解決しようとしている。

	⑤ ・生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	国との関わりなどに着目して，販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現している。 ⑤ ・仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現している。	

4　指導と評価の計画

小単元名 （時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
発見！ 羅臼のくらし （８時間）	○ふるさと給食の食材から羅臼の漁業に目を向ける。 ・サケやコンブ，イクラは有名だね。 ・ふるさと給食には，お父さんやおじいちゃんが獲った魚があるよ。 ・羅臼は，色々な魚がとれるよね。	②	①	②	※給食献立表を用意し，羅臼のマークがついているふるさと給食を確認する。 ※インターネットで市場の様子やセリについて事前に調べる。
	○羅臼でとれた魚について調べるために市場見学。 ・羅臼では，たくさんの魚がとれているね。 ・セリによって値段がつけられているね。 ・セリにかけられた魚は加工場などに運ばれるね。 ・加工場に運ばれた魚はどうなるのかな。		②		☆羅臼漁協に依頼文書送付 ※見学当日の市場状況について確認する。

	○市場で見学したことをもとに，加工場の方に質問することを考えよう。	③	③	④	
工場ではたらく人と仕事 （６時間）	○水産加工場の方にインタビューし，市場から加工場に運ばれた魚がどのように売られるのか教えてもらう。 ・３枚おろしにして冷凍し，お店に運ばれるね。 ・珍味に加工されるね。 ・全国に運ばれるね。 ○羅臼の漁業についてまとめよう	⑤ ③	⑥	③	☆加工場での仕事内容や魚がどのように製品になるのか，加工場の方に説明していただく。 ※社会科の内容とリンクさせる。

５　本時の目標

○市場見学を通して，羅臼の海でとれた魚が，どのように売られていくのか理解を深める。

（３・４／１４時間）

６　評価規準

生産の仕事の種類や工場がある場所の分布，仕事の工程などと地いきのくらしを比較・関連付けたり，わかったことを総合するなどして地域の人々の生活との関連を考えたり，学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして，適切に表現している。（思考・判断・表現②）

７　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
15分	○市場の魚を見学し，羅臼でとれた魚の種類について知る。 ・トラックで魚が運ばれてくることを知る。 ・運ばれてきた魚は，重さを量ったり，生産者の名前が書かれた紙がはってあることを知る。	☆市場の方にセリが行われる前の状況について説明していただく。
10分	○セリや仲買人について知る。 ・仲買人は，番号の書かれた帽子をかぶっていることを知る。 ○質問タイム ・魚の種類や羅臼で一番とれている魚の種類など。	

４０ 分	○セリの様子を見学する。 ・たくさんの人が集まっているね。 ・真剣だね。 ・早口でよくわからない。 ・仲買人が買った魚に紙を貼っているね。 ・たくさんの種類の魚があるのに全部売れているね。	※
１０ 分	○質問タイム ・売り上げはどのくらいなのか。 ・一番高く売れた魚は何か。 ・仲買人が買った魚は，どのように運ばれるのか。 ・買われた魚に貼っている紙は何か。	

８　他教科等との関連

○　国語「　取材して伝えよう　」

○　社会「　工場ではたらく人と仕事　」

1　単元名　　「羅臼のいいとこ再発見！」　（13時間）

2　単元のねらい（目標）

・・・羅臼の自然のことについての理解を深め，その良さに気づくことで，郷土を大切にしようとする心情を育てる。

3　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①羅臼の魅力を改めて調べる中で，知床の自然と自分たちの暮らしとの関係性について理解することができる。	①世界遺産知床の自然や動物について探究的活動を通し，学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れ表現することができる。	①知床の自然や動物のことを知り，自分たちにできることを考え，広めようとする。

4　指導と評価の計画

小単元名（時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
羅臼に住む生き物にはなにがいるだろう。（２時間）	○羅臼でみられる動物や自然について考える。 ○自分が調べたいテーマを決める。	①			※羅臼の自然の魅力を観光客や羅臼に住んでいる人に伝えるということを意識させる。
自分の選んだテーマについて調べよう。（５時間）	○インターネットや本を活用して自分の決めたテーマについて調べる。	①			
調べたことをパンフレットにまとめよう。（３時間）	○調べたことをパンフレットにまとめていく。		①		
発表に向けて練習しよう。（２時間）	○聞き手に発表が伝わるように練習をする。			①	
調べたことを発表しよう。（１時間）	○自分が調べたことを発表する。			①	※参観日で発表した。

5　本時の目標

・・・・（1／13 時間）

6　評価規準

・・・・羅臼の自然について考え，観光客や羅臼に住んでいる人たちに伝えたほうがよい魅力について友達の発表から理解を深めている。（知①）

7　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
5分	○羅臼の魅力にはなにがあるか考える。 ・自然 ○本時の学習課題を知る。 「羅臼の自然のみりょくを探そう」	
20分	○各自でワークシートにどのような自然の魅力があるのかを考え書く。 ・シカ ・シャチが見られる。 ・ヒグマがいる。 ・オオワシも見られる。 ○観光客に紹介したい羅臼の自然について考える。 ・シカは他でも見られると思う。 ・シャチは観光船でも見ることができるから紹介したい。 ・ヒグマと出会ってしまった時の注意点を伝えたい。	※観光客や羅臼に住んでいる人たちが知りたいと思うのはどのようなものかということを考えさせる。
15分	○ワークシートに書いたことを発表し，交流する。 ・海の生き物のことを考えていたけど，空にいる生き物も紹介できそうだ。 ・他の場所ではあんまり見ることができないけど，羅臼であればよく見ることができる動物がたくさんいるな。	
５分	○本時のまとめをする。 ○次時での活動内容を確認する。 ・自分が調べていくテーマを考えたい。	

8　他教科等との関連

○　国語「『不思議ずかん』を作ろう」

○　総合的な学習の時間「プレゼンテーションの仕方を学ぼう」

１　単元名　　「知床の自然を守る～意見文を書こう」　（１３時間）

２　単元のねらい（目標）

羅臼町の自然を守る取り組みや水産業の現状を知り、羅臼町の自然を守るために自分たちができることを考え、意見文にまとめることができる。

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	⑥ 水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などについて，地図帳や統計などで調べて，必要な情報を集め，読み取り，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ⑦ 調べたことを文や表などにまとめ，水産業は自然条件を生かして営まれていることや，水産業に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解している。 ⑧ 羅臼の自然について理解を深めている。	⑥ 水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などに着目して，問いを見いだし，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ⑦ 水産業に関わる人々の様々な工夫や努力を総合して，それらの人々の働きを考えたり，学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えたりして，適切に表現している。 ⑧ 羅臼の自然について理解を深め，自分の考えを持っている。	⑤ 我が国の水産業について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ⑥ 学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えようとしている。 ⑦ 羅臼の自然について理解したことをまとめようとしている。

4　指導と評価の計画

小単元名 （時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
水産業のさかんな地域 （５時間）	○日本の水産業の課題や工夫や努力を調べる。 ・日本全体で漁獲量が減っているんだね。 ・農業と一緒で働き手も少なくなっているよ。 ・養殖は安定して収穫できるんだね。	④ ⑤	② ②	⑦ ⑧	※水産試験場の方に　地域の海に住んで　いる生き物の説明をしていただく。
くま学習 （３時間）	○知床の自然の現状について知る。 ・くまが人里に現れる原因は人間が悪いんだね。 ・不法投棄があるなんて知らなかった。	③			☆ビジターセンターや役場の方に羅臼町の自然やクマについて説明していただく。
さけ学習 ２時間	○漁業組合の方に羅臼町の漁業の現状について教えてもらう。 ・やはり、漁獲量が減ってきているんだね。 ・養殖漁業も始めているんだ。	⑨			☆漁業組合の方に、羅臼の現状について説明していただく。
意見文を書こう。 （３時間）	○羅臼町の自然を守るために自分たちの意見をまとめよう。 ・白神山地のように人が入れない場所を増やさないといけない。なぜなら・・・		③	③	国語「白神山地の提言」で書いた意見文を参考に学習を進める。

５　本時の目標

〇ビジターセンターでは、知床の自然を守るためにどのような取り組みをしているのか話を聞き、理解を深める。

〇クマ学習を通し、クマを守る取り組みやクマと共存するために必要なことについて理解を深める。　（６・７／１３時間）

６　評価規準

羅臼町のクマや自然について理解を深めている。（知識・技能③）

７　本時の展開

配時	〇学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
３０分	ビジターセンターの方々からお話を聞き、ビジターセンターがどのような活動をしているのか、クマが人里に現れる理由について知る。 〇クマの生態について知る。 〇クマの食べ物や性格について知る。 ・肉以外にもたくさんの物を食べているんだな。	☆ビジターセンターや役場の方に羅臼町の自然やクマについて説明していただく。
５０分	〇実際のクマの骨や毛皮,糞を見て理解を深める。 ・クマの食べているものは色々あるね。 ・クマが人間の生活圏に入ってくるのは、人のせいだったのか。 〇質問タイム ・植林などはしていないんだね。 ・観光客への呼びかけなどもしているんだね。	
１０分	学習を振り返ろう 〇学習を振り返り、新たな課題に気付 ・クマを守るためにも人が入れない場所をしっかり作らなければいけないと思う。 ・羅臼の自然を守るためには、もっと、羅臼のことやクマのことを知ってもらわないといけないと思う。	※今回学んだことを基に、自分の意見を簡単にまとめる。

８　他教科等との関連

〇　国語「　白神山地からの提言　」

「　町じまんを紹介しよう　」

〇　社会「　水産業のさかんな地域　」

１　単元名　　「羅臼町を津波から守る～プレゼンを作ろう」　（１８時間）

２　単元のねらい（目標）

東日本大震災の事例をもとに、津波から羅臼を守るために自分たちができることを考え、町に提案するプレゼンにまとめることができる。

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 東日本大震災の死因が津波によるものだということを理解している。 ② 津波の種類について知り、羅臼町と津波の密接な関係について理解を深めている。	① 自治体の職員の方から話を伺うために、自分が尋ねたいことを、敬意を表す言い方を用いて原稿にまとめ、表現している。 ② 羅臼町、他自治体の取り組みから有効な津波対策を見出し、適切に表現している。 ③ 津波対策について理解を深め、自分の考えをもっている。	① 自治体の取り組みについて伺ったことから羅臼町の津波対策に結びつけて考えようとしている。 ② 学習したことをもとにこれからの羅臼町の対策について考えようとしている。

4　指導と評価の計画

小単元名 （時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
災害から私たちを守る **（２時間）**	○東日本大震災の被害について知る。 ・地震で亡くなる人よりも津波が原因でなくなっている人の方が多い。 ・津波が来ても泳げば逃げられると思っていたけど、黒い津波は簡単に逃げられないことがわかった。	①			☆震災を経験した方から当時の状況について話を伺う。
津波学習 （２時間）	○津波がどのように起こるか知る。 ・羅臼町にも津波はくるのだね。 ・地震の波と風の波では全然ちがう。	②			☆北海道教育大学釧路校の方に津波発生実験を行っていただく。
敬意を表す言い方 **（３時間）**	○敬意を表すいい方を知り、各自治体の対策を伺う。 ・町全体で避難訓練をしているのだね。 ・羅臼町はやってないことだね。		①	①	☆東日本大震災で被災した自治体の職員に津波対策について電話で話を伺う。
地域の防災について話し合おう （５時間）	○津波がきたときどうしたら命を守れるか調べ、パネルディスカッションを通して話しあう。 ・日頃の備えが大切。 ・防潮堤を作ったらいいと思う。 ・ハザードマップを見直さなければならない。		②		
学習してきたことを発表しよう **（６時間）**	○津波から羅臼町を守るために、町へ提案するプレゼンを作ろう。 ・津波が来るまでの時間をかせぐために防潮堤を作る。 ・避難誘導の看板を作る。		③	②	※パワーポイントにまとめる。 ☆羅臼町役場職員の方にプレゼンを聞いていただく。

５　本時の目標

〇津波の仕組みやその被害について理解し、自らの命を守るために自分で判断し、行動できる力を育てる。（３・４／１８時間）

６　評価規準

津波の種類について知り、羅臼町と津波の密接な関係について理解を深めている。（知②）

７　本時の展開

配時	〇学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
20分	〇津波の種類やどのように発生するか知る。 ・押し波と引き波がある。 ・プレートがずれることによって地震が起きる。	☆北海道教育大学釧路校の方に津波の説明を行っていただく。
60分	〇津波発生実験から、津波について理解を深める。 ・地震の波と風の波では全然ちがう。 ・国後島は守ってくれず、羅臼町にも津波はくるのだね。 〇地震と津波に関する寸劇を見る。 〇質問タイム	☆北海道教育大学釧路校の方に津波発生実験を行っていただく
10分	学習を振り返ろう 〇学習を振り返り、新たな課題に気付く ・海、川から遠く、高いところになるべく早く逃げなければいけない。 ・親にも津波の危険性を伝えたい。	※今回学んだことをもとに、自分の意見を簡単にまとめる。

８　他教科等との関連

〇　理科「変わり続ける大地」

〇　総合的な学習の時間「**学習してきたことを発表しよう**」

〇　国語「**地域の防災について話し合おう**」、「敬意を表す言い方」

〇　社会「災害から私たちを守る」

羅臼町立知床未来中学校　　令和２年度

【中１】 年間指導計画単元一覧表

	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計時数
			3		3		3		3		2		4		3		4		3		2		3		2	35
特別活動	学校行事	入学式 新入生歓迎会 発育測定	2 2 1 **5**		**0**	体育祭 避難訓練	14 1 **15**	１学期終業式	1 **1**	２学期始業式 発育測定	1 1 **2**		**0**	学校祭 避難訓練	18 1 **19**		**0**	２学期終業式	1 **1**	３学期始業式 発育測定	1 1 **2**		**0**	卒業式準備 卒業式 修了式・離任式	4 2 1 **7**	52
特別活動	学級活動	学級開き 学級組織つくり 学級目標 個人目標	1 1 1 1 **4**	体育祭組織 体育祭の心得 学習計画 生徒総会議案書審議	1 1 1 1 **4**	学習計画 クルージングに向けて	1 1 **2**	学級の振り返り ２学期反省 夏休みに向けて	1 1 1 **3**	２学期個人目標 当番活動を見直す	1 1 **2**	学習計画 家庭学習のすすめ 学習反省 学校生活の向上	1 1 1 1 **4**	学校祭に向けて 学校祭組織 学校祭反省	1 1 1 **3**	学級組織 生徒総会議案書審議 学習計画 集団の中の役割	1 1 1 1 **4**	生活を振り返って ２学期の反省	1 1 **2**	新年の誓い ３学期の目標	1 1 **2**	学習計画 ３年生を送る会取り組み	1 2 **3**	１年間の反省 ３年生に向けて	1 1 **2**	35
道徳		全てがリオでかみ合った 朝市のおはようございます 選手に選ばれて	1 1 1 **3**	自分の性格が大嫌い いじめに当たるのはどれだろう 傍観者でいいのか	1 1 1 **3**	ふたつの心 ぼくのふるさと 楽寿号に乗って	1 1 1 **3**	山に来る資格がない もしあのときにもどれるのならば 新しいプライド	1 1 1 **3**	短文投稿サイトに友達の悪口を書くと いのちってなんだろう	1 1 **2**	決断！骨髄バンク移植第一号 あなたはひかり 母はおしいれ 班での出来事	1 1 1 1 **4**	本が泣いています 銀色のシャープペンシル ゴミ箱をもっと増やして	1 1 1 **3**	「どうせ無理」という言葉に負けない 席替え くじ引きの後の場面をやってみよう その人が本当に望んでいること	1 1 1 1 **4**	思いやりの日々 「看護する」仕事 郷土を彫る	1 1 1 **3**	火の島 全校一を目指して	1 1 **2**	日本から来たおばさん 花に寄せて 落語が教えてくれること	1 1 1 **3**	桜に集う人の思い 古都の雅、菓子の心	1 1 **2**	35
総合的な学習の時間		交通安全教室	1 **1**		**0**	クマ学習	**0**	情報モラル教室 クルージング体験	1 **1**		**0**	セリ見学 調理体験	**0**	中高合同講演会 まとめ学習 まとめ発表	2 **2**		**0**	薬物乱用防止教室 ユネスコスクール発表会	1 **1**	生と性の学習 食育	2 2 **4**	生と性の学習 職業調べ学習	2 3 **5**	生と性の学習 職業調べ学習	2 3 **5**	19
教科	国語	ふしぎ／声を出そう 音を追いかけて 体験したことを文章にする ふしぎ（書写） 筆使い－基本点画－	3 3 3 2 1 **12**	お気に入りの一品を紹介する 笑顔という魔法 フリップを用いて報告する 日本語の音声 筆使いと字形「天地」 学習を生かして書く－字形、筆順－	2 3 3 1□ 2 1□ **12**	漢字の部首 ベンチ 写真と言葉が生み出す世界 筆脈「いろは歌」 楷書に調和する仮名「いろは歌」	1 4 4 1 2 **12**	芸術作品の鑑賞文を書く 言葉の単位 学習を生かして書く－行の中心－『竹取物語』 学習を生かして書く－配列－ 学校生活に生かして書く 行書学習のはじめに	4 1 2 2 2 1 **12**	河童と蛙 オツベルと象	1 7 **8**	行事などの案内文を書く 画数と活字の字体 日本語の文字 楷書と行書の違い「和」 行書の筆使い「大」 点画と連続の変化１．２	4 2 2 2 2 4 **16**	画数と活字の字体 日本語の文字 古典の扉を開く 物語の始まり 点画の連続と省略 学習を生かして書く－行書の特徴－	1 2 3 3 2 1 **12**	故事成語 蜘蛛の糸 電子レンジの発想 言葉のゆれを考える 花の形に秘められたふしぎ	3 3 2 3 5 **16**	意見文を読み合う 漢字の音と訓 文の成分 学習を生かして書く－配列－ 友達のスピーチを聞く	4 1 3 1 **9**	言葉がつなぐ世界遺産 書き初めを書く	4 4 **8**	四季の詩 図表を用いて報告する 熟語の構成 少年の日の思い出	1 3 1 7 **12**	アイデアを出して話し合う 一年間の学習のまとめ	4 4 **8**	137
教科	社会	私たちの地球と世界の地域構成 人々の生活と環境	5 4 **9**	人々の生活と環境 歴史の移り変わりを考えよう 人類の出現と文明のおこり	2 4 1□ **7**	人類の出現と文明のおこり 日本の成り立ちと倭の王権 大帝国の出現と律令国家の形成	3 3 3 **9**	貴族社会の発展 学習のまとめと表現 アジアの多様性と経済発展	4 2 3 **9**	アジアの多様性と経済発展 アフリカの人々の暮らしとその変化	4 2 **6**	アフリカの人々の暮らしとその変化 統合を強めるヨーロッパの国々 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ	2 6 4 **12**	世界に大きな影響力をもつ北アメリカ 世界の動きと武家政治の始まり ゆれ動く武家政治と社会	1 5 3 **9**	ゆれ動く武家政治と社会 学習のまとめと表現 南アメリカの開発と環境 他地域と結びつくオセアニア	4 2 5 1 **12**	他地域と結びつくオセアニア 世界の様々な地域の調査	3 6 **9**	結びつく世界との出会い	6 **6**	天下統一への歩み 幕藩体制の確立と鎖国	5 4 **9**	幕藩体制の確立と鎖国	6 **6**	103
教科	数学	・整数の性質 １章正負の数 ・正負の数 ・加法と減法	2 4 6 **12**	・加法と減法 ・乗法と除法	2 10 **12**	・正負の数の利用 ・章の問題演習 ２章文字と式 ・文字を使った式 ・文字式の計算	2 1 6 3 **12**	・文字式の計算 ・文字式の利用 ・章の問題演習 ３章方程式 ・方程式とその解き方	3 6 1 2 **12**	・方程式とその解き方 ・１次方程式の利用	5 3 **8**	・１次方程式の利用 ・章の問題演習 ４章比例と反比例 ・関数 ・比例 ・反比例	3 1 3 8 1 **16**	・反比例 ・比例と反比例の利用 ・章の問題演習 ５章平面図形 ・図形の移動	5 2 1 4 **12**	・図形の移動 ・基本の作図 ・おうぎ形 ・章の問題演習 ６章空間図形 ・いろいろな立体	2 8 3 1 2 **16**	・いろいろな立体 ・立体の見方と調べ方 ・立体の体積と表面積	1 9 2 **12**	・立体の体積と表面積 ・章の問題演習 ７章資料の分析と活用 ・資料の分析	5 1 2 **8**	・資料の分析 ・累積度数 ・資料の活用	4 6 2 **12**	・近似値と有効数字 ・章の問題演習 ・１年生の総復習	1 1 6 **8**	140
教科	理科	物質の区別 気体の性質	7 2 **9**	気体の性質 水溶液の性質	4 5 **9**	水溶液の性質 物質の状態変化	2 7 **9**	物質の状態変化 生物観察 花の作りとはたらき	1 4 4 **9**	根茎葉と水のゆくえ	6 **6**	葉と日光 植物の仲間 光の性質	5 5 2 **12**	光の性質 音の性質	6 3 **9**	音の性質 力のはたらき	1 11 **12**	力のはたらき 火山活動と火成岩	2 7 **9**	火山活動と火成岩 地震と大地の変化	5 1 **6**	地震と大地の変化	7 **7**	大地の歴史と地層	6 **6**	103
教科	海洋学					クマ学習 人々の生活と環境	3 2	クルージング体験	6			セリ見学 調理体験 Program 7	4 4 2	まとめ学習 まとめ発表 友達のスピーチを聞く	5 6 3			ユネスコスクール発表会	3			地震と大地の変化	2			40
教科	英語	Let's start アルファベット classroom English Program 2	3 3 1 5 **12**	Program 2 単語・文の書き方 数の言い方 Program 3	1 1 2 8 **12**	アクションコーナー 曜日と天気 PU2 Program 4 My Project 1	1 1 1 8 1 **12**	My Project 1 PU3 Program 5	7 1 4 **12**	PU4 英語のしくみ① Program 6	1 1 6 **8**	Program 6 WW3 Program 7 PU5 PU6 英語のしくみ②	2 1 6 2 2 1 **14**	Program 8 PU7 PU8	8 2 2 **12**	My Project 2 Program 9	8 8 **16**	PU9 英語のしくみ③ Program 10 PU10	1 1 8 2 **12**	My Project 3	8 **8**	Program 11 PU11 英語のしくみ④	8 2 2 **12**	英語のしくみ④ 復習	3 5 **8**	138
教科	音楽	オリエンテーション 校歌練習	1 3 **4**	歌唱「夏の思い出」	4 **4**	歌唱「夏の思い出」 歌唱「赤とんぼ」	1 3 **4**	鑑賞「魔王」	4 **4**	合唱コンクール練習	3 **3**	合唱コンクール練習	4 **4**	合唱コンクール練習	4 **4**	鑑賞「モルダウ」 鑑賞「魔法使いの弟子」	3 1 **4**	器楽「リコーダー」	4 **4**	創作「旋律を工夫して表現してみよう」	3 **3**	鑑賞「六段の調」	4 **4**	歌唱「卒業式歌」	3 **3**	45
教科	美術	見て感じて、描く	4 **4**	見て感じて描く 色彩の学習	1 3 **4**	美しい構成と装飾	4 **4**	美しい構成と装飾	4 **4**	楽しく伝える文字のデザイン	3 **3**	楽しく伝える文字のデザイン 伝統の中の動物たち	2 2 **4**	伝統の中の動物たち 暮らしに息づく木の命	2 2 **4**	暮らしに息づく木の命	4 **4**	暮らしに息づく木の命	4 **4**	身近なものを立体で表そう	3 **3**	身近なものを立体で表そう	4 **4**	身近なものを立体で表そう	3 **3**	45
教科	保健体育	体ほぐし運動 体力を高める運動	4 5 **9**	ダンス 保健 体育理論	6 2 1□ **9**	陸上競技 保健	7 2 **9**	陸上競技 水泳	6 3 **9**	ソフトボール 水泳	4 2 **6**	ソフトボール バレーボール 保健 体育理論	4 4 3 1 **12**	バレーボール 保健 体育理論	6 2 1 **9**	バスケットボール マット運動	3 9 **12**	バスケットボール 跳び箱	7 2 **9**	跳び箱 保健	5 1 **6**	柔道 保健 体育理論	6 2 1 **9**	バドミントン	6 **6**	105
教科	技術・家庭	ものづくりの進め方 わたしの成長と家族	3 3 **6**	材料について わたしたちと家族・家族と地域	3 3 **6**	材料について 健康と食生活	3 3 **6**	木材による制作 作品制作 食品の保存と選択	1 2 3 **6**	木材による制作 作品制作 食品の保存と選択	1 1 2 **4**	木材による制作 作品制作 調理をしよう	1 3 4 **8**	木材による制作 作品制作 調理をしよう	1 2 3 **6**	木材による制作 作品制作 調理をしよう	1 3 4 **8**	金属・プラスチックによる制作 調理をしよう	3 3 **6**	金属・プラスチックによる制作 作品制作 地域の食材と食文化	1 1 2 **4**	金属・プラスチックによる制作 作品制作 地域の食材と食文化	1 2 3 **6**	金属・プラスチックによる制作 作品制作 地域の食材と食文化	1 1 2 **4**	70
	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計時数
																										1015

青字　移行前のカリキュラム

羅臼町立知床未来中学校　　令和２年度

【中２】 年 間 指 導 計 画 単 元 一 覧 表

区分	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計時数
			3		3		3		3		2		4		3		4		3		2		3		2	35
特別活動	学校行事	入学式 新入生歓迎会 発育測定 新入生歓迎会 発育測定	1 1 2 2 1 7		0	体育祭 避難訓練	14 1 15	宿泊学習 １学期終業式	10 1 11	２学期始業式 発育測定	1 1 2		0	学校祭 避難訓練	18 1 19		0	２学期終業式	1 1	３学期始業式 発育測定	1 1 2		0	卒業式準備 卒業式 修了式・離任式	2 4 1 7	64
特別活動	学級活動	学級開き 学級組織つくり 学級目標 個人目標	1 1 1 1 4	体育祭組織 体育祭の心得 学習計画 生徒総会議案書審議	1 1 1 1 4	学習計画 宿泊研修に向けて	1 1 2	学級の振り返り ２学期反省 夏休みに向けて	1 1 1 3	２学期個人目標 当番活動を見直す	1 1 2	学習計画 家庭学習のすすめ 学習反省 学校生活の向上	1 1 1 1 4	学校祭に向けて 学校祭組織 学校祭反省	1 1 1 3	学級組織 生徒総会議案書審議 学習計画 リーダーシップとは	1 1 1 1 4	生活を振り返って ２学期の反省	1 1 2	新年の誓い ３学期の目標	1 1 2	学習計画 ３年生を送る会取り組み	1 2 3	１年間の反省 ２年生に向けて	1 1 2	35
	道徳	あいさつ ぱなしの女王 住みよい社会	1 1 1 3	私のせいじゃない あの子のランドセル どんなことでもでも相談し合える仲間に	1 1 1 3	ゴール 左手でつかんだ音楽 遠足で学んだこと	1 1 1 3	渡良瀬川の鉱毒 私は十四歳 祭りの夜	1 1 1 3	許さない心 決まりを守る社会	1 1 2	心でいただく伝統の味 田老の生徒が伝えたもの なみだ 四十七年に感謝をこめて	1 1 1 1 4	みんなでとんだ！ 震災の中で ロールプレイ	1 1 1 3	六千人の命のビザ 赤土の中の真実 今度は私の番だ 夜は人間以外のものの時間	1 1 1 1 4	人間の強さ・気高さ 本当の私 大切なものは何？	1 1 1 3	心に寄り添う 奇跡の一週間	1 1 2	妹に 三つの命について考える 愛	1 1 1 3	ごめんねおばあちゃん 冬の使者「マガン」	1 1 2	35
	総合的な学習の時間	交通安全教室	1 1		0	生態系学習	0	情報モラル教室 宿泊学習 道東の自然と環境	1 6 7	職場体験学習	24 24	まとめ学習	10 10	中高合同講演会 まとめ学習発表	2 3 5		0	薬物乱用防止教室 ユネスコスクール発表会	1 1	生と性の学習 食育	2 2 4	生と性の学習	2 2	生と性の学習	2 2	56
教科	国語	虹の足 タオル 質問する力をつける 図表を用いて提案する	2 6 12	方言と共通語 日本の花火の楽しみ 点画の連続と省略１ 点画の連続と省略２ 点画の省略と筆順の変化	2 4 2 2 2 12	日本の花火の楽しみ 新聞の投書記事を書く 学習を生かして書く－行書の特徴－	5 5 2 12	まちがいやすい漢字 話し言葉と書き言葉 夢を跳ぶ 物語を読み解く－メディアの解釈－ 行書と仮名の調和「喜びの声」	1 2 4 3 2 12	活用のない自立語 漢字の成り立ち 近代の短歌 行書に調和する仮名「いろは歌」 文字の大きさと配列	2 1 3 1 1 8	夏の葬列 写真から物語を創作する 漢字の多義性 書く速さを意識して書く『走れメロス』 学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列－ さまざまな書く場面	6 4 1 2 2 1 16	敦盛の最期－平家物語－ 随筆の味わい－枕草子・徒然草－ 二千五百年前からのメッセージ―孔子の言葉－ お礼の手紙を書く	3 3 3 3 12	敬語 坊っちゃん 水の山　富士山 ガイアの知性 話を聞いて自分の考えと比べる	2 3 3 5 3 16	意見文を読み合う 活用のある自立語 学ぶ力	4 3 5 12	類義語・対義語・多義語・同音語 レモン哀歌 書き初めを書く	2 2 4 8	四コマ漫画から意見文を書く 付属語のいろいろ 同音の漢字 役割を決めて討論する	5 2 1 4 12	走れメロス	8 8	136
教科	社会	経済の成長と幕政の改革 学習のまとめと表現 日本の地域構成	6 2 1 27	日本の地域構成 世界から見た日本の姿	5 4 9	世界から見た日本の姿 近代世界の確立アジア	8 1 9	近代世界の確立とアジア 開国と幕府政治の終わり	5 4 9	開国と幕府政治の終わり 学習のまとめと表現 九州地方	1 2 3 6	九州地方 中国四国地方 近畿地方	2 5 5 12	中部地方 明治維新と立憲国家のへの歩み	5 4 9	明治維新と立憲国家への歩み 激動する東アジアと日清・日露戦争 近代の産業と文化の発展	4 6 2 12	近代の産業と文化の発展 学習のまとめと表現 関東地方	2 2 5 9	東北地方 北海道地方	5 1 6	北海道地方 身近な地域の調査	5 4 9	身近な地域の調査	6 6	103
教科	数学	1章式の計算 ・式の計算	 9 9	・文字式の利用 ・章の問題演習 2章連立方程式	5 1 3 9	・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の利用	5 4 9	・連立方程式の利用 ・章の問題演習 3章1次関数 ・1次関数	1 1 7 9	・1次関数	6 6	・1次関数と方程式 1次関数の利用 ・章の問題演習	6 5 1 12	4章平行と合同 ・説明のしくみ ・平行線と角	 3 6 9	・平行線と角 ・合同な図形 ・章の問題演習 5章三角形と四角形 ・三角形	2 7 1 2 12	・三角形 ・平行四辺形	6 3 9	・平行四辺形	6 6	・平行四辺形 ・章の問題演習 6章確率 ・確率	2 1 6 9	・確率 ・章の問題演習 ７章データの比較 ・四分位範囲と箱ひげ図 ・章の問題演習	2 1 2 1 6	105
教科	理科	生物の細胞と個体 動物の行動のしくみ	6 6 12	動物の生命維持のしくみ	9 9	動物の生命維持のしくみ 動物のなかま	2 10 12	動物のなかま 生物の変遷 分解と化合	2 4 6 12	分解と化合 物質の成り立ち	2 6 8	物質の成り立ち 酸化と還元 化学変化と物質の質量	2 10 4 16	化学変化と物資の質量 空気中の水の変化	2 10 12	空気中の水の変化 天気の変化 大気の動きと日本の気象	1 10 5 16	大気の動きと日本の気象 静電気と電流 電流と電圧	4 5 3 12	電流と電圧	8 8	電流と電圧 電流と磁界	9 3 12	電流と磁界	8 8	137
教科	海洋学			動物の生命維持のしくみ	3	生態系学習	3	道東の自然と環境	8					図表を用いて提案する まとめ学習発表	3 3	質問する力をつける	1	ユネスコスクール発表会	3	Program11	2	北海道地方	2			25
教科	英語	Program1 POWER-UP1 Program2	9 2 1 12	Program2 POWER-UP2 Program3	8 2 2 12	POWER-UP3 My Project4 Program4	2 9 1 12	Program4 Program5	8 4 12	Program5 POWER-UP4 Program6	5 2 1 8	Program6 POWER-UP5 Program7	7 2 7 16	Program7 POWER-UP6 My Project5	2 2 8 12	My Project5 Program9 POWER-UP7 Program10	1 9 2 4 16	Program10 POWER-UP8 Program11	5 2 5 12	Program11 POWER-UP9 My Project6	2 2 2 8	My Project6 Program12	7 5 12	Program12 Extensive Reading	4 4 8	138
教科	音楽	オリエンテーション 創作「リズム曲をつくろう」	1 2 3	歌唱「浜辺の歌」	3 3	歌唱「花の街」 歌唱「早春賦」	2 1 3	鑑賞「小フーガト短調」	3 3	合唱コンクール練習	2 2	合唱コンクール練習	4 4	合唱コンクール練習	3 3	鑑賞「シェエラザード」 鑑賞「展覧会の絵」	2 2 4	器楽「リコーダー」	3 3	器楽「リコーダー」	2 2	器楽「リコーダー」 卒業式歌練習	1 2 3	卒業式歌練習	2 2	35
教科	美術	心でとらえたイメージ	3 3	心でとらえたイメージ	3 3	情報をわかりやすく伝えよう	3 3	情報をわかりやすく伝えよう	3 3	名画の魅力に迫る	2 2	しぐさで語る動物たち	4 4	しぐさで語る動物たち	3 3	しぐさで語る動物たち 手づくりを味わう喜び	2 2 4	手づくりを味わう喜び	3 3	手づくりを味わう喜び	2 2	新鮮な視点でとらえよう	3 3	新鮮な視点でとらえよう	2 2	35
教科	保健体育	体ほぐし運動 体力を高める運動	4 5 9	ダンス 保健 体育理論	6 2 1 9	陸上競技 保健	5 4 9	陸上競技 保健 体育理論	6 2 1 9	ソフトボール 保健	4 2 6	ソフトボール バレーボール 保健 体育理論	4 4 3 1 12	バレーボール 保健	6 3 9	バスケットボール マット運動	3 9 12	バスケットボール 跳び箱	7 2 9	跳び箱 保健	5 1 6	柔道 保健 体育理論	6 2 1 9	バドミントン	6 6	105
教科	技術・家庭	エネルギー変換 電気エネルギーの利用 日常着の活用 日常着の着用	2 1 1 2 6	私たちの生活と生物育成 実習 日常着の手入れ	1 2 3 6	電気エネルギーの利用 作品制作 環境に配慮した衣生活	1 2 3 6	生物育成 布を用いた物の制作	3 3 6	動力の利用 作物栽培 布を用いた物の制作	1 1 2 4	動力の利用 作品制作 布を用いた物の制作	1 3 4 8	エネルギー変換の実際 作品制作 安全な住まい	1 2 3 6	動物の飼育 作品制作 安全な住まい	2 2 4 8	エネルギー変換の実際 作品制作 快適な住まい	1 2 6	水産生物の栽培 作品制作 家庭生活と消費 商品の選択と購入	1 1 1 1 4	エネルギー変換の実際 商品の選択と購入 よりよい消費生活のために	3 1 2 6	水産生物の栽培 よりよい消費生活のために 環境に配慮した生活	2 1 1 4	70
	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計時数

1015

青字　移行前のカリキュラム

羅臼町立知床未来中学校　　令和２年度

【中３】　年　間　指　導　計　画　単　元　一　覧　表

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計時数
		3	3	3	3	2	4	3	4	3	2	3	2	35
特別活動	学校行事	１学期始業式 入学式準備 入学式 新入生歓迎会 発育測定 1 1 2 2 1 7	0	体育祭 避難訓練 14 1 15	１学期終業式 1	２学期始業式 発育測定 修学旅行 1 1 14 16	0	学校祭 避難訓練 18 1 19	0	２学期終業式 1 1	３学期始業式 発育測定 1 1 2	0	卒業式 4 4	65
特別活動	学級活動	学級開き 学級組織つくり 学級目標 個人目標 1 1 1 1 4	体育祭組織 リーダーシップとは 学習計画 生徒総会議案書審議 1 1 1 1 4	学習計画 体育祭反省 1 1 2	学級の振り返り ２学期反省 夏休みに向けて 1 1 1 3	２学期個人目標 当番活動を見直す 1 1 2	学習計画 家庭学習のすすめ 学習反省 学校生活の向上 1 1 1 1 4	学校祭に向けて 学校祭組織 学校祭反省 1 1 1 3	学級組織 生徒総会議案書審議 学習計画 進路への心得 1 1 1 1 4	生活を振り返って ２学期の反省 1 1 2	新年の誓い ３学期の目標 1 1 2	学習計画 進路に向けて 1 2 3	１年間の反省 卒業にあたって 1 1 2	35
道徳		背番号１５が歩んだ道 言葉おしみ 島唄の心を伝えたい 1 1 1 3	無実の罪 ある日の午後から いじめから目をそむけない 1 1 1 3	ぼくにもこんなよいところがある 一冊の漫画雑誌 早朝のドリブル 1 1 1 3	背筋をのばして 花火と灯ろう流し 私を支えてくれた言葉 1 1 1 3	スマホに夢中！ あなたはすごいかどうまれてきた 1 1 2	くちびるに歌をもて 人間の命とは ハッチを開けて知らない世界へ 好きな仕事か安定か 1 1 1 1 4	缶コーヒー やりとりをやってみよう 高く遠い夢 1 1 1 3	加山さんの願い 埴生の宿 合格通知 足袋の季節 1 1 1 1 4	伝えたいことがある よみがえれ日本海 社会からの無言の貢献を感じる感性 1 1 1 3	しあわせ おたがいのちがいを認め合おう 1 1 2	受けつがれる思い 湖の伝説 その子の世界、私の世界 1 1 1 3	そのこ たんぽぽ作業所 1 1 2	35
総合的な学習の時間		交通安全教室 1 1	0	クマ学習 0	情報モラル教室 パンフレット作成 0	上級学校訪問 羅臼町PR 1 10	PR活動まとめ・発表 上級学校訪問まとめ・発表 9 9	中高合同講演会 羅臼高校体験入学 まとめ学習発表 2 3 2 7	0	薬物乱用防止教室 ユネスコスクール発表会 1 1	生と性の学習 食育 2 2 4	生と性の学習 職業調べ学習 2 3 5	生と性の学習 職業調べ学習 2 3 5	43
教科	国語	春に 一言でまとめ一言から広げる 立ってくる春 私 点画の変化と連続「創造」 1 1 2 3 2 9	広告を批評する 呉音・漢音・唐音 「新しい博物学」の時代 3 1 5 9	話を聞いて自分の表現に生かす 熟字訓 和語・漢語・外来語 無言館の青春 情報を編集するしかけ 3 1 1 2 2 9	慣用句・ことわざ 活用のない付属語 歴史は失われた過去か 行書と仮名の誕和「旅立ちの朝」 1 2 3 3 9	文化としての科学技術 6 6	図表などの資料から文章を書く 敬語 活用のある付属語 旅への思い―芭蕉と「おくのほそ道」 4 1 2 3 2 12	和歌の調べ 和歌の鑑賞文を書く 風景と心情―漢詩を味わう― 4 3 2 9	最後の一句 異字同訓 近代の俳句 故郷 2 1 2 7 12	初恋 自己PR文を読み合う スピーチで学びを振り返る 四字熟語 多様な表現による文字 三年間の学習の成果を生かそう 1 2 1 1 2 7	「対話力」とは何か バースデイ・ガール 書き初めを書く 1 2 3 6	課題を解決するために話し合う 自分の作品集を作る 花を贈る 4 4 1 9	自分自身に 言葉でつかんだ世界一 四季のたより　喜 四季のたより　涼 四季のたより　深 四季のたより　静 1 1 1 1 1 6	103
教科	社会	身近な地域の歴史を調べる学習 第一次世界大戦と民族独立の動き 大正デモクラシー 5 6 1 12	大正デモクラシー 恐慌から戦争へ 第二次世界大戦と日本の敗戦 3 6 3 12	第二次世界大戦と日本の敗戦 学習のまとめと表現 日本の民主化と冷戦 世界の多極化と日本 3 2 6 1 12	世界の多極化と日本 冷戦の終結とこれからの日本 学習のまとめと表現 今を生きるということ 私たちが生きる現代社会 3 4 2 1 2 12	現代につながる伝統と文化 私たちが作るこれからの社会 なぜ憲法を学ぶのか 民主主義が支える日本国憲法 2 3 1 2 8	民主主義が支える日本国憲法 憲法が保障する基本的人権 私たちの平和主義 1 10 1 16	私たちの平和主義 政治とは何だろう 民主主義と日本の政治 司法権の独立と裁判 1 1 9 1 12	司法権の独立と裁判 地方自治と住民の参加 循環する経済 消費社会と市場経済 生産のしくみと企業、金融 4 4 1 3 2 14	生産のしくみと企業、金融 財政と政府の役割 社会の中で働くということ 労働と社会保障 3 4 1 4 12	労働と社会保障 これからの日本経済の課題 国際社会の理想と現実 国際社会と国家 1 3 1 4 8	国際社会と国家 国際社会が抱える課題 持続可能な未来へ 2 6 4 12	総復習 8 8	138
教科	数学	1章多項式 ・多項式の計算 ・因数分解 8 4 12	・因数分解 ・式の計算の利用 ・章の問題演習 2章平方根 ・平方根 2 3 1 6 12	・根号をふくむ式の計算 ・章の問題演習 3章2次方程式 ・2次方程式とその解き方 9 1 2 12	・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の利用 8 4 12	・2次方程式の利用 ・章の問題演習 1 1 8	4章関数ｙ＝ax2 ・関数y＝ax2 ・いろいろな関数の利用 ・章の問題演習 5章相似な図形 ・相似な図形 11 3 1 1 16	・相似な図形 ・平行線と比 8 4 12	・平行線と比 ・相似な図形の面積と体積 ・章の問題演習 6章円 ・円周角の定理 5 4 1 6 16	・円周角の定理の利用 ・章の問題演習 7章三平方の定理 ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 2 1 5 4 12	・三平方の定理の利用 ・章の問題演習 7 1 8	8章標本調査 ・標本調査 ・標本調査の利用 ・章の問題演習 ・3年間の総復習 2 3 1 6 12	・3年間の総復習 8 8	140
教科	理科	水溶液とイオン 電池とイオン 8 4 12	電池とイオン 酸・アルカリとイオン 2 10 12	生物の成長 生物の殖え方 3 9 12	遺伝の規則性 力の法則 8 4 12	力の法則 力と運動 5 3 8	力と運動 仕事とエネルギー 9 7 16	仕事とエネルギー エネルギーの移り変わり エネルギー資源とその利用 4 6 2 12	エネルギー資源とその利用 天体の１日の動き 天体の１年の動き 4 6 6 16	太陽と月 太陽系と宇宙の広がり 6 6 12	生物と環境 人間の環境 7 1 8	人間の環境 自然の恵みと災害 4 6 10	科学・技術の発展 環境の保全 5 3 8	138
教科	海洋学		Program2 2	クマ学習 3	パンフレット作成 8	羅臼町PR 2	PR活動まとめ・発表 9	まとめ学習発表 スピーチで学びを振り返る 2 2	消費社会と市場経済 2	ユネスコスクール発表会 3		自然の恵みと災害 2		35
教科	英語	Program1 POWER-UP1 10 2 12	Program2 Program3 8 2 10	Program3 POWER-UP2 My Project7 8 2 2 12	My Project7 Program4 8 4 12	Program4 POWER-UP3 6 2 8	Program5 POWER-UP4 Program6 10 2 4 16	Program6 My Project8 6 6 12	My Project8 Program7 POWER-UP5 4 10 2 16	Program8 POWER-UP6 10 2 12	Program9 8 8	Program9 POWER-UP7 Special Project 2 2 8 12	Special Project Extensive Reading 2 6 8	138
教科	音楽	オリエンテーション 制作「楽しいリズム曲を作ってみよう」 1 2 3	歌唱「花」 3 3	歌唱「花」 指揮をしてみよう 2 1 3	鑑賞「ボレロ」 3 3	合唱コンクール練習 2 2	合唱コンクール練習 4 4	合唱コンクール練習 3 3	鑑賞「アランフェス協奏曲」 鑑賞「アランブラの思い出」 3 1 4	器楽「箏」 3 3	器楽「箏」 2 2	鑑賞「能「羽衣」キリから」 卒業式歌練習 1 2 3	卒業式歌練習 2 2	35
教科	美術	私との対話 3 3	私との対話 3 3	私との対話 3 3	私との対話 3 3	ゲルニカは語る イメージを形で表現しよう 1 1 2	イメージを形で表現しよう 4 4	イメージを形で表現しよう 3 3	イメージを形で表現しよう 4 4	暮らしを心地よくするデザイン 3 3	暮らしを心地よくするデザイン 2 2	暮らしを心地よくするデザイン 3 3	暮らしを心地よくするデザイン 2 2	35
教科	保健体育	体ほぐし運動 体力を高める運動 4 5 9	ダンス 保健 体育理論 6 2 1 9	陸上競技 保健 5 4 9	陸上競技 保健 体育理論 6 2 1 9	ソフトボール 保健 4 2 6	ソフトボール バレーボール 保健 体育理論 4 4 3 1 12	バレーボール 保健 6 3 9	バスケットボール マット運動 3 9 12	バスケットボール 跳び箱 7 2 9	跳び箱 6 6	卓球 保健 体育理論 5 3 1 9	バドミントン 6 6	105
教科	技術・家庭	情報と私たちの生活 幼児の生活と遊び 1 2 3	情報通信ネットワーク 幼児の体の発達 2 1 3	情報通信ネットワーク 子供の成長と家族の役割 1 2 3	情報通信ネットワークとセキュリティ 子供の成長と地域 2 1 3	作品制作 幼児の遊びと発達 1 1 2	作品制作 幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり 2 1 1 4	作品制作 幼児とのふれあい 1 2 3	作品制作 情報モラルと知的財産 幼児とのふれあい 1 1 2 4	情報モラルと知的財産 幼児とのふれあい 1 2 3	コンピュータと情報処理 幼児とのふれあい 1 1 2	ディジタル作品の設計と制作 中学生とのかかわり 2 1 3	プログラムによる計測・制御 これからのわたしと家族との関係 1 1 2	35
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計時数

1015

１　単元名　　「ヒカリゴケの観察」　（１時間）

２　単元のねらい（目標）

・・・

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①・・・を理解する。 ・・・をしている。 ② ③	①・・・を決めている。　・・見いだしている。 ② ③	①・・・関わろうとしている。 ・・取り組んでいる。 ② ③

４　指導と評価の計画

小単元名（時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
海の生き物を調べ、何を食べてどのような場所にいるかなどについて話し合おう（２時間）	○海の生き物の生態や形態の特徴を調べる。 ・どんな生き物が住んでいるのかな。 ・近くの海には、どんな種類の貝や魚がとれるのかな。 ・こんな生き物を育てたいな。	①			※水産試験場の方に地域の海に住んでいる生き物の説明をしていただく。
生き物を捕まえよう（３時間）	○海に行って磯採集をし、捕まえた生き物を観察する ・海岸の生き物をどうやって捕まえようか。 ・岩場、浅瀬、干潟などに住む生き物にはどのような特徴があるかな。		①		☆海岸までの移動手段の確保 ☆漁協等関係機関への連絡 ☆安全のための軍手等の事前準備

５　本時の目標

ヒカリゴケの発行について学ぶ（１／３時間）

６　評価規準

ヒカリゴケを採取し顕微鏡で観察をしている。（知②）

7　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
10分	北海道遺産のヒカリゴケの歴史についてスライドで確認	羅臼に住んでいてもヒカリゴケを見たことのない生徒がおおいので地元に目を向けるように促す
30分	ヒカリゴケを水槽から採取し顕微鏡でのぞく	
５分	ヒカリゴケは自ら発行しているのではなく，光を反射していることを理解させるとともに地元の北海道遺産などに目を向ける。	

8　他教科等との関連

○　国語「文学史」　武田泰淳について確認

○　社会　太平洋戦争時におきた食人事件の背景を確認

○　理科「　　」

○　知床学「ルサ川の生態観察」の代替授業　次年度以降も１年生で実施

「幼児を取り巻く環境について様々な体験を通し、感じたり、気付いたり、わかったり幼児なりの学びの中で地域を大切にする心を育てる」

【ねらい】

昨年度は地域の産業を通した学びの場を多く取り入れ、幼児の地元への愛着や産業の魅力を伝えることが出来た。その際に、身近にある環境の実態（海や浜の汚れ）に疑問を持つ姿が見られた。今年度は身近にある環境へ幼児なりに課題をもつ姿に重点を置き、自分達の住む町の環境を守ろうとする活動を進めていこうと考える。

○時期　　５月～３月

	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月
体験的な活動	【散歩活動】 ○羅臼の町を探検し、興味関心をもつ。 ・興味や関心をもち、いろいろな気付きや発見を喜ぶ。 【熊学習】 ○自然の生き物について興味や関心をもつ。 ・熊と共生する気持ちを持ち生活する。		【河川敷で遊ぼう】 ○河川敷に繰り返し行くことで、季節を感じる。発見を楽しむ。 ・身近にある自然物を使って工夫して遊ぶ。 【町探検（漁港）】 ○地元で獲れた魚の名前や水産業について知る。 ・思ったこと、感じたことを自分なりの言葉で表現し、わからないことを尋ねたりする。 ・自分の住んでいる町を好きになる。			【更生保護女性会との交流】 ○地域の人に親しみをもつ。 ・羅臼の町の事や活動について知り、興味、関心をもつ。 【クリーン作戦】 ○自分たちで生活の場を整えていく。 ・地域の環境を整えていくことに興味をもつ。 【避難訓練（地震体験より）】 ○津波が起きる仕組みを知り、海の違う一面に興味をもつ。 ・実験を通して、海は時には怖いものであることを知り、自分の身を守る大切さを実感する。			【羅臼を知ろう】 ○５年生が計画した活動に参加し、興味をもつ ・興味関心をもちながら、羅臼について知識を高めていく。		

海洋教育パイオニアスクール　指導計画

羅臼町立春松幼園

【実践のねらい】

・身近にある自然、自分たちの大好きな遊び場（前浜）を大切にし、守ろうとする気持ちをもち自分なりに考え、課題と向き合いながら遊びを通して、幼児がどのように好奇心や探求心をもち、問題解決をする力が育めるようにしていく。

・地域や人、もの、こととつながり、地域の産業や自然について学び、羅臼昆布の素晴らしさを知り知識を深め、地域への愛情を深める。

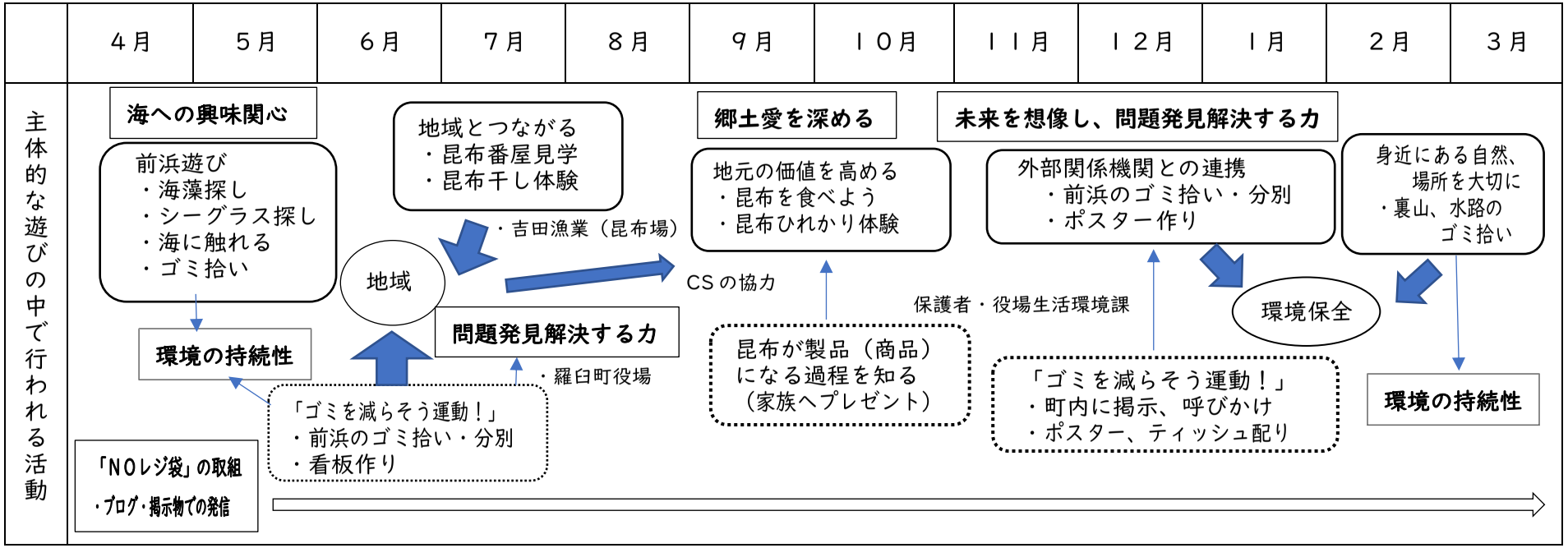
◇実施期間　４月～１１月（教育時間内）

◇主な内容

（１）前浜に出向き、浜遊びをしながら海藻を拾ったり、石や流木で遊び、自分たちの遊び場として身近に感じる。

（２）前浜にゴミが流れてきた経緯や問題に気付き、身近な環境がどのようにしたらきれいになるのかを考え、問題意識をもつ。

（３）地域とつながる中で昆布番屋見学をし、自分たちで昆布を拾い、干し、食べる経験をしながら、地域の産業に興味をもつ。



令和２年度　「知床学　羅臼こんぶってすごいね！」

羅臼町立春松幼稚園

【実践のねらい】
地域や人、もの、こととつながり、地域の産業や自然について学び、羅臼昆布の素晴らしさを知り知識を深め、地域への愛情を深める

この昆布たべられるかな？

（１）健康な心と体

色が変わったー！！

羅臼町名産の「天然羅臼昆布」！！
海遊びで見つけ持ち帰り、幼稚園で茹でてサラダにして食べました。最初は茶だったのに、緑いろになったことに驚いていました。
ほんのり磯の香りと、独特の昆布の香りがいりまじり、羅臼の夏の匂いを感じました。

昆布番屋見学

地　域
つながる

（５）社会生活との関わり

初めて昆布が製品になるまでの過程を見学し、昆布は捨てるところがなくすべて製品になることを学びました。「昆布の根っこ（頭）は漢方という薬に使われるんだってー」「これ、頭なの？」と興味深々でした。

（６）思考力の芽生え

こうやって、干していたよね？

見学の帰り道、また海に寄り、昆布を拾い番屋で見てきた通りに園庭にビニールシートを敷いて、天日干しをしました。しかし・・・石原での天日干しとは違い、うまく日が入らないこと、乾燥ができないこと、湿りがとれないことで苦戦し、昆布を製品にするまですごく時間がかかり大変だということを実感しました。

（９）言葉による伝え合い

このヒラヒラを切っていきますよー

後日、昆布漁を営んでいる保護者の方が来園し、昆布が製品になるまでのお話を聞き、実際に「ひれかり体験」を行いました。ヒレをはさみで整えながら、袋詰めをし、家族へプレゼントしました。とても貴重な体験と高級品の昆布を提供して頂き、地域の愛を感じました。

（５）社会生活との関わり

令和２年度　「知床学　羅臼こんぶってすごいね！」

羅臼町立春松幼稚園

【実践のねらい】
身近にある自然、自分たちの大好きな遊び場（前浜）を大切にし、守ろうとする気持ちを自分なりに考え、好奇心や探求心をもち問題解決をする力を育んでいく。

どこからこのゴミはくるのかな？

（６）思考力の芽生え

（７）自然との関わり・生命尊重

大好きな前浜にも、行くたびにゴミが・・・
このゴミはどこからきているのか？どのようにしたら前浜がきれいになるのか話し合い、昨年度の５歳児が作った看板を思い出した。

（９）言葉による伝え合い

拾っても拾っても、
減らないねー

看板が壊れているから
新しいものを作ろう！！

（１０）豊かな感性と表現

（８）数量・図形・文字等への関心・感覚

「どうしたらゴミは減るのか！？」

（５）社会生活との関わり

役場生活環境課

４歳児の時に海上保安員の方のお話や、紙芝居「うみがめマリンの大冒険」から海に興味をもち、ゴミを捨てると生き物が苦しむことを知った。
ゴミ拾いを続け、役場生活環境課の吉田さんとゴミの分別を行った。「誰がポイ捨てをしているのですか？」と質問すると、羅臼の浜にあるゴミは羅臼の人が多いのかもしれないと聞き、「前、船でお父さんがタバコを吸っていたから『海に投げないんだよ』って怒ったの」と家庭での話をする幼児もいた。
最後に吉田さんから「みんながお父さんに注意してくれたように、皆に教えてあげることと、自分たちも捨てないことが大事だね」と話を終えた。

（２）協同性

自分たちで看板を作って浜に立て、海の生き物やゴミ問題に関する絵本をたくさん見て「海洋プラスチック問題」について関心を高めた。

（４）道徳性・規範意識の芽生え

（６）思考力の芽生え

吉田さんからのアドバイスを頂き、「たくさんの人に伝えるため」ポスターを作ることになった。iPad で海のゴミに関するポスターをいろいろ見て調べ、「みんなでへらそうプラスチック」と書いた。人がたくさん来る場所に貼りたいと地域へ発信していった。

（８）数量・図形・文字等への関心・感覚

漁師さんや外国の人に見えるように、海に向けて立てようよー
という意見もでました。

（９）言葉による伝え合い　（１０）豊かな感性と表現

幼児の活動を実際に目にした保護者が幼児の思いを応援するために休日に親子でポスターを地域の施設等へ掲示のお願いをしてくれた。自分たちの行動が大人の心を動かす経験をすると共に保護者と活動することで、幼児の意識もさらに高まり、今後も忘れない心に残る経験となったように感じた。